

地域福祉に関する アンケート調査結果 報告書

2023年（令和5年）3月

藤沢市

目 次

| | |
|---|----|
| 第1章 調査の概要 | 1 |
| 1. 調査実施の目的 | 3 |
| 2. 調査の種類 | 3 |
| 3. 調査方法と回収状況 | 3 |
| 4. 調査項目 | 3 |
| 5. 調査結果をみる上での注意事項 | 4 |
| 第2章 調査結果の詳細 | 7 |
| 1. 基本属性 | 9 |
| (1) 年齢 | 9 |
| (2) 職業 | 9 |
| (3) 同居者 | 10 |
| (4) 同居人数 | 10 |
| (5) 居住地区 | 11 |
| 2. 住まいや暮らしの状況について | 12 |
| (1) テレワーク(在宅勤務)の実施状況について | 12 |
| (2) 身近な人の介護・支援の有無について | 13 |
| (3) 居住年数 | 15 |
| (4) 現在の暮らしの経済状況 | 16 |
| (5) 外出頻度 | 17 |
| 3. 行政や福祉サービスなどの情報について | 18 |
| (1) 行政や福祉サービスなどの情報入手方法 | 18 |
| (2) 保健福祉情報の入手のしやすさ | 21 |
| (3) 居住地区の市民センター・公民館の利用経験 | 22 |
| (4) 市民センター・公民館の機能充実のために要望すること | 25 |
| (5) 施設の知名度 | 28 |
| (6) 成年後見制度について | 34 |
| (7) 後見人を希望する相手 | 35 |
| (8) 後見制度を利用したくないと思う理由 | 35 |
| 4. 地域やご近所との関わりについて | 36 |
| (1) 近隣との日頃のつきあい方 | 36 |
| (2) 居住地域での暮らしやすさ | 39 |
| (3) 居住地域での孤立感 | 41 |
| (4) 居住地域で気になっていること | 44 |
| 5. 新型コロナウイルスにおける生活の変化について | 47 |
| (1) 新型コロナウイルスにおける生活の変化 | 47 |
| 6. 地域活動、ボランティア活動について | 49 |
| (1) 自治会町内会への加入状況 | 49 |

| | |
|---|----|
| (1-1) 自治会町内会に加入して特によかったこと | 50 |
| (1-2) 自治会町内会に加入していない理由 | 51 |
| (2) ボランティア活動への参加意向 | 52 |
| (2-1) ボランティア活動に参加する際の動機 | 54 |
| (2-2) ボランティア活動に参加する上で支障となることや問題点 | 55 |
| 7. 防災について | 57 |
| (1) 居住地の防災訓練への参加経験 | 57 |
| (2) 発災時に避難行動支援者に特にできること | 59 |
| (3) 住民情報を自治会町内会などで共有することについて | 60 |
| 8. 支えあいの地域づくりについて | 61 |
| (1) 困ったときの相談先 | 61 |
| (2) 地域に支えられていると感じること | 63 |
| (3) 居住地の支えあいに必要な支援 | 65 |
| (4) ICTの活用について | 68 |
| (5) 住民の自主的な参加・協力関係を築くために地域が主体となって取り組むべきこと | 70 |
| (6) 自分らしく暮らせるような環境 | 72 |
| (7) 自分らしく暮らせるような地域の実現に必要なこと | 73 |
| (8) 日々の生活で困っていること、悩み | 75 |
| (9) 地域福祉推進のため市で行っている取り組みについて | 77 |
| (10) 地域づくりに必要なこと | 82 |
| 9. 自由記入 | 85 |
| (1) 地域福祉の推進に向けたご意見 | 85 |

| | |
|----------------|-----------|
| 第3章 調査票 | 89 |
|----------------|-----------|

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

藤沢市では、すべての市民の方が、地域の中で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、社会福祉法に基づき2021年度（令和3年度）から2026年度（令和8年度）までの6年間の計画期間とする「藤沢市地域福祉計画2026」を策定した。

この度、この計画の中間見直しにあたり、事業の効果を検証するとともに、地域福祉の現状及びお住まいの地区や地域での日頃の暮らしの変化、また、これに伴う新たな課題等、市民の方がどのように感じているかを聴くために、アンケート調査を実施することとした。

2. 調査の種類

| 調査名 | 調査対象 |
|-----------------|------------------------|
| 地域福祉に関するアンケート調査 | 満15歳以上の市民4,000名（無作為抽出） |

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査/WEBページ上による調査

調査期間：2022年（令和4年）11月25日（金）～12月20日（火）

<回収状況>

| 調査名 | 発送数 | 回収数 | 回収率 |
|----------|--------|--------|-------|
| 郵送調査 | 4,000件 | 1,474件 | 49.8% |
| WEBページ調査 | | 519件 | |

4. 調査項目

| 調査名 | 調査項目 |
|-----------------|--|
| 地域福祉に関するアンケート調査 | 1. 住まいの状況について 2. 行政や福祉サービスなどの情報について 3. 地域やご近所との関わりについて 4. 地域活動、ボランティア活動について 5. 防災について 6. 支えあいの地域づくりについて |

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数（調査数）である。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・自由記述の回答は、原文を一部加工して掲載している。
- ・前回調査（令和元年度）との経年比較を行っている設問については、前回調査と設問や選択肢の表現が異なるものがある。
- ・分析軸（縦軸）に「無回答（不明）」を記載しないため、縦軸の調査数の合計と全体とは一致しない。
- ・クロス集計表の表記で、横軸方向（→）に見た時、最も高い値のところに網掛けをしている。（調査数30未満のところを除く）
- ・クロス集計は原則、次のような形で記載している。クロス軸ごとに最高となる選択肢が違う場合は、横方向（→）での最高値の特徴をコメントし、最高となる選択肢がほぼ同じ場合は、その選択肢の中で高い部分や低い部分といった特徴を掲載した。
- ・統計の数値を考察するにあたり、次の表現を用いている。

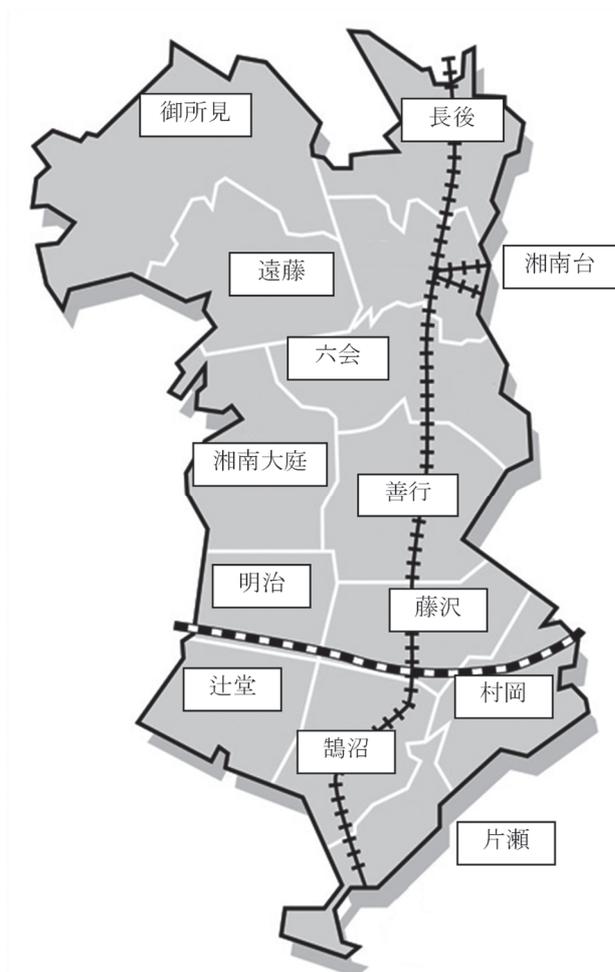
報告書文章表現

| 表現 | 割合 |
|----------|-------|
| ○割を占めている | 10.0% |
| ○割近く | 7.5% |
| ○割台半ば | 5.0% |
| ○割を超え | 2.5% |
| ○割を占めている | 0.0% |

(例)

| 表現 | 割合 |
|----------|------------------|
| 5割を占めている | 50.0% |
| 5割を超え | 50.0%を超え～52.5%未満 |
| 5割台半ば | 52.5%を超え～57.5%未満 |
| 6割近く | 57.5%を超え～60.0%未満 |
| 6割を占めている | 60.0% |

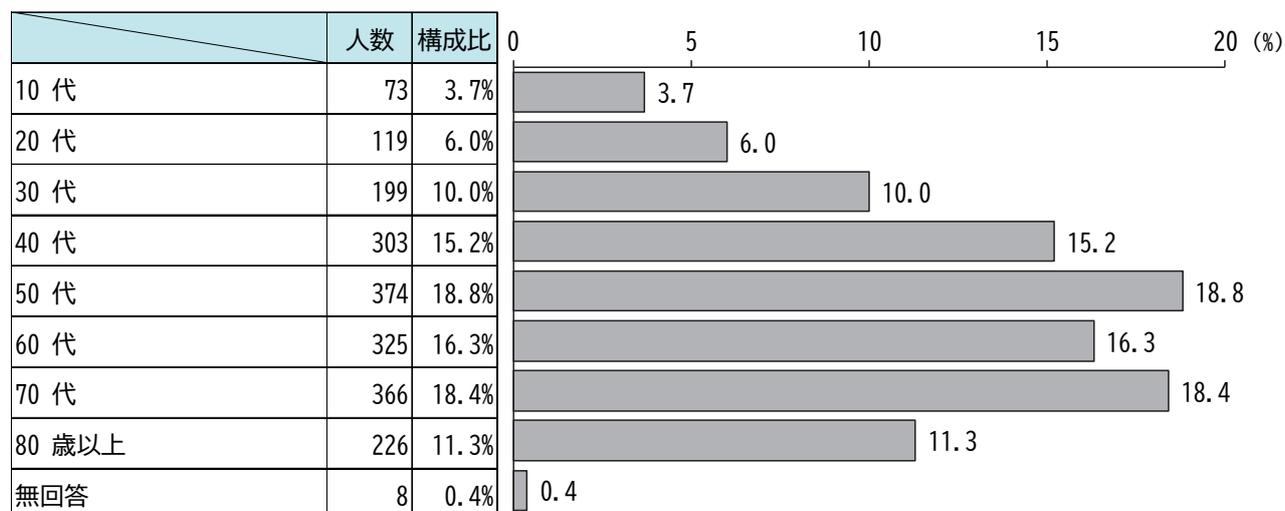
- ・報告書に記載されている13地区は以下の通りである。



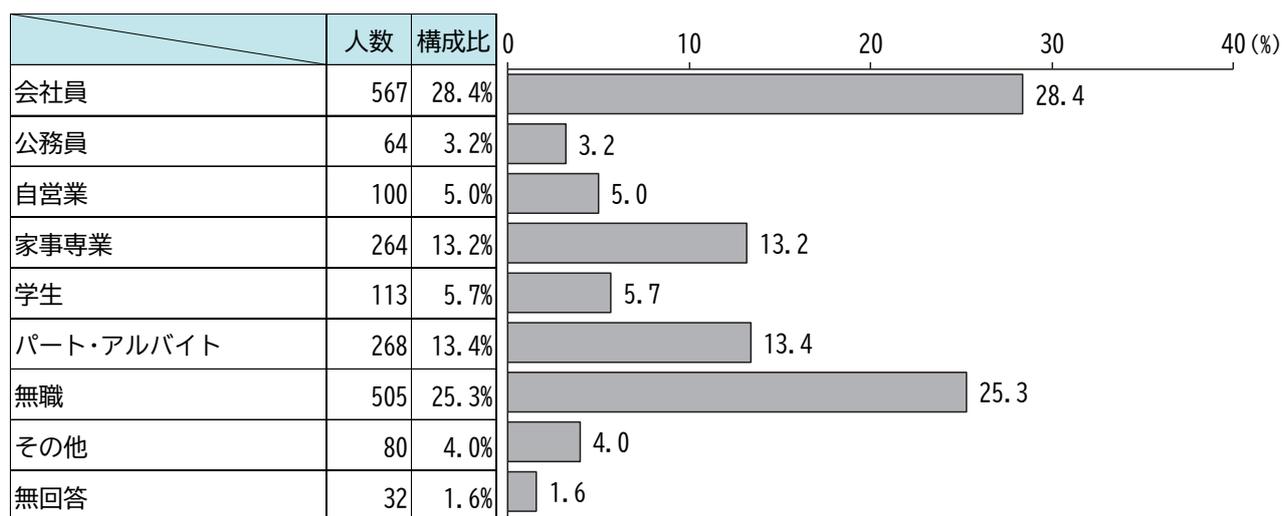
第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

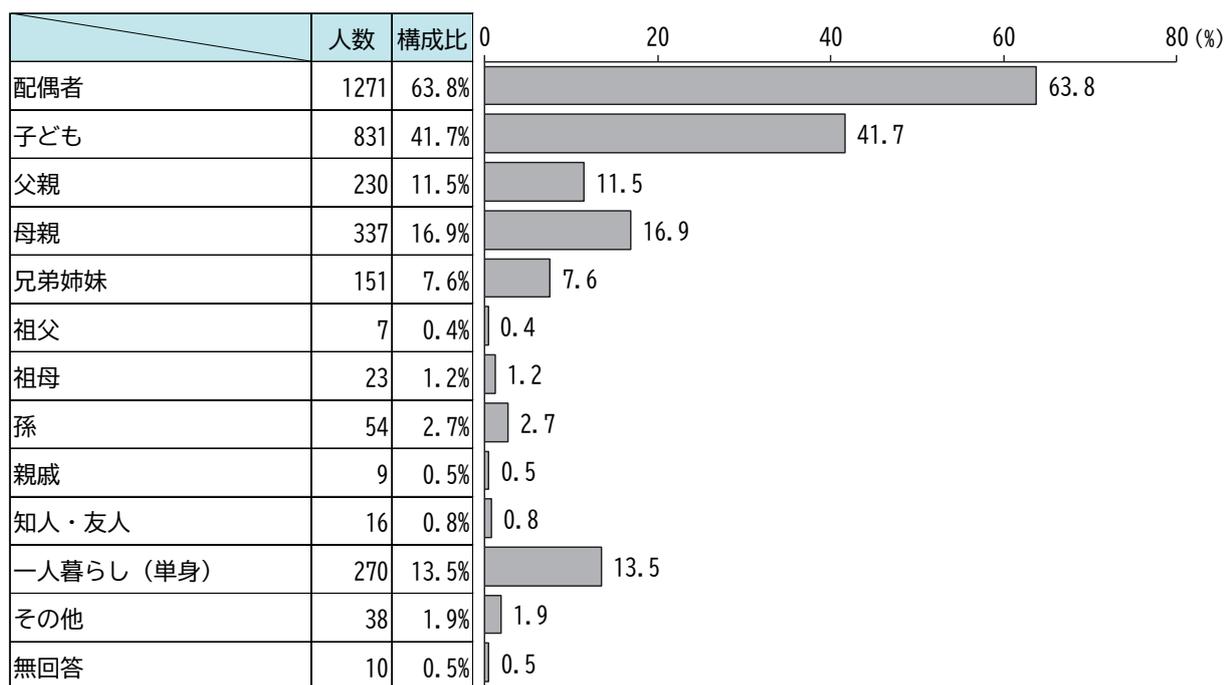
(1) 年齢



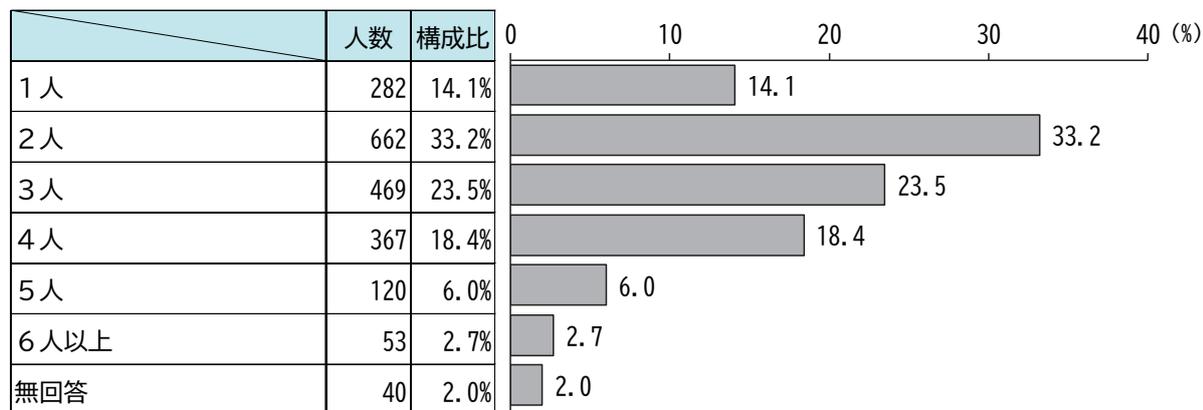
(2) 職業



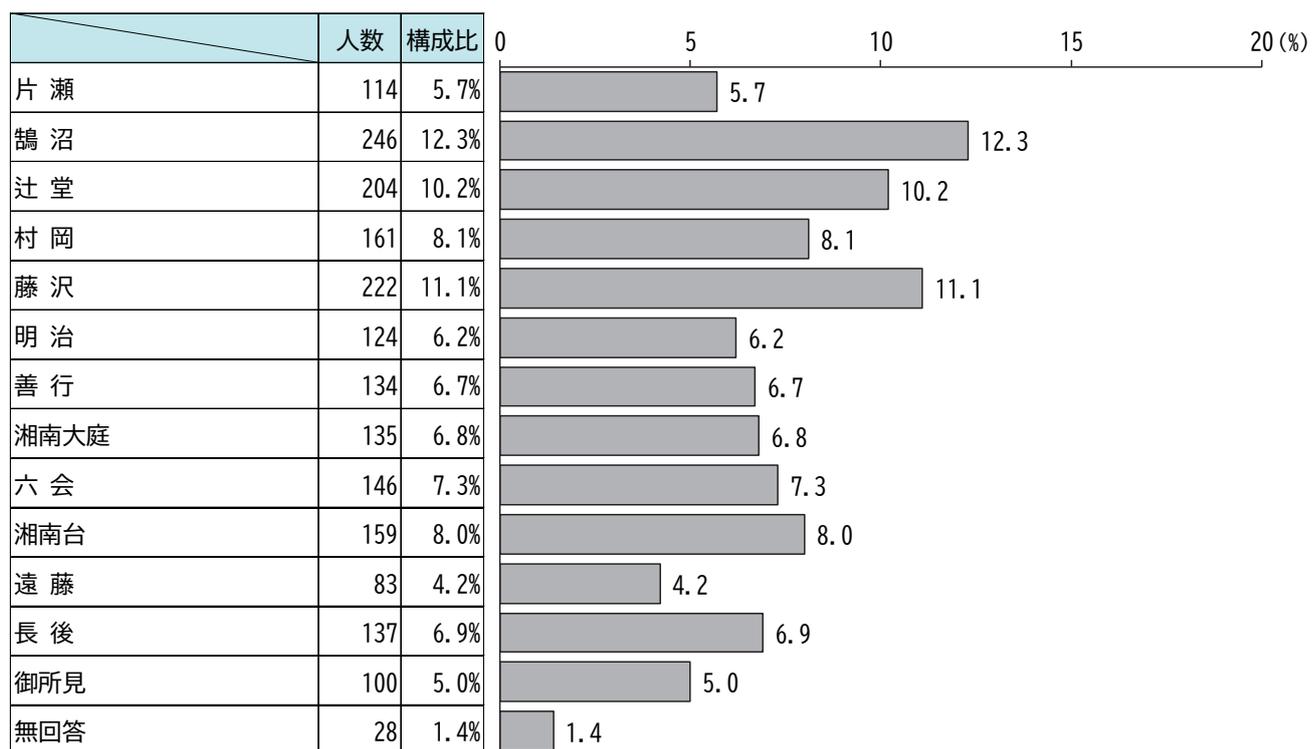
(3) 同居者



(4) 同居人数



(5) 居住地区



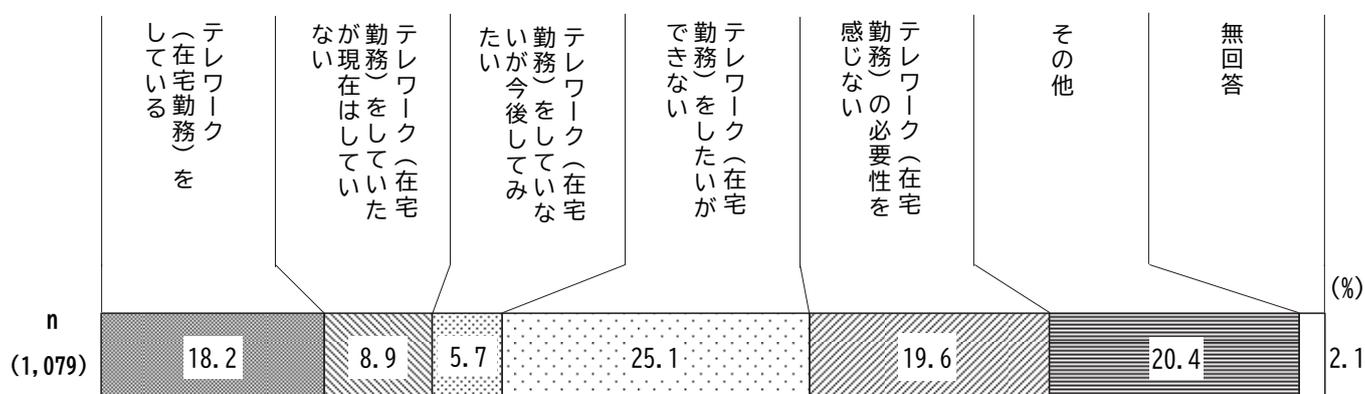
2. 住まいや暮らしの状況について

(1) テレワーク（在宅勤務）の実施状況について

問3 《問2で「1.」「2.」「3.」「6.」「8.」と回答した方にお聞きします。》
 あなたのテレワーク（在宅勤務）※の実施状況についてお聞きします。（1つに○）

テレワーク（在宅勤務）の実施状況については、「テレワーク（在宅勤務）をしたいができない」が25.1%で最も高く、次いで「テレワーク（在宅勤務）の必要性を感じない」が19.6%、「テレワーク（在宅勤務）をしている」が18.2%となっている。

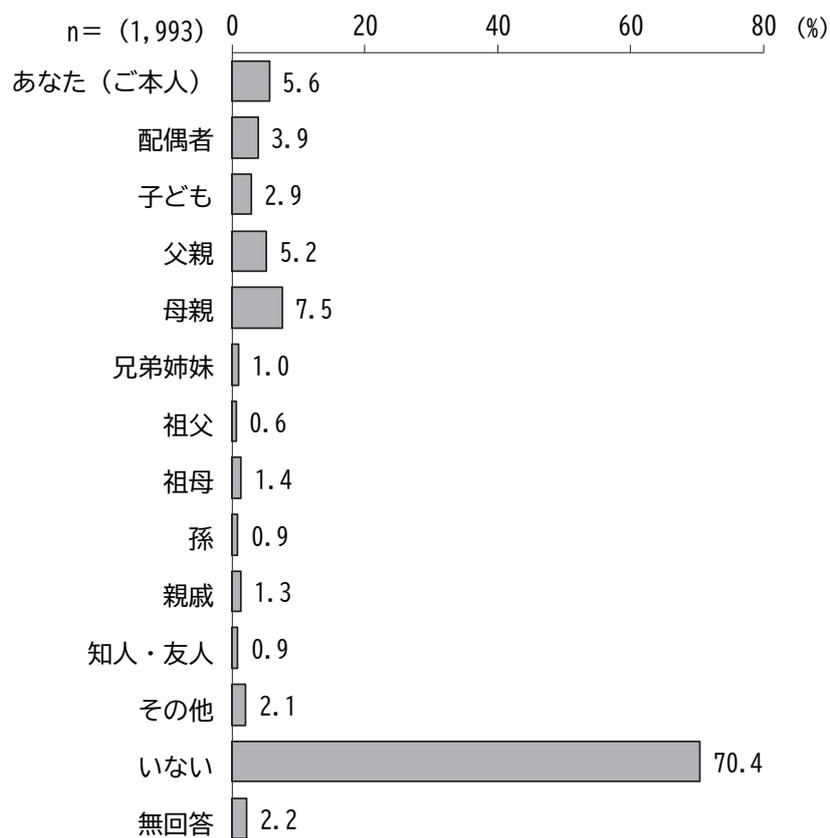
「テレワーク（在宅勤務）をしている」と「テレワーク（在宅勤務）をしていたが現在はしていない」を合わせた『テレワーク（在宅勤務）経験者』は27.1%を占めている。



(2) 身近な人の介護・支援の有無について

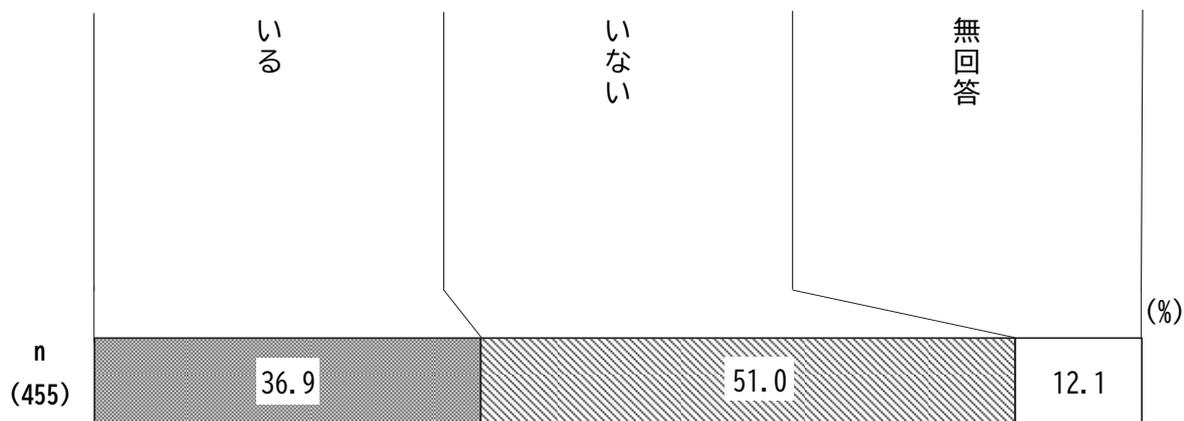
問4-1 普段の生活で身近に介護や支援が必要な方はいますか。
 (あてはまる方すべてに○、いない場合は13に1つだけ○)

身近に介護や支援が必要な方がいるかについては、「いない」が70.4%で最も高く、次いで「母親」が7.5%、「あなた(ご本人)」が5.6%、「父親」が5.2%となっている。



問4-2 《問4-2 は、問4-1 で「2. 配偶者」～「12. その他」と回答した方のみお答えください》○をつけた中であなたが実際に介護をしている方はいますか。

身近な介護・支援を必要とする方を実際に介護している方がいるかについては、「いる」が36.9%、「いない」が51.0%となっている。



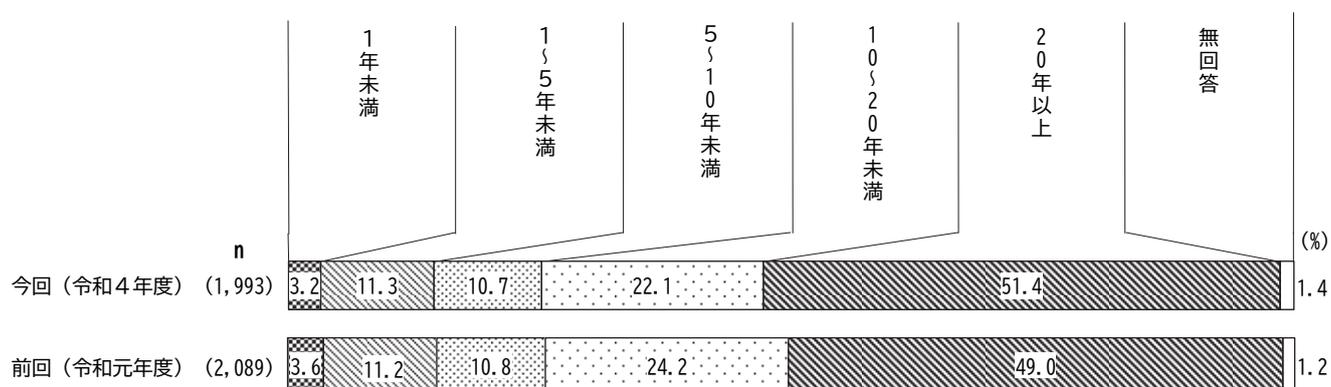
(3) 居住年数

問7 あなたのお住まいの地区での居住年数（1つに○）

居住年数は、「20年以上」が51.4%で最も高く、次いで「10～20年未満」が22.1%、「1～5年未満」が11.3%と続く。

前回調査(令和元年度)と比較すると、「20年以上」は前回(49.0%)よりも2.4ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「20年以上」は70代・80歳以上で7割台半ばと高くなっている。「1～5年未満」は30代で3割台半ばと高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | |
|-----|---------|---------|--------|---------|----------|-------|------|-----|
| | | 1年未満 | 1～5年未満 | 5～10年未満 | 10～20年未満 | 20年以上 | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 3.2 | 11.3 | 10.7 | 22.1 | 51.4 | 1.4 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 5.5 | 8.2 | 13.7 | 67.1 | 5.5 | - |
| | 20代 | 119 | 10.1 | 26.1 | 5.0 | 21.0 | 37.8 | - |
| | 30代 | 199 | 9.5 | 34.7 | 25.1 | 10.6 | 18.6 | 1.5 |
| | 40代 | 303 | 3.0 | 15.2 | 20.5 | 35.3 | 25.1 | 1.0 |
| | 50代 | 374 | 1.6 | 6.1 | 7.2 | 32.6 | 50.8 | 1.6 |
| | 60代 | 325 | 1.2 | 7.7 | 7.4 | 16.3 | 66.5 | 0.9 |
| | 70代 | 366 | 1.9 | 4.4 | 6.6 | 9.0 | 77.3 | 0.8 |
| | 80歳以上 | 226 | 1.3 | 4.0 | 4.4 | 13.3 | 74.3 | 2.7 |

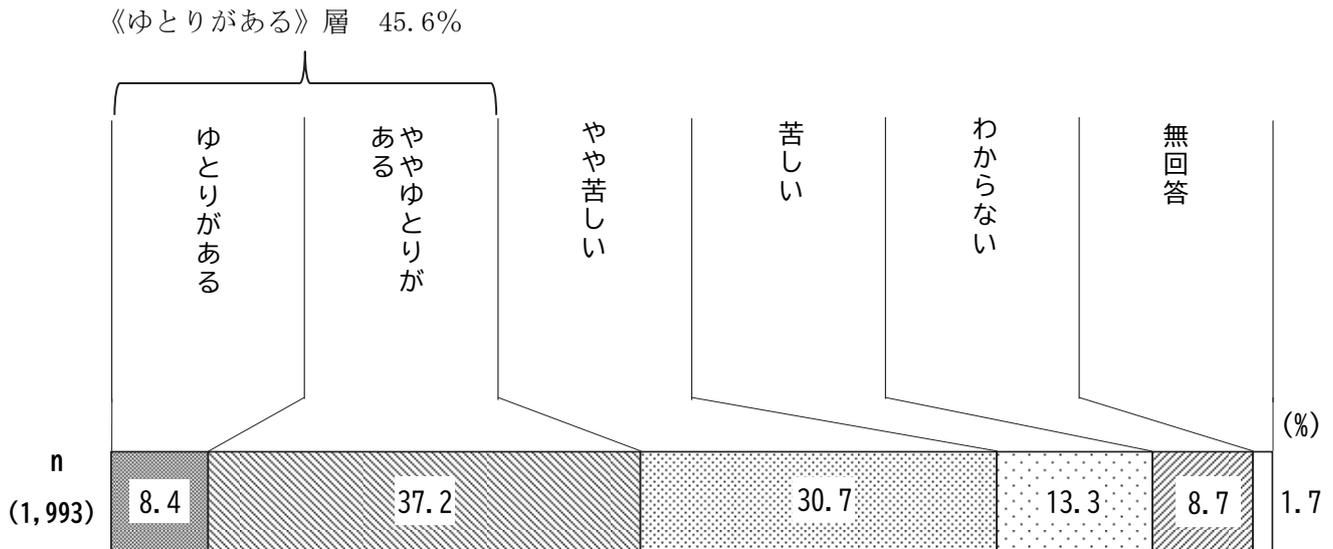
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(4) 現在の暮らしの経済状況

問8 あなたは、現在の暮らしの経済状況についてどう感じていますか。(1つに○)

現在の暮らしの経済状況は、「ゆとりがある」が8.4%、「ややゆとりがある」が37.2%となっており、両者をあわせると、《ゆとりがある》層は45.6%となっている。

年代別で見ると、《ゆとりがある》層は30代と60代で5割を超え高くなっている。一方、「苦しい」は10代で3割台半ばと高くなっている。



○年代別・クロス集計

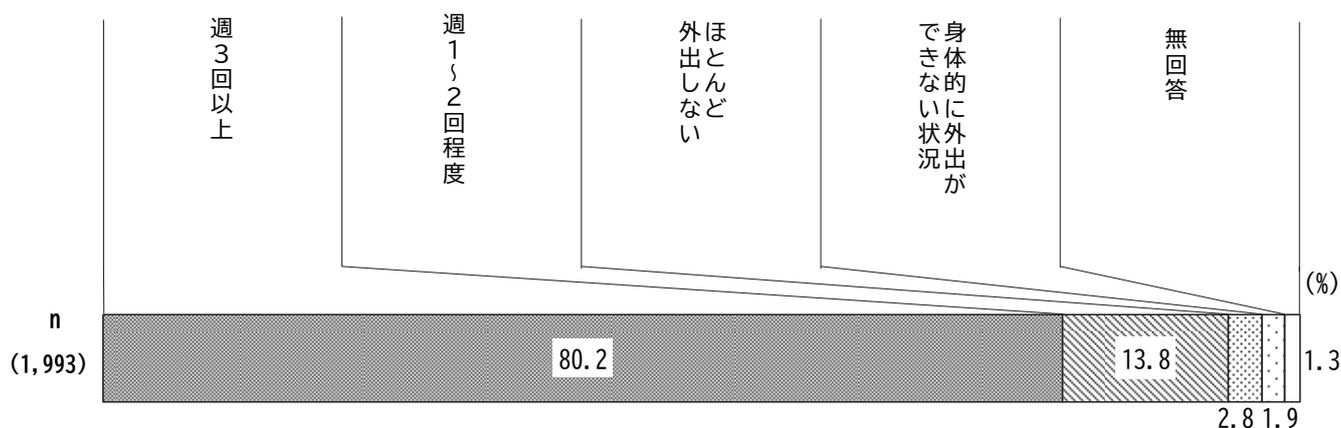
| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | 《ゆとりがある》層 | |
|-----|---------|---------|----------|-------|-------|------|------|-----------|------|
| | | ゆとりがある | ややゆとりがある | わからない | やや苦しい | 苦しい | 無回答 | | |
| 全体 | 1993 | 8.4 | 37.2 | 30.7 | 13.3 | 8.7 | 1.7 | 45.6 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 16.4 | 31.5 | 12.3 | 5.5 | 34.2 | - | 47.9 |
| | 20代 | 119 | 12.6 | 34.5 | 30.3 | 10.1 | 11.8 | 0.8 | 47.1 |
| | 30代 | 199 | 9.0 | 41.2 | 30.2 | 14.1 | 4.0 | 1.5 | 50.2 |
| | 40代 | 303 | 6.6 | 34.3 | 34.0 | 17.8 | 6.3 | 1.0 | 40.9 |
| | 50代 | 374 | 6.7 | 34.2 | 36.9 | 12.6 | 7.8 | 1.9 | 40.9 |
| | 60代 | 325 | 9.5 | 41.8 | 28.0 | 12.0 | 7.1 | 1.5 | 51.3 |
| | 70代 | 366 | 8.5 | 37.2 | 30.6 | 13.4 | 8.5 | 1.9 | 45.7 |
| | 80歳以上 | 226 | 7.1 | 39.4 | 27.0 | 13.3 | 11.1 | 2.2 | 46.5 |

(5) 外出頻度

問9 あなたは、普段、買物や散歩、通勤通学を含め、週にどのくらいの頻度で外出※されていますか。(1つに○)
 ※ここでは、概ね30分以上の外出とします。

外出頻度は、「週3回以上」が80.2%で最も高く、次いで「週1～2回程度」が13.8%、「ほとんど外出しない」が2.8%と続く。

年代別でみると、「週3回以上」は10代で9割台半ば、40代で9割を超えている。「週1～2回程度」は80歳以上で3割近く、70代で2割台半ばとなっている。



○年代別・クロス集計

| | | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | |
|-----|-------|---------|---------|---------|-----------|---------------|-----|
| | | | 週3回以上 | 週1～2回程度 | ほとんど外出しない | 身体的に外出ができない状況 | 無回答 |
| 全体 | | 1993 | 80.2 | 13.8 | 2.8 | 1.9 | 1.3 |
| 年代別 | 10代 | 73 | 97.3 | 1.4 | 1.4 | - | - |
| | 20代 | 119 | 87.4 | 9.2 | 2.5 | 0.8 | - |
| | 30代 | 199 | 88.9 | 7.5 | 2.0 | - | 1.5 |
| | 40代 | 303 | 91.1 | 5.9 | 1.7 | 0.3 | 1.0 |
| | 50代 | 374 | 88.2 | 8.6 | 1.1 | 0.5 | 1.6 |
| | 60代 | 325 | 84.3 | 13.5 | 0.6 | 0.3 | 1.2 |
| | 70代 | 366 | 69.1 | 23.5 | 3.3 | 3.6 | 0.5 |
| | 80歳以上 | 226 | 49.6 | 29.2 | 11.1 | 8.4 | 1.8 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

3. 行政や福祉サービスなどの情報について

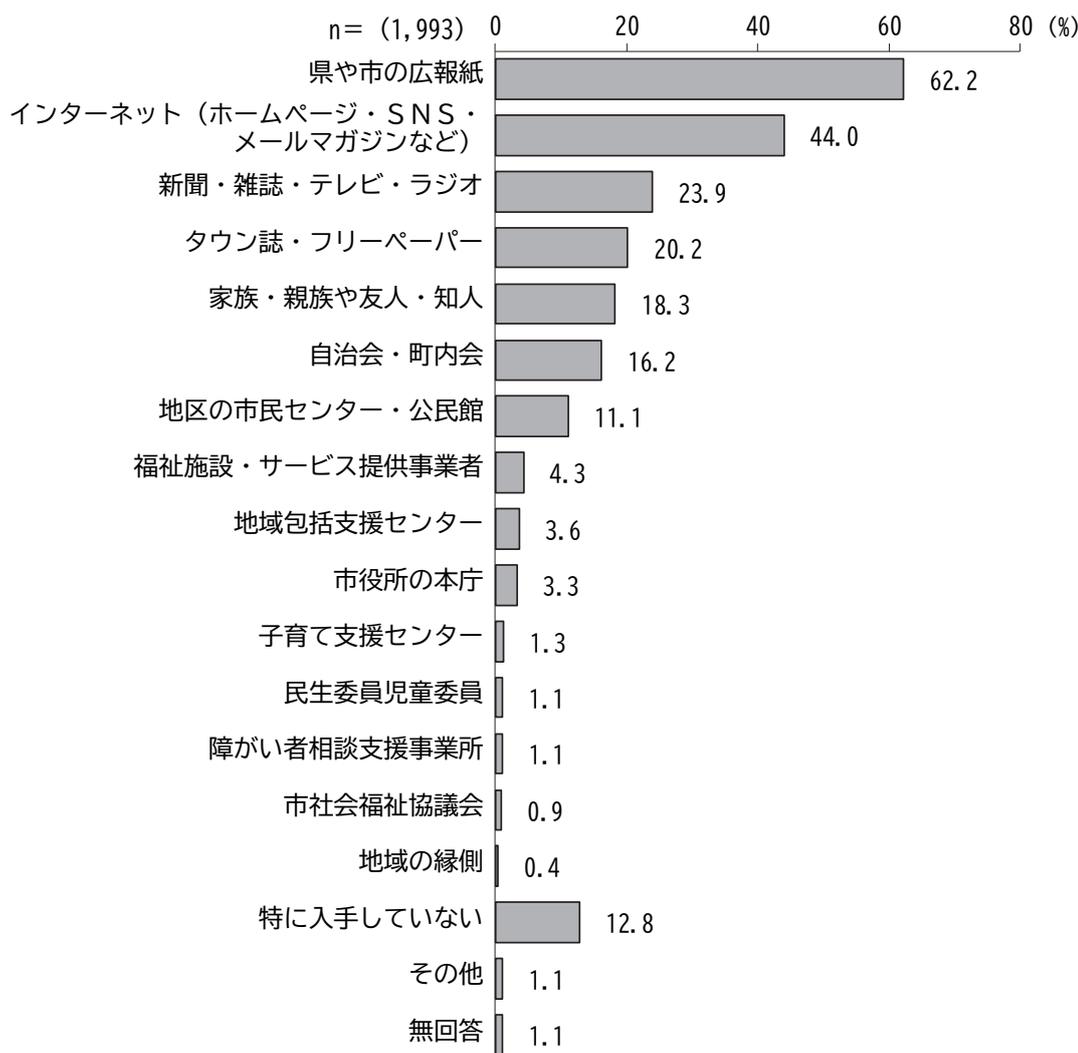
(1) 行政や福祉サービスなどの情報入手方法

問10 あなたは、行政や福祉サービスなどの情報をどのように入手しますか。
(あてはまるものすべてに○)

行政や福祉サービスなどの情報入手方法は、「県や市の広報紙」が62.2%で最も高く、次いで「インターネット（ホームページ・SNS・メールマガジンなど）」が44.0%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が23.9%と続く。

年代別でみると、「県や市の広報紙」は70代で7割台半ば、60代で7割を超えている。「インターネット（ホームページ・SNS・メールマガジンなど）」は30代・40代で6割台半ばと高くなっている。一方、「特に入手していない」は20代で3割を超え、10代で2割台半ばとなっている。

地区別でみると、「県や市の広報紙」はどの地区でも半数以上と高く、湘南大庭で7割を超えている。「タウン誌・フリーペーパー」は湘南大庭で3割近く、「地区の市民センター・公民館」は御所見で2割を占めており、それぞれほかの地区と比較して高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | | |
|-----|--------|---------|-----------------------------------|---------------|--------------|-------------|---------|---------------|--------------|------------|-----|
| | | 県や市の広報紙 | インターネット (ホームページ・SNS・メールマガジンなど) | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | タウン誌・フリーペーパー | 家族・親族や友人・知人 | 自治会・町内会 | 地区の市民センター・公民館 | 福祉施設・サービス提供者 | 地域包括支援センター | |
| 全体 | 1993 | 62.2 | 44.0 | 23.9 | 20.2 | 18.3 | 16.2 | 11.1 | 4.3 | 3.6 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 19.2 | 50.7 | 28.8 | 5.5 | 24.7 | 1.4 | 4.1 | - | - |
| | 20代 | 119 | 25.2 | 55.5 | 10.9 | 8.4 | 16.0 | 0.8 | 1.7 | 2.5 | - |
| | 30代 | 199 | 43.2 | 66.8 | 6.5 | 14.1 | 23.6 | 5.5 | 11.6 | 1.0 | 1.5 |
| | 40代 | 303 | 60.7 | 67.3 | 14.5 | 20.1 | 15.5 | 13.5 | 8.3 | 2.0 | 0.3 |
| | 50代 | 374 | 68.4 | 55.1 | 19.5 | 21.4 | 16.8 | 14.7 | 10.4 | 5.1 | 5.1 |
| | 60代 | 325 | 71.4 | 40.6 | 23.1 | 21.2 | 16.3 | 14.2 | 11.1 | 4.6 | 2.8 |
| | 70代 | 366 | 76.2 | 22.7 | 40.7 | 27.6 | 17.8 | 30.3 | 16.4 | 5.2 | 4.9 |
| | 80歳以上 | 226 | 68.6 | 6.2 | 38.1 | 22.1 | 23.5 | 24.3 | 14.6 | 9.3 | 9.7 |

| | 市役所の本庁 | 子育て支援センター | 民生委員児童委員 | 障がい者相談支援事業所 | 市社会福祉協議会 | 地域の縁側 | 特に入手していない | その他 | 無回答 | |
|-----|--------|-----------|----------|-------------|----------|-------|-----------|------|-----|--------|
| | | | | | | | | | | 構成比(%) |
| 全体 | 3.3 | 1.3 | 1.1 | 1.1 | 0.9 | 0.4 | 12.8 | 1.1 | 1.1 | |
| 年代別 | 10代 | - | - | - | - | - | 24.7 | - | 1.4 | |
| | 20代 | 1.7 | 0.8 | - | 1.7 | - | 31.1 | 1.7 | - | |
| | 30代 | 4.0 | 8.0 | - | 1.5 | - | 0.5 | 19.6 | 1.5 | 1.0 |
| | 40代 | 3.6 | 1.3 | - | - | 0.3 | 0.3 | 10.6 | 1.7 | 0.3 |
| | 50代 | 3.7 | - | 1.1 | 0.8 | 0.5 | - | 11.0 | 1.1 | - |
| | 60代 | 5.2 | 0.9 | 0.9 | 1.2 | 0.6 | - | 9.2 | 0.6 | 0.6 |
| | 70代 | 2.5 | 0.3 | 1.4 | 1.1 | 0.8 | 0.5 | 8.5 | 0.8 | 2.2 |
| | 80歳以上 | 1.8 | - | 4.4 | 2.2 | 4.0 | 1.3 | 11.9 | 0.9 | 2.2 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

第2章 調査結果の詳細

○地区別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | | |
|-----|--------|---------|---------------------------|---------------|--------------|-------------|---------|---------------|--------------|------------|-----|
| | | 県や市の広報紙 | インターネット(ホームページ・メールマガジンなど) | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | タウン誌・フリーペーパー | 家族・親族や友人・知人 | 自治会・町内会 | 地区の市民センター・公民館 | 福祉施設・サービス提供者 | 地域包括支援センター | |
| 全体 | 1993 | 62.2 | 44.0 | 23.9 | 20.2 | 18.3 | 16.2 | 11.1 | 4.3 | 3.6 | |
| 地区別 | 片瀬 | 114 | 68.4 | 48.2 | 19.3 | 26.3 | 14.9 | 19.3 | 12.3 | 4.4 | 5.3 |
| | 鵜沼 | 246 | 62.2 | 52.0 | 24.0 | 17.9 | 17.1 | 11.8 | 9.3 | 5.7 | 4.9 |
| | 辻堂 | 204 | 65.2 | 45.1 | 20.6 | 20.6 | 17.6 | 11.8 | 8.8 | 2.5 | 3.9 |
| | 村岡 | 161 | 65.8 | 47.8 | 27.3 | 20.5 | 9.9 | 17.4 | 5.0 | 2.5 | 5.0 |
| | 藤沢 | 222 | 57.7 | 45.5 | 28.4 | 20.7 | 19.8 | 12.6 | 8.1 | 6.3 | 2.7 |
| | 明治 | 124 | 61.3 | 41.1 | 28.2 | 24.2 | 18.5 | 16.9 | 12.9 | 3.2 | 1.6 |
| | 善行 | 134 | 64.9 | 39.6 | 35.1 | 21.6 | 20.1 | 20.1 | 10.4 | 5.2 | 3.0 |
| | 湘南大庭 | 135 | 71.9 | 29.6 | 28.1 | 28.9 | 25.2 | 25.2 | 15.6 | 5.2 | 3.7 |
| | 六会 | 146 | 57.5 | 46.6 | 20.5 | 16.4 | 22.6 | 19.2 | 8.9 | 2.1 | 2.7 |
| | 湘南台 | 159 | 59.1 | 52.2 | 15.7 | 20.1 | 17.6 | 8.8 | 10.1 | 2.5 | 3.8 |
| | 遠藤 | 83 | 57.8 | 39.8 | 24.1 | 24.1 | 21.7 | 21.7 | 14.5 | 3.6 | 3.6 |
| | 長後 | 137 | 63.5 | 42.3 | 19.7 | 13.1 | 14.6 | 19.7 | 16.1 | 4.4 | 2.2 |
| 御所見 | 100 | 57.0 | 24.0 | 19.0 | 14.0 | 24.0 | 18.0 | 20.0 | 7.0 | 4.0 | |

| | 構成比(%) | | | | | | | | | |
|-----|--------|-----------|----------|-------------|----------|-------|-----------|------|-----|-----|
| | 市役所の本庁 | 子育て支援センター | 民生委員児童委員 | 障がい者相談支援事業所 | 市社会福祉協議会 | 地域の縁側 | 特に入手していない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 3.3 | 1.3 | 1.1 | 1.1 | 0.9 | 0.4 | 12.8 | 1.1 | 1.1 | |
| 地区別 | 片瀬 | 3.5 | 0.9 | 3.5 | - | 0.9 | 0.9 | 12.3 | 0.9 | - |
| | 鵜沼 | 4.9 | 0.8 | - | - | 1.6 | 0.4 | 11.8 | 0.4 | 0.8 |
| | 辻堂 | 1.5 | 1.0 | 1.5 | 1.0 | 0.5 | - | 11.3 | 1.5 | 1.0 |
| | 村岡 | 5.6 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 0.6 | 14.3 | 0.6 | - |
| | 藤沢 | 6.8 | 1.4 | 1.8 | 0.5 | - | 0.9 | 11.3 | 0.5 | 2.3 |
| | 明治 | 1.6 | 1.6 | 0.8 | 2.4 | 0.8 | - | 16.1 | 3.2 | 1.6 |
| | 善行 | 2.2 | - | 0.7 | 0.7 | - | - | 13.4 | 1.5 | 0.7 |
| | 湘南大庭 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 0.7 | - | 8.9 | 0.7 | 1.5 |
| | 六会 | 2.1 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | - | 15.8 | 1.4 | 1.4 |
| | 湘南台 | 0.6 | 4.4 | - | 0.6 | 1.3 | - | 14.5 | - | - |
| | 遠藤 | 2.4 | - | - | 1.2 | - | - | 13.3 | - | - |
| | 長後 | 3.6 | 0.7 | 1.5 | 1.5 | 0.7 | 0.7 | 11.7 | 1.5 | 0.7 |
| 御所見 | 2.0 | - | 1.0 | 3.0 | 2.0 | 1.0 | 16.0 | 3.0 | 1.0 | |

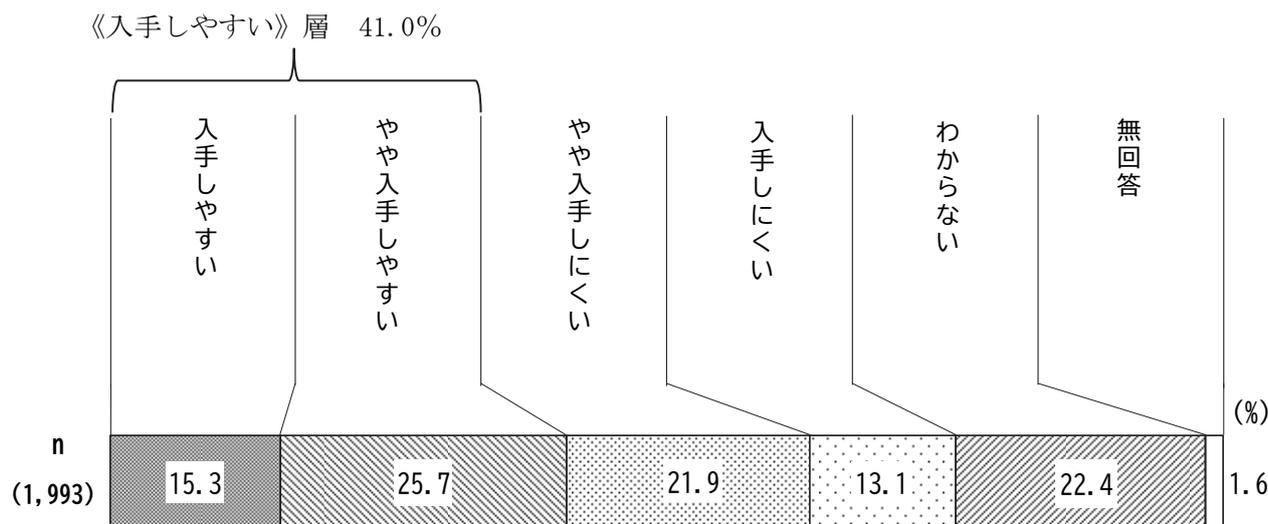
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(2) 保健福祉情報の入手のしやすさ

問11 行政や福祉サービスなどの情報は入手しやすいと思いますか。(1つに○)

保健福祉情報の入手のしやすさは、「入手しやすい」が15.3%、「やや入手しやすい」が25.7%となっており、両者をあわせると、《入手しやすい》層は41.0%となっている。

年代別でみると、《入手しやすい》層は40代以上で4割台となっている。一方、「わからない」は10代で4割台半ば、20代で4割近くと、ほかの年齢層と比べて高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比 (%) | | | | | | 《入手しやすい層》 | |
|-----|--------|---------|----------|----------|--------|-------|------|-----------|------|
| | | 入手しやすい | やや入手しやすい | やや入手しにくい | 入手しにくい | わからない | 無回答 | | |
| 全体 | 1993 | 15.3 | 25.7 | 21.9 | 13.1 | 22.4 | 1.6 | 41.0 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 6.8 | 17.8 | 24.7 | 1.4 | 46.6 | 2.7 | 24.6 |
| | 20代 | 119 | 7.6 | 16.8 | 24.4 | 12.6 | 37.8 | 0.8 | 24.4 |
| | 30代 | 199 | 12.1 | 27.6 | 22.1 | 15.6 | 21.6 | 1.0 | 39.7 |
| | 40代 | 303 | 14.9 | 26.1 | 25.7 | 15.2 | 17.8 | 0.3 | 41.0 |
| | 50代 | 374 | 13.4 | 28.9 | 21.1 | 14.4 | 21.9 | 0.3 | 42.3 |
| | 60代 | 325 | 16.6 | 26.8 | 23.1 | 12.3 | 20.0 | 1.2 | 43.4 |
| | 70代 | 366 | 19.1 | 27.9 | 19.4 | 12.0 | 18.6 | 3.0 | 47.0 |
| | 80歳以上 | 226 | 20.8 | 21.2 | 18.1 | 12.8 | 24.3 | 2.7 | 42.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

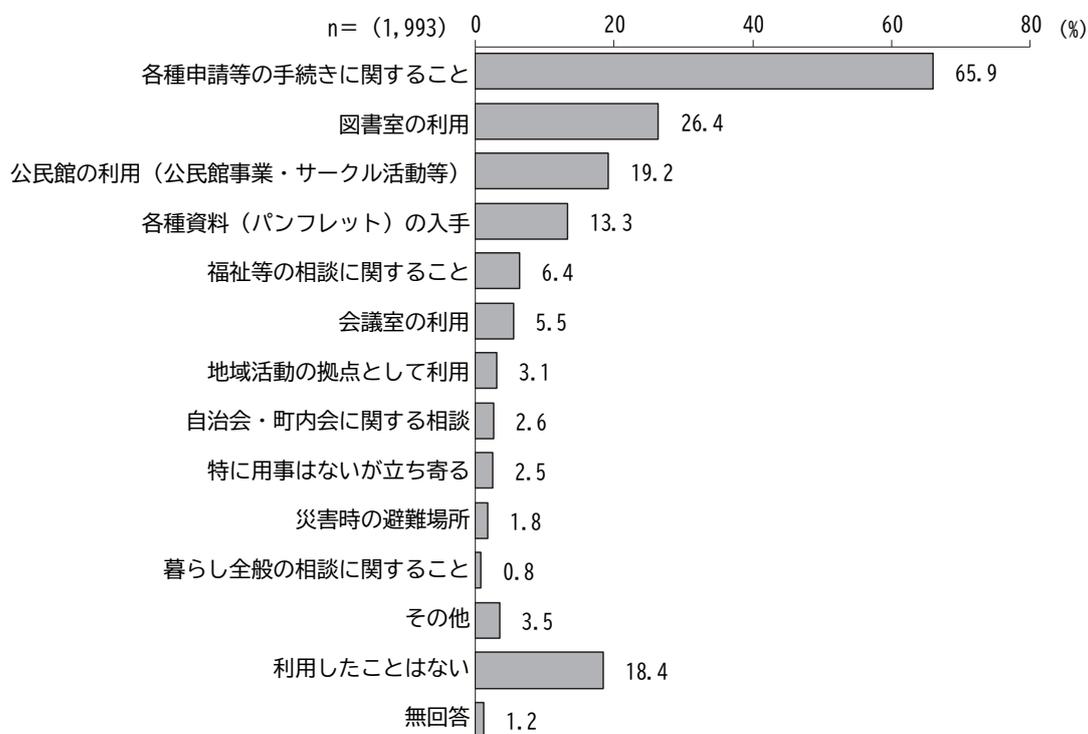
(3) 居住地区の市民センター・公民館の利用経験

問12 あなたのお住まいの地区の市民センター・公民館をどのような目的で利用したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

居住地区の市民センター・公民館の利用経験は、「各種申請等の手続きに関すること」が65.9%で最も高く、次いで「図書室の利用」が26.4%、「公民館の利用（公民館事業・サークル活動等）」が19.2%と続く。

年代別でみると、「各種申請等の手続きに関すること」は40代・50代で7割を超え高くなっている。「図書室の利用」は10代で6割近く、40代で3割を超え高くなっている。一方、「利用したことはない」は10代から30代・80歳以上で2割台となっている。

地区別でみると、「各種申請等の手続きに関すること」は明治・湘南大庭・六会・遠藤・長後・御所見で8割台と高くなっている。「図書室の利用」は片瀬・善行・遠藤で3割台となっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | |
|-----|--------|----------------|--------|------------------|--------|-----------------|-------------|--------|---------------|
| | | 各種申請等の手続きに関する事 | 図書室の利用 | 公民館の活動等(サークル活動等) | 公民館の利用 | 各種資料(パンフレット)の入手 | 福祉等の相談に関する事 | 会議室の利用 | 地域活動の拠点としての利用 |
| 全体 | 1993 | 65.9 | 26.4 | 19.2 | 13.3 | 6.4 | 5.5 | 3.1 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 28.8 | 58.9 | 24.7 | 2.7 | - | 2.7 | 2.7 |
| | 20代 | 119 | 63.0 | 28.6 | 10.9 | 5.9 | 3.4 | 4.2 | 2.5 |
| | 30代 | 199 | 68.8 | 24.1 | 13.6 | 9.5 | 4.0 | 0.5 | 0.5 |
| | 40代 | 303 | 70.6 | 32.0 | 18.5 | 9.2 | 3.3 | 4.3 | 2.6 |
| | 50代 | 374 | 70.9 | 27.5 | 19.8 | 13.4 | 6.4 | 7.5 | 2.7 |
| | 60代 | 325 | 68.9 | 25.2 | 16.9 | 18.2 | 6.5 | 7.1 | 3.7 |
| | 70代 | 366 | 68.0 | 20.5 | 24.3 | 16.9 | 8.7 | 7.4 | 4.4 |
| | 80歳以上 | 226 | 55.3 | 19.5 | 22.6 | 17.3 | 11.5 | 4.4 | 4.0 |

| | | 構成比(%) | | | | | | |
|-----|-------|---------------|--------------|----------|---------------|-----|-----------|-----|
| | | 自治会・町内会に関する相談 | 特に用事はないが立ち寄る | 災害時の避難場所 | 暮らし全般の相談に関する事 | その他 | 利用したことはない | 無回答 |
| 全体 | | 2.6 | 2.5 | 1.8 | 0.8 | 3.5 | 18.4 | 1.2 |
| 年代別 | 10代 | - | 1.4 | 1.4 | - | 8.2 | 23.3 | 1.4 |
| | 20代 | - | 1.7 | 0.8 | 0.8 | 6.7 | 20.2 | - |
| | 30代 | 1.5 | 2.5 | 1.0 | 2.0 | 4.0 | 23.6 | 0.5 |
| | 40代 | 0.7 | 0.7 | 0.3 | 1.0 | 3.6 | 13.5 | 0.3 |
| | 50代 | 2.9 | 1.3 | 0.8 | 0.5 | 4.3 | 18.2 | - |
| | 60代 | 2.5 | 0.3 | 2.2 | 0.3 | 2.8 | 19.4 | 0.3 |
| | 70代 | 4.1 | 5.5 | 2.7 | 0.3 | 1.4 | 16.1 | 3.0 |
| | 80歳以上 | 5.3 | 6.2 | 4.9 | 1.8 | 2.7 | 20.8 | 2.2 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

第2章 調査結果の詳細

○地区別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | |
|-----|--------|-----------------|--------|------------------|---------------|-----------------|--------------|--------|---------------|
| | | 各種申請等に関する手続きのこと | 図書室の利用 | 公民館の活動等(サークル活動等) | 公民館の利用(公民館事業) | 各種資料(パンフレット)の入手 | 福祉等の相談に関すること | 会議室の利用 | 地域活動の拠点としての利用 |
| 全体 | 1993 | 65.9 | 26.4 | 19.2 | 13.3 | 6.4 | 5.5 | 3.1 | |
| 地区別 | 片瀬 | 114 | 70.2 | 30.7 | 22.8 | 15.8 | 9.6 | 6.1 | 3.5 |
| | 鵜沼 | 246 | 51.2 | 27.6 | 19.5 | 9.8 | 7.7 | 7.3 | 2.4 |
| | 辻堂 | 204 | 77.0 | 29.9 | 22.1 | 10.3 | 4.4 | 4.9 | 1.0 |
| | 村岡 | 161 | 13.7 | 21.1 | 21.7 | 7.5 | 1.9 | 3.7 | 5.6 |
| | 藤沢 | 222 | 43.2 | 27.9 | 16.7 | 6.8 | 4.1 | 4.5 | 0.9 |
| | 明治 | 124 | 85.5 | 28.2 | 16.9 | 16.1 | 4.0 | 8.1 | 4.0 |
| | 善行 | 134 | 67.9 | 32.8 | 18.7 | 17.9 | 5.2 | 3.7 | 3.7 |
| | 湘南大庭 | 135 | 83.0 | 28.9 | 20.7 | 17.0 | 4.4 | 9.6 | 5.9 |
| | 六会 | 146 | 82.9 | 21.2 | 14.4 | 15.1 | 8.2 | 4.8 | 4.1 |
| | 湘南台 | 159 | 79.2 | 12.6 | 15.1 | 15.7 | 8.2 | 2.5 | 1.3 |
| | 遠藤 | 83 | 84.3 | 33.7 | 25.3 | 25.3 | 12.0 | 8.4 | 2.4 |
| | 長後 | 137 | 85.4 | 26.3 | 13.9 | 13.1 | 3.6 | 5.1 | 2.9 |
| 御所見 | 100 | 80.0 | 26.0 | 27.0 | 18.0 | 15.0 | 5.0 | 6.0 | |

| | 自治会・町内会に関する相談 | 特に用事は無いが立ち寄る | 災害時の避難場所 | 暮らし全般に関する相談 | その他 | 利用したことはない | 無回答 | |
|-----|---------------|--------------|----------|-------------|-----|-----------|------|--------|
| | | | | | | | | 構成比(%) |
| 全体 | 2.6 | 2.5 | 1.8 | 0.8 | 3.5 | 18.4 | 1.2 | |
| 地区別 | 片瀬 | 3.5 | 0.9 | 0.9 | 1.8 | 1.8 | 16.7 | - |
| | 鵜沼 | 2.4 | 2.8 | 1.6 | 0.4 | 2.0 | 26.8 | 0.8 |
| | 辻堂 | 2.0 | 1.5 | 2.5 | 1.0 | 2.9 | 17.2 | - |
| | 村岡 | - | 3.1 | 0.6 | 0.6 | 6.2 | 47.8 | 1.2 |
| | 藤沢 | 1.4 | 3.2 | 0.9 | 0.9 | 5.4 | 30.6 | 2.3 |
| | 明治 | 1.6 | 1.6 | 4.8 | 0.8 | 2.4 | 5.6 | 0.8 |
| | 善行 | 3.0 | - | 1.5 | - | 5.2 | 15.7 | 2.2 |
| | 湘南大庭 | 3.0 | 7.4 | 1.5 | 3.0 | 1.5 | 8.1 | 1.5 |
| | 六会 | 2.7 | 1.4 | 2.1 | 0.7 | 1.4 | 8.9 | 1.4 |
| | 湘南台 | 2.5 | 1.9 | 1.3 | - | 4.4 | 13.8 | 0.6 |
| | 遠藤 | 3.6 | - | 1.2 | - | 2.4 | 6.0 | - |
| | 長後 | 5.8 | 3.6 | 0.7 | 0.7 | 5.1 | 6.6 | 0.7 |
| 御所見 | 4.0 | 5.0 | 4.0 | 1.0 | 4.0 | 6.0 | - | |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

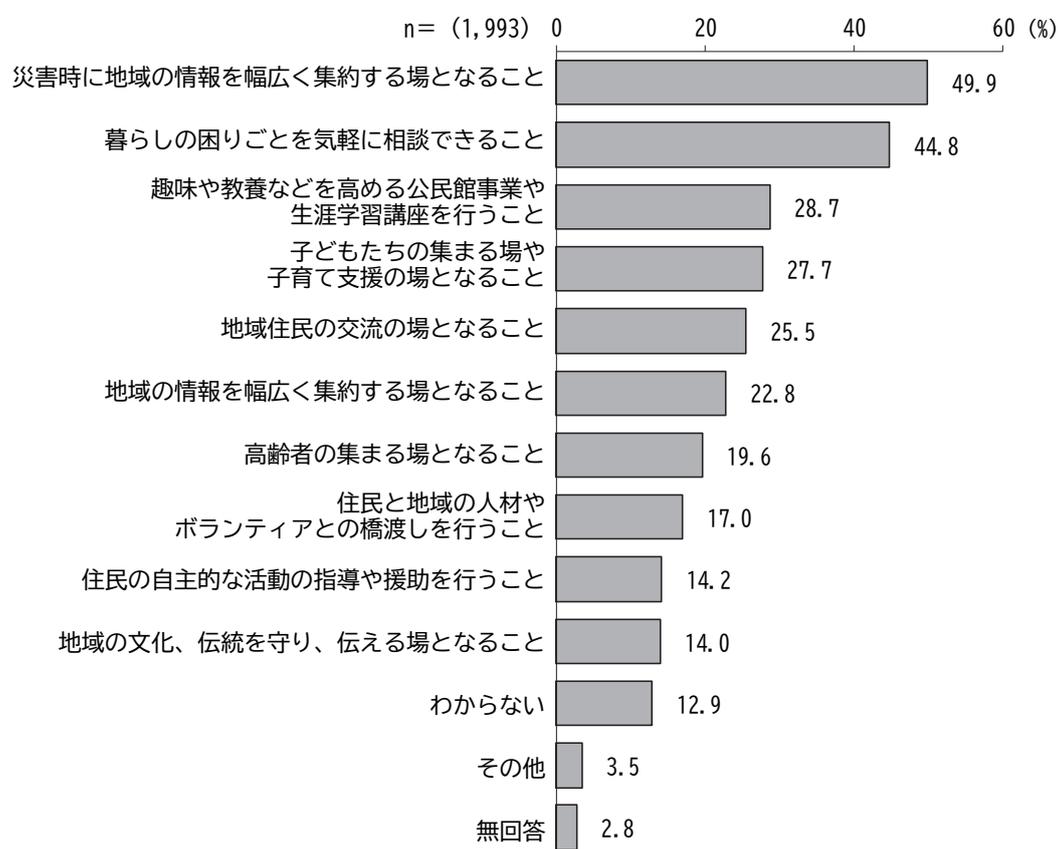
(4) 市民センター・公民館の機能充実のために要望すること

問13 あなたのお住まいの地区の市民センター・公民館の機能充実のために、どのようなことを要望しますか。(あてはまるものすべてに○)

市民センター・公民館の機能充実のために要望することは、「災害時に地域の情報を幅広く集約する場となること」が49.9%で最も高く、次いで「暮らしの困りごとを気軽に相談できること」が44.8%、「趣味や教養などを高める公民館事業や生涯学習講座を行うこと」が28.7%と続く。

年代別でみると、「災害時に地域の情報を幅広く集約する場となること」は50代で6割を超え、60代でも5割台半ばと高く、「暮らしの困りごとを気軽に相談できること」も50代で5割台半ばとなっている。「子どもたちの集まる場や子育て支援の場となること」は30代で5割を超え高くなっている。

地区別でみると、「災害時に地域の情報を幅広く集約する場となること」は多くの地区で半数前後と高くなっている。「暮らしの困りごとを気軽に相談できること」は六会・湘南台で5割を超え高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | |
|-----|--------|---------------------|---------------------|-----------------------|-----------------|----------------|---------------------|------|
| | | 災害時に地域の情報を幅広く集約すること | 暮らしの困りごとを気軽に相談できること | 趣味や教養などを高める公民館事業を行うこと | 子どもたちの集まる場となること | 地域住民の交流の場となること | 地域の情報を幅広く集約する場となること | |
| 全体 | 1993 | 49.9 | 44.8 | 28.7 | 27.7 | 25.5 | 22.8 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 34.2 | 16.4 | 20.5 | 32.9 | 17.8 | 9.6 |
| | 20代 | 119 | 38.7 | 37.8 | 19.3 | 29.4 | 15.1 | 13.4 |
| | 30代 | 199 | 48.7 | 38.2 | 26.6 | 51.3 | 18.6 | 15.6 |
| | 40代 | 303 | 47.2 | 43.6 | 29.7 | 44.2 | 26.7 | 17.8 |
| | 50代 | 374 | 60.7 | 55.3 | 28.9 | 26.2 | 31.6 | 31.8 |
| | 60代 | 325 | 53.5 | 44.6 | 34.2 | 24.3 | 25.8 | 28.3 |
| | 70代 | 366 | 51.1 | 47.8 | 29.0 | 15.0 | 26.5 | 25.7 |
| | 80歳以上 | 226 | 41.6 | 43.4 | 29.2 | 11.1 | 27.0 | 18.6 |

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | |
|-----|--------|---------------|-------------------|----------------------|-----------------------|-------|------|-----|-----|
| | | 高齢者の集まる場となること | 住民と地域の人的な橋渡しを行うこと | 住民の自主的な活動の指導や援助を行うこと | 地域の文化、伝統を守る、伝える場となること | わからない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 19.6 | 17.0 | 14.2 | 14.0 | 12.9 | 3.5 | 2.8 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 13.7 | 11.0 | 9.6 | 16.4 | 31.5 | 6.8 | 2.7 |
| | 20代 | 119 | 10.9 | 10.9 | 10.9 | 13.4 | 18.5 | 5.9 | 0.8 |
| | 30代 | 199 | 13.1 | 12.1 | 11.1 | 9.5 | 14.6 | 3.0 | 0.5 |
| | 40代 | 303 | 16.5 | 18.5 | 14.2 | 15.2 | 10.9 | 4.0 | 1.7 |
| | 50代 | 374 | 23.0 | 21.9 | 17.4 | 15.2 | 9.6 | 2.7 | 1.6 |
| | 60代 | 325 | 17.8 | 20.6 | 14.8 | 14.8 | 11.1 | 2.5 | 1.8 |
| | 70代 | 366 | 20.8 | 17.5 | 14.5 | 14.8 | 10.7 | 3.3 | 5.2 |
| | 80歳以上 | 226 | 30.5 | 10.6 | 14.6 | 12.4 | 17.3 | 3.5 | 5.8 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

○地区別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | |
|-----|--------|---------------------------------|-----------------------------|--|---------------------|--------------------|-----------------------------|------|
| | | 災害時に地域の情報 を幅広く集約する場 となること | 暮らしの困りごとを 気軽に相談できるこ と | 趣味や教養などを高 める公民館事業や生 涯学習講座を行うこ と | 子どもたちの集まる 場となること | 地域住民の交流の場 となること | 地域の情報を幅広く 集約する場となるこ と | |
| 全体 | 1993 | 49.9 | 44.8 | 28.7 | 27.7 | 25.5 | 22.8 | |
| 地区別 | 片瀬 | 114 | 49.1 | 48.2 | 31.6 | 24.6 | 25.4 | 21.1 |
| | 鵜沼 | 246 | 48.0 | 40.7 | 29.7 | 25.2 | 28.5 | 22.8 |
| | 辻堂 | 204 | 46.6 | 46.6 | 30.4 | 27.0 | 28.4 | 21.6 |
| | 村岡 | 161 | 50.9 | 34.8 | 31.1 | 37.3 | 28.0 | 17.4 |
| | 藤沢 | 222 | 52.7 | 45.9 | 31.1 | 28.4 | 26.1 | 23.0 |
| | 明治 | 124 | 49.2 | 46.8 | 27.4 | 29.0 | 16.1 | 26.6 |
| | 善行 | 134 | 56.7 | 44.0 | 30.6 | 23.9 | 27.6 | 25.4 |
| | 湘南大庭 | 135 | 55.6 | 45.9 | 37.0 | 30.4 | 25.2 | 28.9 |
| | 六会 | 146 | 50.7 | 52.1 | 24.0 | 30.8 | 29.5 | 28.1 |
| | 湘南台 | 159 | 49.1 | 50.3 | 23.9 | 31.4 | 23.3 | 25.2 |
| | 遠藤 | 83 | 45.8 | 41.0 | 31.3 | 20.5 | 24.1 | 20.5 |
| | 長後 | 137 | 49.6 | 48.2 | 25.5 | 21.2 | 21.9 | 19.0 |
| 御所見 | 100 | 45.0 | 44.0 | 19.0 | 29.0 | 24.0 | 16.0 | |

| | 高齢者の集まる場と なること | 住民と地域の人の材 橋や | 住民の自主的な活 動 | 地域の文化、伝統を 守り伝える場とな ること | わからない | その他 | 無回答 | |
|-----|-------------------|-----------------|---------------|------------------------------|-------|------|-----|--------|
| | | | | | | | | 構成比(%) |
| 全体 | 19.6 | 17.0 | 14.2 | 14.0 | 12.9 | 3.5 | 2.8 | |
| 地区別 | 片瀬 | 14.9 | 17.5 | 14.9 | 21.9 | 8.8 | 5.3 | 3.5 |
| | 鵜沼 | 22.8 | 16.7 | 17.5 | 16.3 | 12.6 | 2.0 | 2.8 |
| | 辻堂 | 19.6 | 18.1 | 12.3 | 13.2 | 15.7 | 1.5 | 2.5 |
| | 村岡 | 22.4 | 16.1 | 11.8 | 14.9 | 16.1 | 3.1 | 2.5 |
| | 藤沢 | 21.6 | 17.1 | 13.1 | 13.5 | 12.2 | 4.1 | 3.2 |
| | 明治 | 20.2 | 18.5 | 14.5 | 13.7 | 13.7 | 2.4 | 4.0 |
| | 善行 | 20.9 | 18.7 | 20.9 | 13.4 | 12.7 | 6.7 | 2.2 |
| | 湘南大庭 | 20.0 | 15.6 | 14.8 | 10.4 | 10.4 | 3.0 | 4.4 |
| | 六会 | 15.8 | 22.6 | 15.1 | 14.4 | 15.8 | 2.7 | 2.7 |
| | 湘南台 | 18.2 | 14.5 | 15.7 | 13.2 | 11.3 | 1.3 | 1.3 |
| | 遠藤 | 16.9 | 15.7 | 19.3 | 14.5 | 13.3 | 6.0 | - |
| | 長後 | 19.0 | 13.9 | 7.3 | 10.9 | 11.7 | 2.9 | 2.2 |
| 御所見 | 17.0 | 15.0 | 11.0 | 14.0 | 13.0 | 9.0 | 1.0 | |

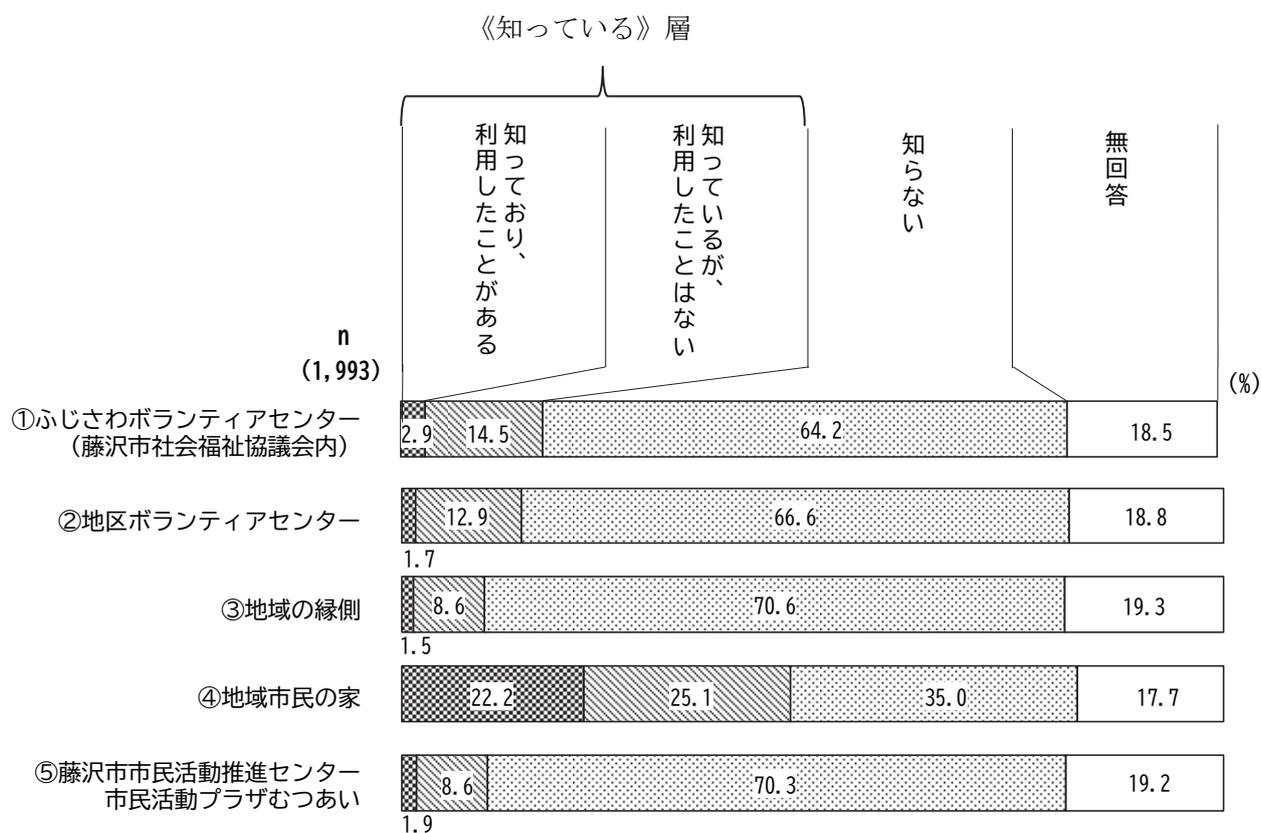
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(5) 施設の知名度

問14 あなたは、次の場所を知っていますか。(それぞれ〇は1つずつ)

施設の知名度は、「知っており、利用したことがある」で“④地域市民の家”が22.2%でほかの施設よりも高くなっている。「知っているが、利用したことはない」をあわせた《知っている》層は“④地域市民の家”が47.3%で最も高く、次いで“①ふじさわボランティアセンター（藤沢市社会福祉協議会内）”が17.4%、“②地区ボランティアセンター”が14.6%となっている。一方、「知らない」は“③地域の縁側”、“⑤藤沢市市民活動推進センター 市民活動プラザむつあい”が7割を超えている。

地区別でみると、“④地域市民の家”の《知っている》層は湘南大庭・御所見で6割台となっている。一方、そのほかの施設は、「知らない」の割合が高く、7割に届く地区も多くなっている。



○地区別・クロス集計

| | | 調査数 (件) | ①ふじさわボランティアセンター (藤沢市社会福祉協議会内) | | | | 《知っている》層 |
|-------------|------|------------|----------------------------------|---|------------------|-------------|----------|
| | | | 構成比(%) | | | | |
| | | | 利用 しており、 利用した ことがある | 知 つて お り、 利 用 し て い る が、 利 用 し て い る こ と は な い | 知 ら な い | 無 回 答 | |
| 全 体 | | 1993 | 2.9 | 14.5 | 64.2 | 18.5 | 17.4 |
| 地 区 別 | 片 瀬 | 114 | 3.5 | 21.9 | 57.9 | 16.7 | 25.4 |
| | 鵜 沼 | 246 | 2.4 | 15.0 | 61.4 | 21.1 | 17.4 |
| | 辻 堂 | 204 | 2.5 | 9.8 | 70.1 | 17.6 | 12.3 |
| | 村 岡 | 161 | 3.7 | 13.0 | 65.8 | 17.4 | 16.7 |
| | 藤 沢 | 222 | 2.3 | 16.7 | 59.0 | 22.1 | 19.0 |
| | 明 治 | 124 | 0.8 | 12.1 | 71.8 | 15.3 | 12.9 |
| | 善 行 | 134 | 3.0 | 18.7 | 61.2 | 17.2 | 21.7 |
| | 湘南大庭 | 135 | 2.2 | 17.0 | 62.2 | 18.5 | 19.2 |
| | 六 会 | 146 | 4.1 | 17.1 | 57.5 | 21.2 | 21.2 |
| | 湘南台 | 159 | 3.8 | 11.3 | 62.9 | 22.0 | 15.1 |
| | 遠 藤 | 83 | 3.6 | 13.3 | 68.7 | 14.5 | 16.9 |
| | 長 後 | 137 | 0.7 | 13.1 | 70.8 | 15.3 | 13.8 |
| | 御所見 | 100 | 5.0 | 11.0 | 71.0 | 13.0 | 16.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

| | | ②地区ボランティアセンター | | | | 《知っている》層 | |
|-----|------|---------------|---------------------|----------------------|------|----------|------|
| | | 調査数（件） | 構成比（%） | | | | |
| | | | 知っており、 利用したことがある | 知っているが、 利用したことはない | 知らない | | 無回答 |
| 全 体 | | 1993 | 1.7 | 12.9 | 66.6 | 18.8 | 14.6 |
| 地区別 | 片瀬 | 114 | 5.3 | 22.8 | 52.6 | 19.3 | 28.1 |
| | 鵜沼 | 246 | 1.6 | 10.6 | 65.9 | 22.0 | 12.2 |
| | 辻堂 | 204 | 2.0 | 10.3 | 70.1 | 17.6 | 12.3 |
| | 村岡 | 161 | 1.9 | 8.1 | 73.3 | 16.8 | 10.0 |
| | 藤沢 | 222 | - | 12.2 | 65.3 | 22.5 | 12.2 |
| | 明治 | 124 | 0.8 | 6.5 | 76.6 | 16.1 | 7.3 |
| | 善行 | 134 | 2.2 | 17.9 | 62.7 | 17.2 | 20.1 |
| | 湘南大庭 | 135 | 0.7 | 20.0 | 60.7 | 18.5 | 20.7 |
| | 六会 | 146 | 0.7 | 17.1 | 59.6 | 22.6 | 17.8 |
| | 湘南台 | 159 | - | 12.6 | 64.2 | 23.3 | 12.6 |
| | 遠藤 | 83 | 2.4 | 16.9 | 67.5 | 13.3 | 19.3 |
| | 長後 | 137 | 1.5 | 10.9 | 72.3 | 15.3 | 12.4 |
| | 御所見 | 100 | 5.0 | 10.0 | 74.0 | 11.0 | 15.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

| | | ③地域の縁側 | | | | 《知っている》層 | |
|-----|------|------------|--|---|------------------|----------|-------------|
| | | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | |
| | | | 知 用 つ て お り 、 利 用 し た こ と が あ る | 知 用 つ て い る が 、 利 用 し て い る こ と は な い | 知 ら な い | | 無 回 答 |
| 全 体 | 1993 | 1.5 | 8.6 | 70.6 | 19.3 | 10.1 | |
| 地区別 | 片瀬 | 114 | 4.4 | 16.7 | 60.5 | 18.4 | 21.1 |
| | 鵜沼 | 246 | 1.6 | 9.3 | 67.9 | 21.1 | 10.9 |
| | 辻堂 | 204 | - | 3.9 | 75.5 | 20.6 | 3.9 |
| | 村岡 | 161 | 1.9 | 5.6 | 74.5 | 18.0 | 7.5 |
| | 藤沢 | 222 | 1.8 | 6.8 | 68.9 | 22.5 | 8.6 |
| | 明治 | 124 | - | 6.5 | 77.4 | 16.1 | 6.5 |
| | 善行 | 134 | 2.2 | 11.9 | 67.2 | 18.7 | 14.1 |
| | 湘南大庭 | 135 | 1.5 | 8.9 | 70.4 | 19.3 | 10.4 |
| | 六会 | 146 | 1.4 | 6.2 | 71.2 | 21.2 | 7.6 |
| | 湘南台 | 159 | - | 5.7 | 71.1 | 23.3 | 5.7 |
| | 遠藤 | 83 | 1.2 | 15.7 | 68.7 | 14.5 | 16.9 |
| | 長後 | 137 | 1.5 | 10.2 | 72.3 | 16.1 | 11.7 |
| | 御所見 | 100 | 3.0 | 13.0 | 71.0 | 13.0 | 16.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

| | | ④地域市民の家 | | | | 《知っている》層 | |
|-----|------|------------|------------------------------|-------------------------|----------|----------|---------|
| | | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | |
| | | | 利用 しており、 利用した ことがある | 利用 している が、 はない | 知 らない | | 無 回答 |
| 全 体 | | 1993 | 22.2 | 25.1 | 35.0 | 17.7 | 47.3 |
| 地区別 | 片瀬 | 114 | 28.9 | 25.4 | 28.1 | 17.5 | 54.3 |
| | 鵜沼 | 246 | 14.2 | 28.9 | 36.6 | 20.3 | 43.1 |
| | 辻堂 | 204 | 27.0 | 16.7 | 40.2 | 16.2 | 43.7 |
| | 村岡 | 161 | 19.3 | 26.7 | 36.6 | 17.4 | 46.0 |
| | 藤沢 | 222 | 15.8 | 25.7 | 36.9 | 21.6 | 41.5 |
| | 明治 | 124 | 24.2 | 20.2 | 39.5 | 16.1 | 44.4 |
| | 善行 | 134 | 23.1 | 20.9 | 38.1 | 17.9 | 44.0 |
| | 湘南大庭 | 135 | 31.1 | 33.3 | 20.0 | 15.6 | 64.4 |
| | 六会 | 146 | 19.2 | 21.2 | 39.7 | 19.9 | 40.4 |
| | 湘南台 | 159 | 15.7 | 18.9 | 43.4 | 22.0 | 34.6 |
| | 遠藤 | 83 | 25.3 | 33.7 | 28.9 | 12.0 | 59.0 |
| | 長後 | 137 | 30.7 | 29.2 | 25.5 | 14.6 | 59.9 |
| | 御所見 | 100 | 27.0 | 33.0 | 31.0 | 9.0 | 60.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

| | | 調査数 (件) | ⑤藤沢市市民活動推進センター 市民活動プラザむつあい 構成比 (%) | | | | 《知っている》 層 |
|-------------|------|------------|--|---|------------------|-------------|--------------|
| | | | 利用 しており、 利用した ことがある | 知 つてお り、 利用し ている が、 はな い | 知 ら な い | 無 回 答 | |
| 全 体 | | 1993 | 1.9 | 8.6 | 70.3 | 19.2 | 10.5 |
| 地 区 別 | 片 瀬 | 114 | 1.8 | 5.3 | 73.7 | 19.3 | 7.1 |
| | 鵜 沼 | 246 | 2.0 | 5.7 | 71.1 | 21.1 | 7.7 |
| | 辻 堂 | 204 | 2.9 | 6.4 | 72.1 | 18.6 | 9.3 |
| | 村 岡 | 161 | 1.2 | 3.7 | 77.0 | 18.0 | 4.9 |
| | 藤 沢 | 222 | 2.7 | 8.6 | 66.2 | 22.5 | 11.3 |
| | 明 治 | 124 | 1.6 | 4.0 | 77.4 | 16.9 | 5.6 |
| | 善 行 | 134 | 1.5 | 12.7 | 67.9 | 17.9 | 14.2 |
| | 湘南大庭 | 135 | 0.7 | 8.9 | 71.1 | 19.3 | 9.6 |
| | 六 会 | 146 | 1.4 | 23.3 | 54.1 | 21.2 | 24.7 |
| | 湘南台 | 159 | 1.9 | 7.5 | 66.0 | 24.5 | 9.4 |
| | 遠 藤 | 83 | - | 13.3 | 73.5 | 13.3 | 13.3 |
| | 長 後 | 137 | 0.7 | 11.7 | 72.3 | 15.3 | 12.4 |
| | 御所見 | 100 | 4.0 | 5.0 | 78.0 | 13.0 | 9.0 |

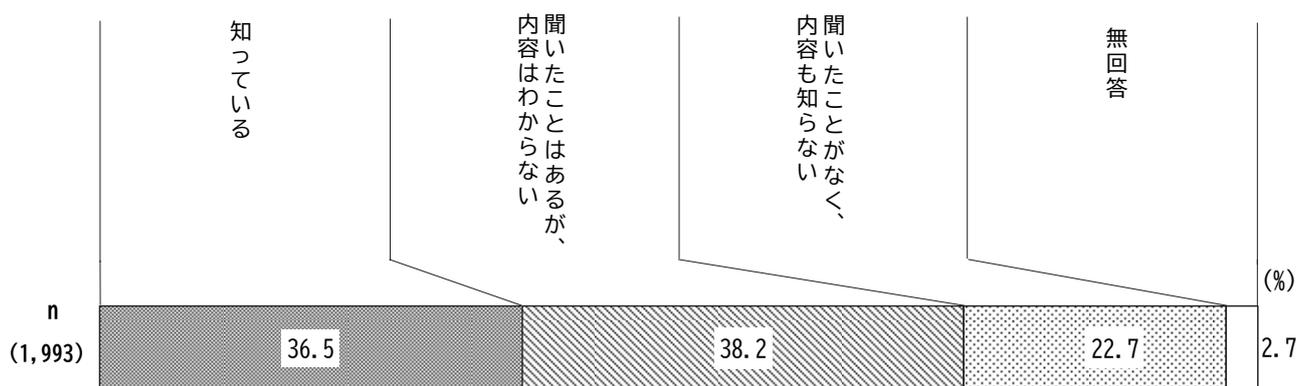
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(6) 成年後見制度について

問15 あなたは「成年後見制度」について知っていますか。(1つに○)

成年後見制度の認知度については、「知っている」が36.5%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が38.2%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が22.7%となっている。「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことがなく、内容も知らない」をあわせた《内容を知らない》は60.9%にのぼっている。

年代別にみると、「知っている」では60代が5割近くと、ほかの年齢層と比べて高くなっている。「聞いたことがなく、内容も知らない」では、10代が7割近くと高くなっている。



○年代別・クロス集計

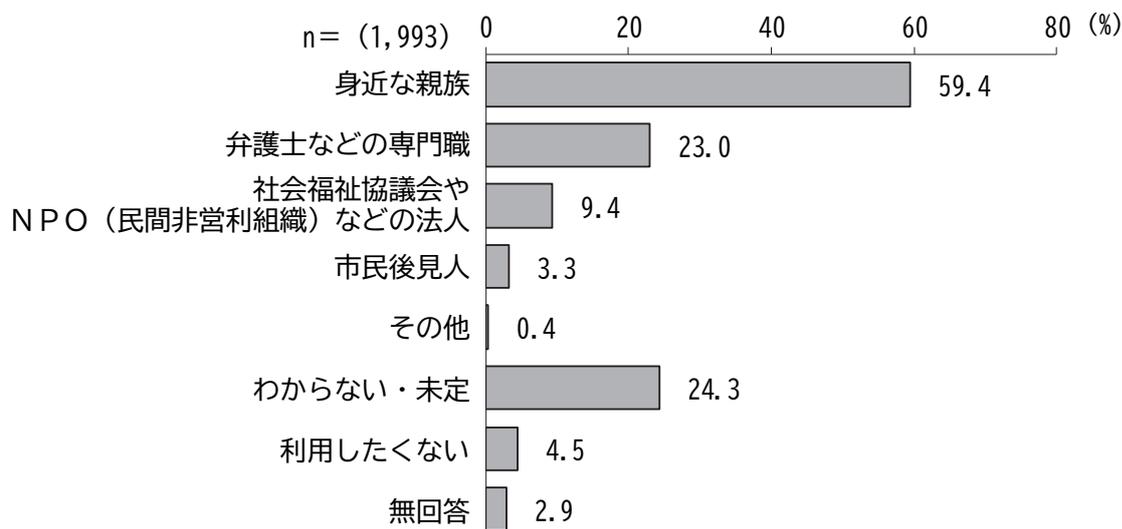
| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | |
|-----|---------|---------|-------------------|------------------|------|-----|
| | | 知っている | 聞いたことはあるが、内容は知らない | 聞いたことがなく、内容も知らない | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 36.5 | 38.2 | 22.7 | 2.7 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 6.8 | 23.3 | 68.5 | 1.4 |
| | 20代 | 119 | 28.6 | 26.9 | 42.9 | 1.7 |
| | 30代 | 199 | 30.7 | 28.6 | 40.2 | 0.5 |
| | 40代 | 303 | 31.0 | 43.2 | 23.4 | 2.3 |
| | 50代 | 374 | 37.7 | 40.6 | 20.1 | 1.6 |
| | 60代 | 325 | 49.5 | 35.7 | 11.7 | 3.1 |
| | 70代 | 366 | 42.3 | 42.9 | 10.9 | 3.8 |
| | 80歳以上 | 226 | 32.7 | 43.4 | 19.9 | 4.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(7) 後見人を希望する相手

問16 あなたが成年後見制度を利用することになった場合、どなたに後見人をお願いしたいですか。(あてはまる方すべてに○)

後見人を希望する相手は、「身近な親族」が59.4%で最も高く、次いで「弁護士などの専門職」が23.0%、「社会福祉協議会やNPO（民間非営利組織）などの法人」が9.4%と続く。

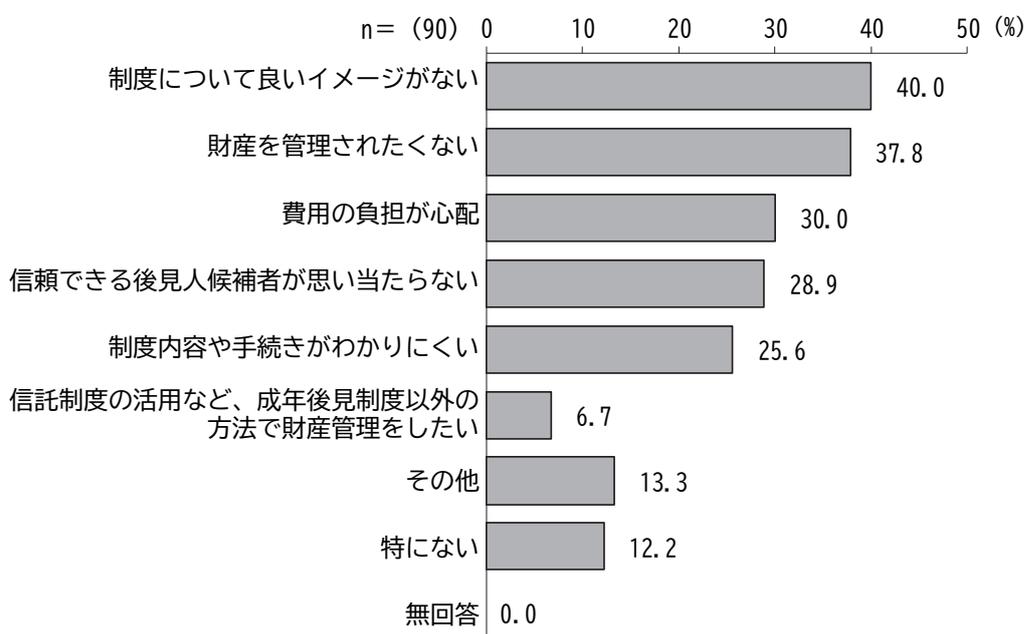


(8) 後見制度を利用したくないと思う理由

《問16-1は、問16で「7. 利用したくない」と回答した方のみお答えください》

問16-1 あなたが成年後見制度を利用したくないと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

後見制度を利用したくないと思う理由は、「制度について良いイメージがない」が40.0%で最も高く、次いで「財産を管理されたくない」が37.8%、「費用の負担が心配」が30.0%と続く。



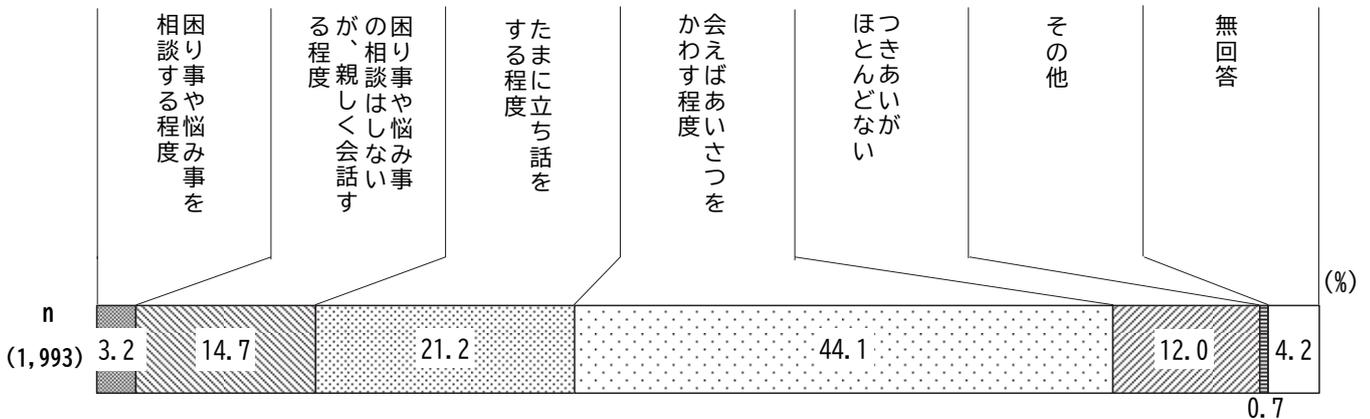
4. 地域やご近所との関わりについて

(1) 近隣との日頃のつきあい方

問17 あなたは、日頃、ご近所の方とどのようなつきあい方をしていますか。(1つに○)

近隣との日頃のつきあい方は、「会えばあいさつをかわす程度」が44.1%で最も高く、次いで「たまたま立ち話をする程度」が21.2%、「困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度」が14.7%と続く。

年代別でみると、「困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度」は70代で3割近く、「たまたま立ち話をする程度」は80歳以上で3割近くと高くなっている。「会えばあいさつをかわす程度」は年齢が下がるほど高い傾向があり、10代で7割台半ば、20代で6割を超えている。また、「つきあいがほとんどない」は最も高い20代でも27.7%と、3割近くとなっている。



○年代別・クロス集計

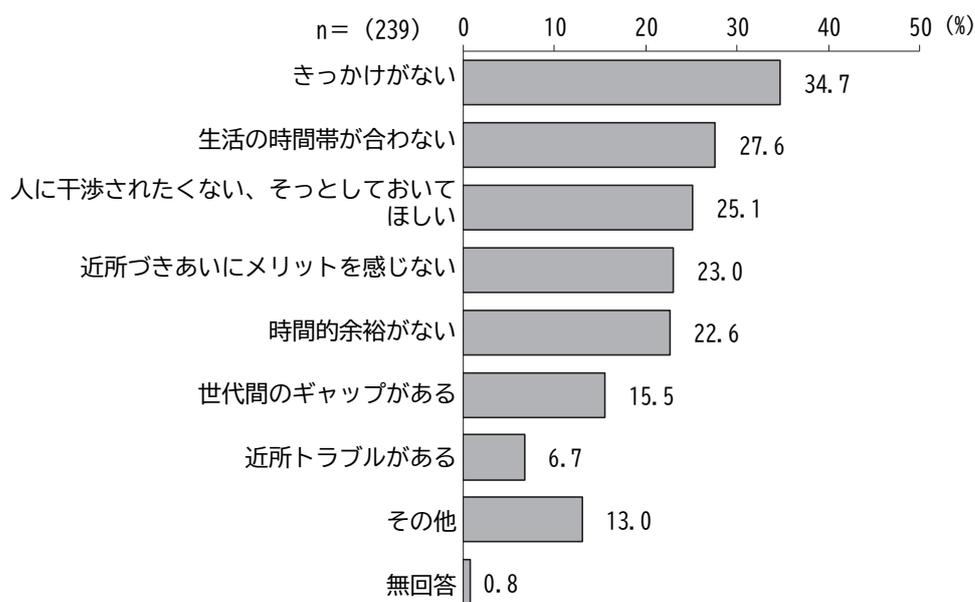
| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | | |
|-------------|---------|-----------------------|---|---|--|--|--|-------------|-------------|
| | | 相困り 談事 する 程度 | く 会 話 し な い が 、 親 し く 会 話 す る 程 度 | 困 り 事 や 悩 み 事 の 相 談 は し な い が 、 親 し く 会 話 す る 程 度 | た ま ま に 立 ち 話 を す る 程 度 | か 会 え ば あ い さ つ を か わ す 程 度 | ほ つ と ん ど い が い な い | そ の 他 | 無 回 答 |
| 全 体 | 1993 | 3.2 | 14.7 | 21.2 | 44.1 | 12.0 | 0.7 | 4.2 | |
| 年 代 別 | 10 代 | 73 | - | 4.1 | 6.8 | 72.6 | 15.1 | - | 1.4 |
| | 20 代 | 119 | 0.8 | 2.5 | 5.0 | 61.3 | 27.7 | 0.8 | 1.7 |
| | 30 代 | 199 | 4.0 | 8.5 | 16.1 | 46.7 | 22.1 | 1.5 | 1.0 |
| | 40 代 | 303 | 3.6 | 9.9 | 17.5 | 50.2 | 15.2 | - | 3.6 |
| | 50 代 | 374 | 2.4 | 9.6 | 25.1 | 49.5 | 10.7 | 0.3 | 2.4 |
| | 60 代 | 325 | 2.2 | 12.6 | 26.2 | 45.5 | 8.6 | - | 4.9 |
| | 70 代 | 366 | 5.2 | 28.1 | 22.4 | 31.7 | 6.0 | 1.4 | 5.2 |
| | 80 歳以上 | 226 | 4.0 | 26.1 | 27.9 | 25.2 | 6.6 | 1.8 | 8.4 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

《問17-1は、問17で「5. つきあいがほとんどない」と回答した方のみお答えください》
 問17-1 その理由は何ですか。(1つに○)

近隣とのつきあいがほとんどない理由は、「きっかけがない」が34.7%で最も高く、次いで「生活の時間帯が合わない」が27.6%、「人に干渉されたくない、そっとしておいてほしい」が25.1%となっている。

年代別にみると、「時間的余裕がない」では50代が4割近く、20代が3割台半ば、「近所づきあいにメリットを感じない」では20代が4割近く、70代が3割を超え、それぞれ高い割合となっている。



○年代別・クロス集計

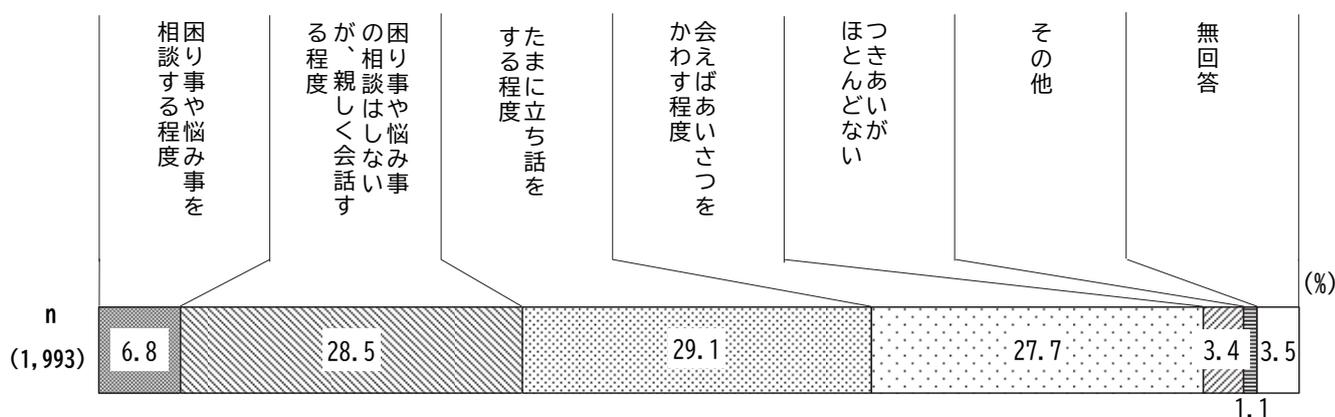
| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | | | |
|-----|---------|---------|-------------|------------------------|------------------|----------|-------------|-----------|------|-----|
| | | きっかけがない | 生活の時間帯が合わない | 人に干渉されたくない、そっとしておいてほしい | 近所づきあいにメリットを感じない | 時間的余裕がない | 世代間のギャップがある | 近所トラブルがある | その他 | 無回答 |
| 全体 | 239 | 34.7 | 27.6 | 25.1 | 23.0 | 22.6 | 15.5 | 6.7 | 13.0 | 0.8 |
| 年代別 | 10代 | 11 | 27.3 | 18.2 | 9.1 | 27.3 | 18.2 | - | 18.2 | 9.1 |
| | 20代 | 33 | 27.3 | 45.5 | 30.3 | 39.4 | 27.3 | 9.1 | 6.1 | - |
| | 30代 | 44 | 31.8 | 31.8 | 34.1 | 25.0 | 25.0 | 9.1 | 11.4 | - |
| | 40代 | 46 | 30.4 | 30.4 | 30.4 | 17.4 | 15.2 | 6.5 | 13.0 | - |
| | 50代 | 40 | 35.0 | 30.0 | 15.0 | 15.0 | 37.5 | 7.5 | 15.0 | - |
| | 60代 | 28 | 39.3 | 25.0 | 14.3 | 14.3 | 17.9 | 3.6 | 21.4 | 3.6 |
| | 70代 | 22 | 36.4 | 4.5 | 36.4 | 31.8 | 9.1 | 4.5 | 4.5 | - |
| | 80歳以上 | 15 | 66.7 | 6.7 | 13.3 | 20.0 | - | 6.7 | 20.0 | - |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

問18 あなたにとって望ましい近所つきあいは、どの程度ですか。(1つに○)

望ましい近所つきあいは、「たまに立ち話をする程度」が29.1%で最も高く、次いで「困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度」が28.5%、「会えばあいさつをかわす程度」が27.7%と続き、「困り事や悩み事を相談する程度」は6.8%にとどまっている。

年代別にみると、「会えばあいさつをかわす程度」では20代が5割近く、10代が4割台半ばと高くなっている。一方で「困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度」では70代・80代でともに3割台半ばとなっている。また、「たまに立ち話をする程度」では60代で3割台半ばと高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | | |
|-------------|---------|----------------------------|--|--|---|---|---|-------------|-------------|
| | | 相 談 す る 程 度 | 困 り 事 や 悩 み 事 を 相 談 し な い が 、 親 し く 会 話 す る 程 度 | 困 り 事 や 悩 み 事 の 相 談 は し な い が 、 事 の 親 し み の 程 度 | た ま に 立 ち 話 を す る 程 度 | 会 え ば あ い さ つ を か わ す 程 度 | ほ つ き あ い が い な い | そ の 他 | 無 回 答 |
| 全 体 | 1993 | 6.8 | 28.5 | 29.1 | 27.7 | 3.4 | 1.1 | 3.5 | |
| 年 代 別 | 10 代 | 73 | 2.7 | 26.0 | 23.3 | 42.5 | 4.1 | - | 1.4 |
| | 20 代 | 119 | 2.5 | 10.9 | 28.6 | 48.7 | 6.7 | 0.8 | 1.7 |
| | 30 代 | 199 | 7.5 | 22.1 | 28.1 | 35.2 | 4.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 40 代 | 303 | 7.6 | 24.1 | 29.7 | 30.7 | 4.0 | 1.0 | 3.0 |
| | 50 代 | 374 | 7.8 | 27.8 | 29.7 | 28.9 | 2.7 | 1.1 | 2.1 |
| | 60 代 | 325 | 4.6 | 30.2 | 36.0 | 22.8 | 1.2 | 0.6 | 4.6 |
| | 70 代 | 366 | 7.9 | 36.3 | 26.0 | 20.2 | 2.7 | 1.9 | 4.9 |
| | 80 歳以上 | 226 | 8.4 | 36.7 | 26.1 | 19.0 | 4.9 | 0.4 | 4.4 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(2) 居住地での暮らしやすさ

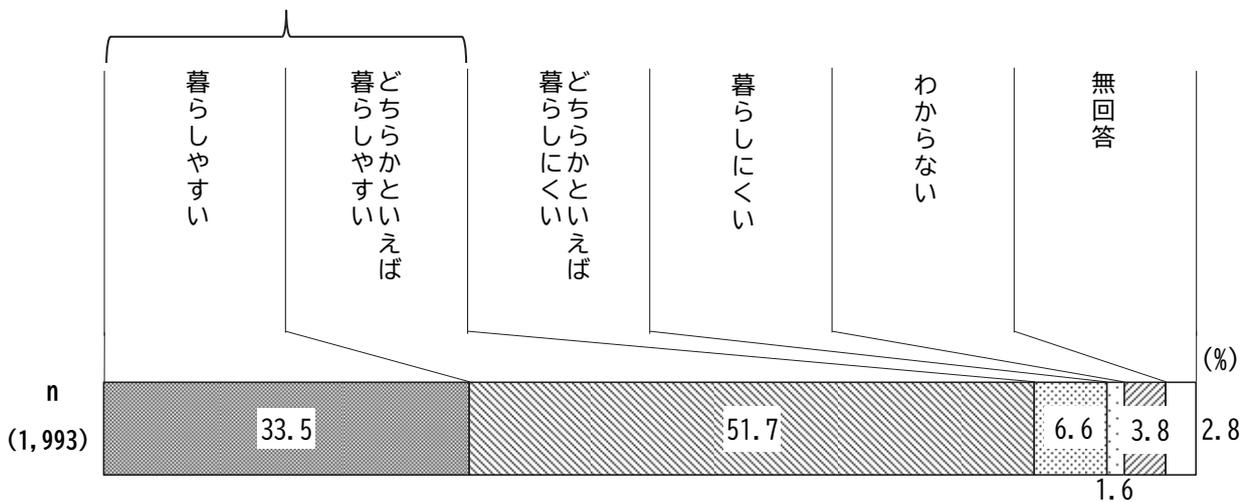
問19 あなたのお住まいの地区での暮らしについてどう思われますか。(1つに○)

居住地での暮らしやすさは、「暮らしやすい」が33.5%、「どちらかといえば暮らしやすい」が51.7%となっており、両者をあわせると、《暮らしやすい》層は85.2%となっている。

年代別でみると、《暮らしやすい》層はすべての年齢で8割以上と高く、10代・30代で9割台半ばとなっている。

近所づきあいの程度別でみると、《暮らしやすい》層は近所づきあいの程度が高いほど高い傾向があり、“困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度”で9割台半ばとなっている。“つきあいがほとんどない”では7割台半ばとほかの付き合い方と比較すると低くなっている。

《暮らしやすい》層 85.2%



○年代別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | 《暮らしやすい》層 | |
|-----|---------|---------|----------------|----------------|--------|-------|-----|-----------|------|
| | | 暮らしやすい | どちらかといえば暮らしやすい | どちらかといえば暮らしにくい | 暮らしにくい | わからない | 無回答 | | |
| 全体 | 1993 | 33.5 | 51.7 | 6.6 | 1.6 | 3.8 | 2.8 | 85.2 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 57.5 | 35.6 | 2.7 | - | 2.7 | 1.4 | 93.1 |
| | 20代 | 119 | 42.9 | 41.2 | 8.4 | 1.7 | 4.2 | 1.7 | 84.1 |
| | 30代 | 199 | 41.2 | 53.3 | 3.0 | 0.5 | 1.5 | 0.5 | 94.5 |
| | 40代 | 303 | 36.3 | 48.5 | 6.9 | 3.0 | 3.0 | 2.3 | 84.8 |
| | 50代 | 374 | 31.6 | 54.5 | 7.2 | 0.5 | 4.0 | 2.1 | 86.1 |
| | 60代 | 325 | 29.5 | 54.2 | 8.0 | 1.8 | 3.1 | 3.4 | 83.7 |
| | 70代 | 366 | 24.6 | 58.5 | 6.3 | 1.9 | 4.6 | 4.1 | 83.1 |
| | 80歳以上 | 226 | 34.1 | 47.3 | 6.2 | 2.2 | 6.6 | 3.5 | 81.4 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

第2章 調査結果の詳細

○近所付き合いの程度別・クロス集計

| | | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | 無回答 | 《暮らしやすい》層 |
|------------------------------------|-------------------------------|--------|--------|-------------------|-------------------|--------|-------|-----|-----------|
| | | | 暮らしやすい | どちらかといえ 暮らしやすい | どちらかといえ 暮らしにくい | 暮らしにくい | わからない | | |
| 全 体 | | 1993 | 33.5 | 51.7 | 6.6 | 1.6 | 3.8 | 2.8 | 85.2 |
| 近所 付き 合い の 程 度 別 | 困り事や悩み事を相談する程度 | 64 | 46.9 | 42.2 | 6.3 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 89.1 |
| | 困り事や悩み事の相談はしない が、親しく会話する程度 | 293 | 46.8 | 46.1 | 5.1 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 92.9 |
| | たまに立ち話をする程度 | 422 | 35.1 | 56.2 | 4.7 | 1.4 | 2.4 | 0.2 | 91.3 |
| | 会えばあいさつをかわす程度 | 878 | 31.9 | 55.6 | 7.9 | 1.1 | 3.5 | - | 87.5 |
| | つきあいがほとんどない | 239 | 26.8 | 49.4 | 7.5 | 4.6 | 11.3 | 0.4 | 76.2 |
| | その他 | 14 | 28.6 | 42.9 | 7.1 | 7.1 | 14.3 | - | 71.5 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

※「近所付き合いの程度別」：4. (1)「近隣との日頃のつきあい方」より

(3) 居住地域での孤立感

問20 あなたのお住まいの地区で孤立感を感じることがありますか。(1つに○)

居住地域での孤立感は、「感じる」が3.0%、「やや感じる」が8.5%となっており、両者をあわせると、《感じる》層は11.5%となっている。

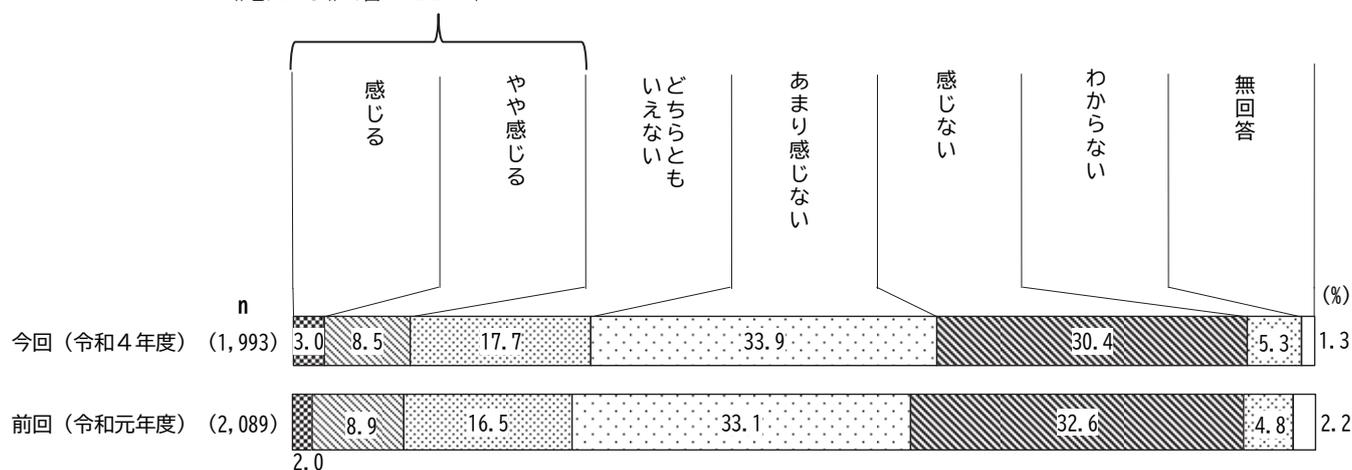
前回調査(令和元年度)と比較すると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、《感じる》層は40代から80歳以上で1割台となっている。「感じない」は10代で5割台半ば、20代・70代・80歳以上で3割台半ばと高くなっている。

地区別でみると、《感じる》層は村岡・藤沢・湘南大庭で1割台半ばとなっている。「感じない」は明治で4割近く、鶴沼で3割台半ばと高くなっている。

介護や支援の状況別でみると、《感じる》層は“支援を受けている”で16.0%となっており、他の層と比較すると高い割合となっている。

《感じる》層 11.5%



第2章 調査結果の詳細

○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | 《感じる》層 | |
|-----|--------|--------|-------|-----------|---------|------|-------|-----|--------|------|
| | | 感じる | やや感じる | どちらともいえない | あまり感じない | 感じない | わからない | 無回答 | | |
| 全体 | 1993 | 3.0 | 8.5 | 17.7 | 33.9 | 30.4 | 5.3 | 1.3 | 11.5 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 1.4 | 2.7 | 11.0 | 17.8 | 56.2 | 8.2 | 2.7 | 4.1 |
| | 20代 | 119 | 2.5 | 5.0 | 24.4 | 26.9 | 32.8 | 7.6 | 0.8 | 7.5 |
| | 30代 | 199 | 1.5 | 8.0 | 17.1 | 40.7 | 27.6 | 4.5 | 0.5 | 9.5 |
| | 40代 | 303 | 2.6 | 9.2 | 18.8 | 36.0 | 26.7 | 6.3 | 0.3 | 11.8 |
| | 50代 | 374 | 2.9 | 8.8 | 17.6 | 36.9 | 27.3 | 5.6 | 0.8 | 11.7 |
| | 60代 | 325 | 2.8 | 9.8 | 20.0 | 32.6 | 28.9 | 3.1 | 2.8 | 12.6 |
| | 70代 | 366 | 3.3 | 9.8 | 16.7 | 33.1 | 32.8 | 3.8 | 0.5 | 13.1 |
| | 80歳以上 | 226 | 4.9 | 7.1 | 13.7 | 32.3 | 32.7 | 7.5 | 1.8 | 12.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

○地区別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | 《感じる》層 | |
|-----|--------|--------|-------|-----------|---------|------|-------|------|--------|------|
| | | 感じる | やや感じる | どちらともいえない | あまり感じない | 感じない | わからない | 無回答 | | |
| 全体 | 1993 | 3.0 | 8.5 | 17.7 | 33.9 | 30.4 | 5.3 | 1.3 | 11.5 | |
| 年代別 | 片瀬 | 114 | 1.8 | 8.8 | 17.5 | 36.0 | 32.5 | 3.5 | - | 10.6 |
| | 鵜沼 | 246 | 3.7 | 6.5 | 13.0 | 34.1 | 35.4 | 6.5 | 0.8 | 10.2 |
| | 辻堂 | 204 | 1.5 | 8.8 | 17.6 | 35.3 | 32.4 | 3.4 | 1.0 | 10.3 |
| | 村岡 | 161 | 5.0 | 8.1 | 16.8 | 29.8 | 31.7 | 8.1 | 0.6 | 13.1 |
| | 藤沢 | 222 | 3.2 | 10.8 | 18.5 | 34.2 | 25.7 | 5.4 | 2.3 | 14.0 |
| | 明治 | 124 | 1.6 | 9.7 | 20.2 | 26.6 | 39.5 | 1.6 | 0.8 | 11.3 |
| | 善行 | 134 | 2.2 | 9.7 | 20.1 | 37.3 | 24.6 | 5.2 | 0.7 | 11.9 |
| | 湘南大庭 | 135 | 4.4 | 8.9 | 20.7 | 33.3 | 23.7 | 8.1 | 0.7 | 13.3 |
| | 六会 | 146 | 4.1 | 6.2 | 18.5 | 32.2 | 32.2 | 4.8 | 2.1 | 10.3 |
| | 湘南台 | 159 | 1.9 | 8.8 | 16.4 | 39.6 | 26.4 | 6.3 | 0.6 | 10.7 |
| | 遠藤 | 83 | 3.6 | 8.4 | 16.9 | 37.3 | 28.9 | 2.4 | 2.4 | 12.0 |
| | 長後 | 137 | 0.7 | 8.8 | 22.6 | 32.8 | 31.4 | 2.9 | 0.7 | 9.5 |
| | 御所見 | 100 | 3.0 | 6.0 | 15.0 | 34.0 | 31.0 | 10.0 | 1.0 | 9.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

○介護や支援の状況別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | 《感じる》層 | |
|-----------|--------------------|--------|-------|-----------|---------|------|-------|------|--------|------|
| | | 感じる | やや感じる | どちらともいえない | あまり感じない | 感じない | わからない | 無回答 | | |
| 全体 | 1993 | 3.0 | 8.5 | 17.7 | 33.9 | 30.4 | 5.3 | 1.3 | 11.5 | |
| 介護や支援の状況別 | 支援を受けている | 112 | 7.1 | 8.9 | 14.3 | 25.9 | 28.6 | 13.4 | 1.8 | 16.0 |
| | 家族(一親等以内)が支援を受けている | 320 | 4.1 | 9.1 | 18.8 | 34.7 | 27.2 | 4.4 | 1.9 | 13.2 |
| | どちらでもない | 1518 | 2.4 | 8.1 | 17.7 | 34.7 | 31.4 | 4.9 | 0.9 | 10.5 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

※「介護や支援の状況別」：1. (4-1)「普段の生活で介護や支援が必要な方」のうち

①支援を受けている：「あなた(ご本人)」を選択した方

②家族(一親等以内)が支援を受けている：「配偶者」「子ども」「父親」「母親」のいずれかを選択した方(ただし、「あなた(ご本人)」を選択した方は除く)

③どちらでもない：①②以外

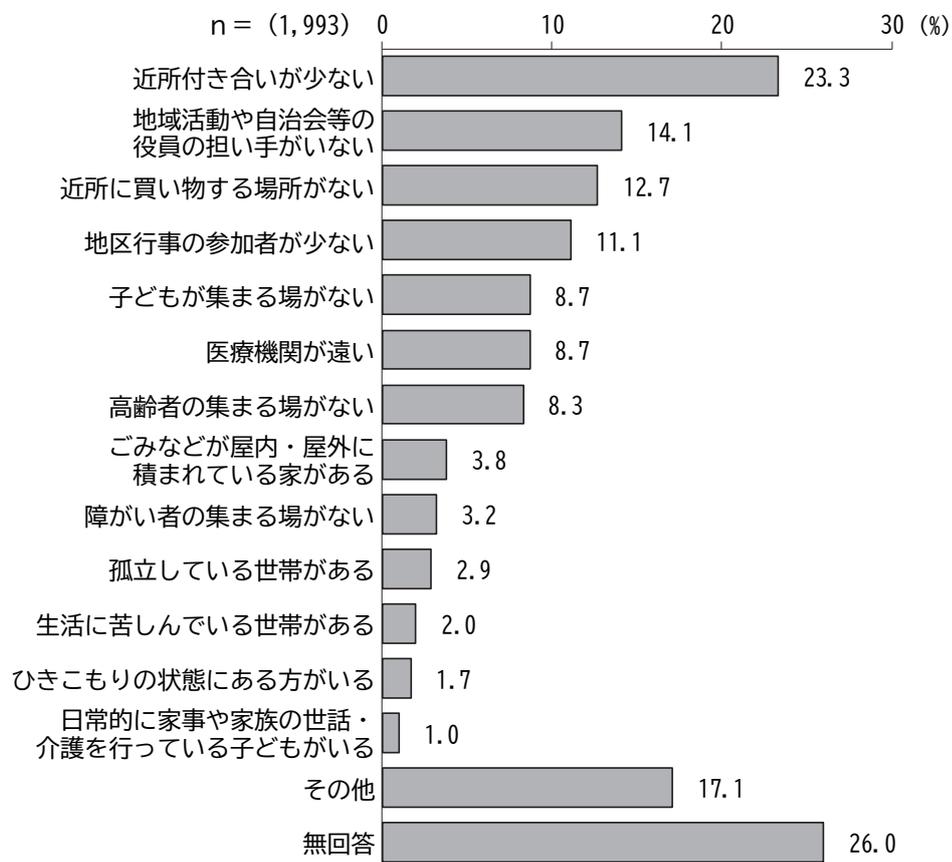
(4) 居住地域で気になっていること

問21 お住まいの地域で気になっていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

居住地域で気になっていることは、「近所付き合いが少ない」が23.3%で最も高く、次いで「地域活動や自治会等の役員の担い手がいない」が14.1%、「近所に買い物する場所がない」が12.7%と続く。

年代別でみると、「子どもが集まる場がない」は10代で2割近く、20代・30代・40代で1割半ばと、ほかの年齢層に比べて高くなっている。「近所付き合いが少ない」は80歳以上で3割台半ばと高くなっている。

地区別でみると、「近所付き合いが少ない」は善行で3割を超え高くなっている。「近所に買い物する場所がない」は御所見で5割を占め、長後で3割台半ばと高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | 医療 機関が 遠い | 集まる 場の ない | 高 齢者 の 場 が ない |
|-------------|--------|------------|---------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------|-----------------|------------------------------|
| | | | 少 ない | 近 所 に 付 き 合 い が | な い の 地 域 活 動 や 自 治 会 等 | 場 所 が 買 い 物 す る | 参 加 者 が 少 ない | 地 区 行 事 の | | | |
| 全 体 | | 1993 | 23.3 | 14.1 | 12.7 | 11.1 | 8.7 | 8.7 | 8.3 | | |
| 年 代 別 | 10 代 | 73 | 12.3 | 5.5 | 8.2 | 6.8 | 19.2 | 4.1 | 1.4 | | |
| | 20 代 | 119 | 11.8 | 7.6 | 8.4 | 5.9 | 12.6 | 10.9 | - | | |
| | 30 代 | 199 | 18.1 | 6.5 | 12.1 | 6.5 | 16.1 | 9.0 | 1.0 | | |
| | 40 代 | 303 | 18.8 | 14.5 | 16.5 | 10.6 | 15.5 | 10.9 | 2.6 | | |
| | 50 代 | 374 | 24.1 | 16.0 | 10.7 | 10.2 | 7.0 | 7.2 | 6.7 | | |
| | 60 代 | 325 | 24.0 | 19.4 | 9.8 | 11.7 | 4.9 | 8.3 | 8.3 | | |
| | 70 代 | 366 | 27.9 | 18.6 | 16.4 | 16.9 | 4.1 | 9.3 | 13.7 | | |
| | 80 歳以上 | 226 | 33.6 | 9.3 | 13.7 | 11.9 | 3.5 | 8.0 | 23.0 | | |

| | | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | 無 回 答 | |
|-------------|--------|------------|---|---------------------------------|-----------------------|----------------------------|-----------------------|---|-------------|----------------------------|
| | | | が 外 に 積 ま れ が て 屋 内 ・ 家 屋 | 集 ま る 場 が な い | 世 帯 が あ る | 孤 立 し て あ る | 世 帯 に あ る | 生 活 が 苦 し ん で あ る | | あ る 方 が い る |
| 全 体 | | 3.8 | 3.2 | 2.9 | 2.0 | 1.7 | 1.0 | 17.1 | 26.0 | |
| 年 代 別 | 10 代 | 1.4 | 2.7 | 2.7 | 4.1 | 4.1 | 1.4 | 20.5 | 35.6 | |
| | 20 代 | 4.2 | 1.7 | - | 2.5 | 1.7 | 1.7 | 16.0 | 31.9 | |
| | 30 代 | 3.0 | 3.0 | 2.5 | 2.0 | 2.5 | - | 21.1 | 29.6 | |
| | 40 代 | 5.3 | 4.3 | 4.0 | 3.6 | 1.7 | 0.3 | 20.8 | 22.8 | |
| | 50 代 | 3.7 | 3.2 | 2.7 | 1.6 | 1.9 | 1.6 | 19.5 | 27.8 | |
| | 60 代 | 4.3 | 3.1 | 2.8 | 1.8 | 1.8 | - | 17.8 | 24.9 | |
| | 70 代 | 2.5 | 3.8 | 3.8 | 1.1 | 1.4 | 0.5 | 12.8 | 22.1 | |
| | 80 歳以上 | 4.0 | 1.8 | 2.2 | 1.3 | - | 3.1 | 9.7 | 25.2 | |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

第2章 調査結果の詳細

○地区別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | |
|-----|--------|------------|---------------|--------------|--------------|-------------|---------|-------------|------|
| | | 近所付き合いが少ない | 地域の活動や自治会等がない | 近所に買物する場所がない | 地区行事の参加者が少ない | 子どもが集まる場がない | 医療機関が遠い | 高齢者が集まる場がない | |
| 全体 | 1993 | 23.3 | 14.1 | 12.7 | 11.1 | 8.7 | 8.7 | 8.3 | |
| 地区別 | 片瀬 | 114 | 20.2 | 12.3 | 21.1 | 9.6 | 9.6 | 12.3 | 3.5 |
| | 鵜沼 | 246 | 23.6 | 8.9 | 6.9 | 8.9 | 8.9 | 6.1 | 7.7 |
| | 辻堂 | 204 | 19.6 | 11.3 | 5.4 | 9.3 | 6.4 | 5.4 | 7.4 |
| | 村岡 | 161 | 28.6 | 8.7 | 11.8 | 13.7 | 11.2 | 8.1 | 8.7 |
| | 藤沢 | 222 | 20.7 | 14.9 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 5.0 | 7.2 |
| | 明治 | 124 | 25.0 | 11.3 | 1.6 | 8.9 | 11.3 | 1.6 | 8.1 |
| | 善行 | 134 | 31.3 | 17.2 | 16.4 | 10.4 | 11.2 | 10.4 | 13.4 |
| | 湘南大庭 | 135 | 28.9 | 23.0 | 3.7 | 19.3 | 5.9 | 5.9 | 13.3 |
| | 六会 | 146 | 17.1 | 16.4 | 11.6 | 12.3 | 5.5 | 17.1 | 6.2 |
| | 湘南台 | 159 | 23.3 | 12.6 | 5.0 | 8.8 | 6.3 | 3.1 | 6.3 |
| | 遠藤 | 83 | 22.9 | 16.9 | 9.6 | 14.5 | 7.2 | 10.8 | 4.8 |
| | 長後 | 137 | 24.1 | 19.0 | 34.3 | 14.6 | 12.4 | 13.1 | 10.9 |
| 御所見 | 100 | 18.0 | 18.0 | 50.0 | 11.0 | 10.0 | 26.0 | 11.0 | |

| | 外に積みながるごみなどがある | 障がい者が集まる場がない | 世帯立が孤立している | 生活が苦しい世帯がある | あひる方がある | ひきこもりの状態に | 日常の子・介護を家族 | その他 | 無回答 |
|-----|----------------|--------------|------------|-------------|---------|-----------|------------|------|------|
| | | | | | | | | | |
| 全体 | 3.8 | 3.2 | 2.9 | 2.0 | 1.7 | 1.0 | 17.1 | 26.0 | |
| 地区別 | 片瀬 | 11.4 | 2.6 | 4.4 | 1.8 | 0.9 | 0.9 | 16.7 | 23.7 |
| | 鵜沼 | 2.8 | 1.6 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.6 | 18.7 | 28.9 |
| | 辻堂 | 3.4 | 3.9 | 2.0 | 2.5 | 1.0 | 2.0 | 22.5 | 25.5 |
| | 村岡 | 5.0 | 3.7 | 1.9 | 0.6 | - | 0.6 | 17.4 | 24.2 |
| | 藤沢 | 2.7 | 2.7 | 2.7 | 2.7 | 1.4 | 0.5 | 18.5 | 31.5 |
| | 明治 | 3.2 | 2.4 | 4.0 | 0.8 | - | 0.8 | 19.4 | 32.3 |
| | 善行 | 5.2 | 4.5 | 3.7 | 3.7 | 1.5 | 1.5 | 11.2 | 20.9 |
| | 湘南大庭 | 3.7 | 3.7 | 4.4 | 3.0 | 3.7 | 0.7 | 14.1 | 26.7 |
| | 六会 | 2.1 | 4.1 | 4.1 | 1.4 | 2.7 | - | 15.1 | 28.1 |
| | 湘南台 | 1.3 | 1.9 | 0.6 | 1.3 | 1.3 | - | 17.0 | 31.4 |
| | 遠藤 | 1.2 | 3.6 | 2.4 | 1.2 | 3.6 | - | 10.8 | 30.1 |
| | 長後 | 2.9 | 5.1 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 1.5 | 19.7 | 14.6 |
| 御所見 | 8.0 | 3.0 | 5.0 | 2.0 | 2.0 | 1.0 | 14.0 | 10.0 | |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

5. 新型コロナウイルスにおける生活の変化について

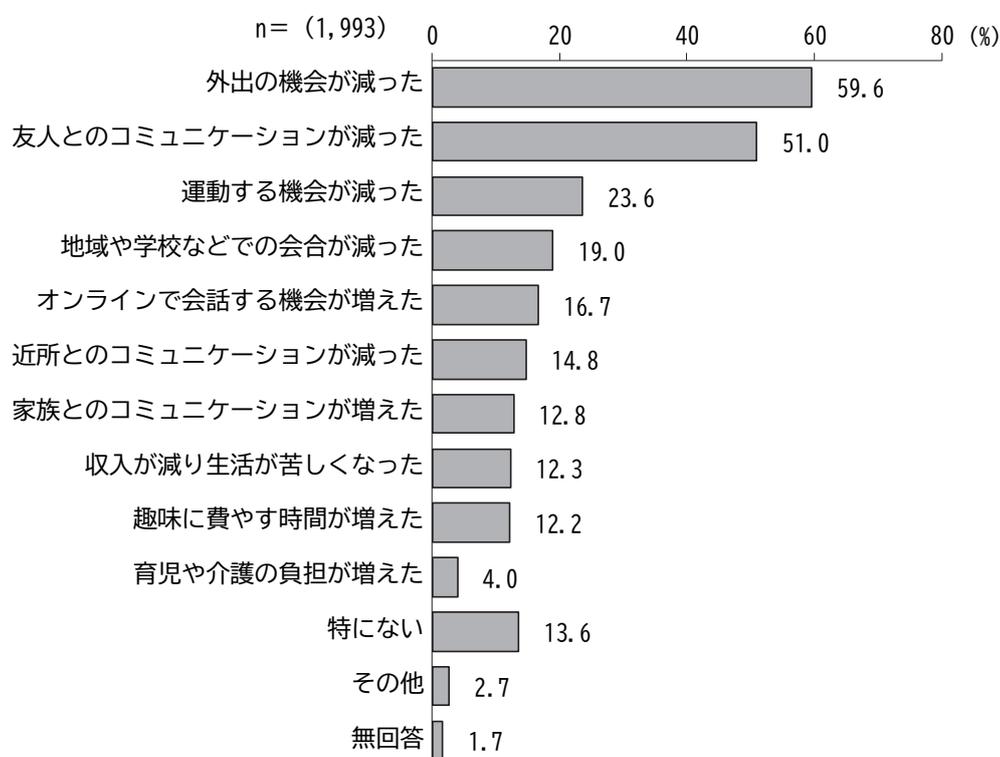
(1) 新型コロナウイルスにおける生活の変化

問22 新型コロナウイルスにより生活にどのような変化がありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルスによる生活の変化については、「外出の機会が減った」が59.6%で最も高く、次いで「友人とのコミュニケーションが減った」が51.0%、「運動する機会が減った」が23.6%となっている。「特にない」の割合は13.6%にとどまっている。

年代別でみると、「外出の機会が減った」では50代から80歳以上の年齢層でそれぞれ6割台となっている。「地域や学校などでの会合が減った」では10代が4割台半ば、40代でも4割近くとほかの年齢層と比べて高くなっている。

地区別でみると、全地区で「外出の機会が減った」の割合が高くなっている。



第2章 調査結果の詳細

○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--------|-----------|-------------------|------------|-----------------|------------------|-------------------|-------------------|----------------|--------------|--------------|------|------|-----|-----|
| | | 外出の機会が減った | 友人とのコミュニケーションが減った | 運動する機会が減った | 地域や学校などでの機会が減った | オンラインで会話する機会が増えた | 近所とのコミュニケーションが減った | 家族とのコミュニケーションが増えた | 収入が減り生活が苦しくなった | 趣味に費やす時間が増えた | 育児や介護の負担が増えた | 特にな | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 59.6 | 51.0 | 23.6 | 19.0 | 16.7 | 14.8 | 12.8 | 12.3 | 12.2 | 4.0 | 13.6 | 2.7 | 1.7 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 35.6 | 30.1 | 32.9 | 43.8 | 24.7 | 16.4 | 16.4 | 2.7 | 27.4 | 2.7 | 16.4 | 2.7 | 4.1 |
| | 20代 | 119 | 53.8 | 42.9 | 28.6 | 14.3 | 32.8 | 6.7 | 16.0 | 14.3 | 19.3 | 2.5 | 12.6 | 1.7 | 0.8 |
| | 30代 | 199 | 53.8 | 62.3 | 24.6 | 21.6 | 20.1 | 9.0 | 22.1 | 18.1 | 18.6 | 13.1 | 8.5 | 2.5 | 1.0 |
| | 40代 | 303 | 55.1 | 57.8 | 26.7 | 38.0 | 26.4 | 15.8 | 19.8 | 16.5 | 12.9 | 7.6 | 8.3 | 3.6 | - |
| | 50代 | 374 | 60.2 | 54.0 | 20.3 | 20.6 | 19.3 | 15.0 | 15.5 | 16.0 | 9.9 | 4.3 | 11.8 | 3.2 | 1.1 |
| | 60代 | 325 | 60.9 | 48.0 | 20.9 | 13.5 | 12.6 | 14.2 | 8.0 | 12.0 | 8.0 | 0.9 | 14.2 | 2.2 | 2.2 |
| | 70代 | 366 | 67.5 | 53.8 | 23.2 | 10.4 | 10.1 | 15.3 | 6.3 | 8.2 | 12.0 | 1.4 | 14.8 | 3.3 | 1.9 |
| | 80歳以上 | 226 | 66.4 | 38.5 | 23.5 | 5.8 | 2.7 | 21.7 | 4.9 | 4.4 | 7.5 | 0.4 | 25.7 | 1.3 | 2.7 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

○地区別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--------|-----------|-------------------|------------|-----------------|------------------|-------------------|-------------------|----------------|--------------|--------------|------|------|-----|-----|
| | | 外出の機会が減った | 友人とのコミュニケーションが減った | 運動する機会が減った | 地域や学校などでの機会が減った | オンラインで会話する機会が増えた | 近所とのコミュニケーションが減った | 家族とのコミュニケーションが増えた | 収入が減り生活が苦しくなった | 趣味に費やす時間が増えた | 育児や介護の負担が増えた | 特にな | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 59.6 | 51.0 | 23.6 | 19.0 | 16.7 | 14.8 | 12.8 | 12.3 | 12.2 | 4.0 | 13.6 | 2.7 | 1.7 | |
| 地区別 | 片瀬 | 114 | 57.9 | 47.4 | 22.8 | 20.2 | 21.9 | 13.2 | 10.5 | 8.8 | 10.5 | 1.8 | 15.8 | 1.8 | 0.9 |
| | 鶴沼 | 246 | 60.6 | 47.2 | 22.0 | 16.7 | 23.6 | 13.4 | 17.5 | 13.0 | 12.2 | 4.5 | 12.2 | 0.8 | 0.8 |
| | 辻堂 | 204 | 55.4 | 52.5 | 22.1 | 15.7 | 18.1 | 13.2 | 14.7 | 12.7 | 16.2 | 3.4 | 11.8 | 2.5 | 1.5 |
| | 村岡 | 161 | 55.9 | 48.4 | 22.4 | 20.5 | 11.8 | 11.8 | 13.7 | 13.7 | 10.6 | 3.7 | 14.9 | 1.2 | 1.9 |
| | 藤沢 | 222 | 59.5 | 53.2 | 25.7 | 16.2 | 20.3 | 16.2 | 14.9 | 12.6 | 14.4 | 3.6 | 12.2 | 4.1 | 1.8 |
| | 明治 | 124 | 54.0 | 53.2 | 25.8 | 25.0 | 16.9 | 21.0 | 12.1 | 8.1 | 13.7 | 4.8 | 11.3 | 3.2 | 0.8 |
| | 善行 | 134 | 62.7 | 47.8 | 23.1 | 14.9 | 10.4 | 14.2 | 10.4 | 13.4 | 9.0 | 3.7 | 17.9 | 2.2 | 0.7 |
| | 湘南大庭 | 135 | 63.7 | 53.3 | 23.0 | 23.7 | 11.9 | 22.2 | 11.9 | 10.4 | 11.9 | 3.0 | 13.3 | 4.4 | 3.7 |
| | 六会 | 146 | 63.7 | 54.1 | 25.3 | 22.6 | 14.4 | 13.7 | 12.3 | 13.7 | 13.0 | 4.8 | 8.9 | 1.4 | 2.7 |
| | 湘南台 | 159 | 59.1 | 52.8 | 25.8 | 17.6 | 20.8 | 10.7 | 10.7 | 10.1 | 8.8 | 5.0 | 14.5 | 5.7 | 0.6 |
| | 遠藤 | 83 | 57.8 | 47.0 | 27.7 | 20.5 | 15.7 | 10.8 | 12.0 | 10.8 | 14.5 | 4.8 | 15.7 | 2.4 | 3.6 |
| | 長後 | 137 | 66.4 | 55.5 | 26.3 | 19.7 | 12.4 | 15.3 | 12.4 | 13.9 | 10.9 | 4.4 | 14.6 | 3.6 | 0.7 |
| | 御所見 | 100 | 61.0 | 53.0 | 14.0 | 23.0 | 13.0 | 18.0 | 7.0 | 15.0 | 12.0 | 4.0 | 21.0 | 2.0 | - |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

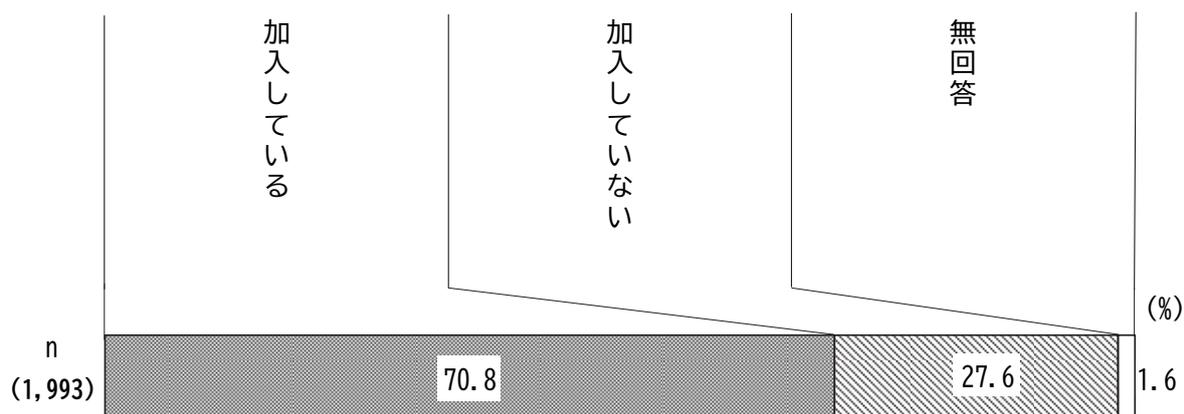
6. 地域活動、ボランティア活動について

(1) 自治会町内会への加入状況

問23 あなたは現在、自治会町内会に加入していますか。(1つに○)

自治会町内会への加入状況は、「加入している」が70.8%、「加入していない」が27.6%となっている。

年代別でみると、「加入している」は70代で8割台半ばと高くなっている。一方、「加入していない」は20代で6割を超え、30代で5割近くと高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | |
|-----|---------|---------|---------|------|-----|
| | | 加入している | 加入していない | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 70.8 | 27.6 | 1.6 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 57.5 | 38.4 | 4.1 |
| | 20代 | 119 | 37.8 | 62.2 | - |
| | 30代 | 199 | 49.7 | 49.7 | 0.5 |
| | 40代 | 303 | 68.0 | 32.0 | - |
| | 50代 | 374 | 74.3 | 23.8 | 1.9 |
| | 60代 | 325 | 77.2 | 20.9 | 1.8 |
| | 70代 | 366 | 84.2 | 14.2 | 1.6 |
| | 80歳以上 | 226 | 78.8 | 19.5 | 1.8 |

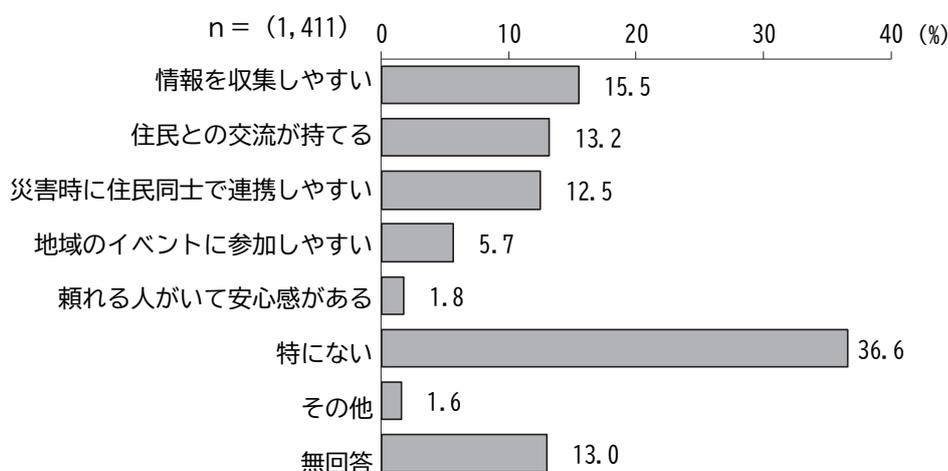
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(1-1) 自治会町内会に加入して特によかったこと

《問23-1は、問23で「1. 加入している」と回答した方のみお答えください》
 問23-1 自治会町内会に加入して特によかったことは何ですか。(1つに○)

自治会町内会に加入して特によかったことは、「特にない」が36.6%と最も高いが、よかったことなかでは、「情報を収集しやすい」が15.5%で最も高く、次いで「住民との交流が持てる」が13.2%、「災害時に住民同士で連携しやすい」が12.5%と続く。

年代別でみると、「特にない」がどの年代も高い傾向があるが、よかったことでみると、「住民との交流が持てる」は80歳以上で2割台半ば、70代・60代で1割台半ばとなっている。「情報を収集しやすい」は50代・60代で2割近くとなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | | | |
|-----|---------|-----------|------------|-----------------|----------------|---------------|------|------|------|------|
| | | 情報を収集しやすい | 住民との交流が持てる | 災害時に住民同士で連携しやすい | 地域のイベントに参加しやすい | 頼れる人がいて安心感がある | 特にない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 1411 | 15.5 | 13.2 | 12.5 | 5.7 | 1.8 | 36.6 | 1.6 | 13.0 | |
| 年代別 | 10代 | 42 | 16.7 | 2.4 | 2.4 | 14.3 | - | 50.0 | 4.8 | 9.5 |
| | 20代 | 45 | 17.8 | 2.2 | 13.3 | 8.9 | - | 55.6 | - | 2.2 |
| | 30代 | 99 | 11.1 | 9.1 | 12.1 | 10.1 | - | 53.5 | 1.0 | 3.0 |
| | 40代 | 206 | 9.2 | 11.7 | 12.6 | 9.7 | 1.9 | 42.2 | 1.5 | 11.2 |
| | 50代 | 278 | 19.1 | 8.6 | 14.0 | 5.8 | 2.2 | 37.1 | 2.2 | 11.2 |
| | 60代 | 251 | 19.1 | 14.3 | 13.9 | 3.2 | 1.6 | 32.7 | 1.2 | 13.9 |
| | 70代 | 308 | 17.5 | 15.9 | 13.3 | 2.9 | 1.3 | 31.2 | 2.3 | 15.6 |
| | 80歳以上 | 178 | 10.1 | 23.0 | 9.0 | 4.5 | 4.5 | 27.0 | 0.6 | 21.3 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

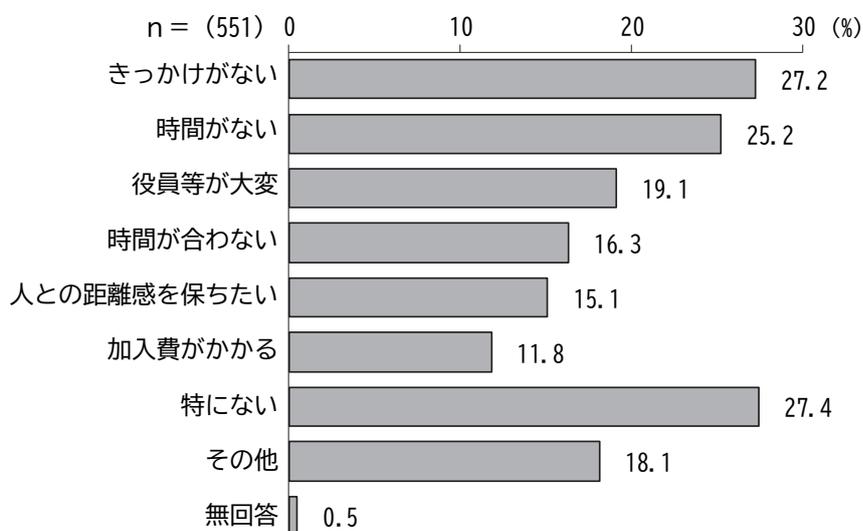
(1-2) 自治会町内会に加入していない理由

《問23-2は、問23で「2. 加入していない」と回答した方のみお答えください》

問23-2 加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

自治会町内会に加入していない理由は、「特にない」が27.4%で最も高く、次いで「きっかけがない」が27.2%、「時間がない」が25.2%と続く。また「役員等が大変」も19.1%で高くなっている。

年代別でみると、「きっかけがない」は30代で4割を超え、20代で3割台半ば、40代で2割台半ばと高くなっている。「時間がない」は40代・50代で3割を超え、10代から30代・60代で3割近くとなっている。また、「特にない」は10代で5割を占め、20代で4割台半ばと、他の年齢層と比べて高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | | | | |
|-----|---------|---------|-------|--------|---------|-------------|---------|------|------|------|-----|
| | | きっかけがない | 時間がない | 役員等が大変 | 時間が合わない | 人との距離感を保ちたい | 加入費がかかる | 特にない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 551 | 27.2 | 25.2 | 19.1 | 16.3 | 15.1 | 11.8 | 27.4 | 18.1 | 0.5 | |
| 年代別 | 10代 | 28 | 21.4 | 28.6 | 10.7 | 17.9 | 10.7 | 3.6 | 50.0 | 3.6 | - |
| | 20代 | 74 | 35.1 | 28.4 | 6.8 | 20.3 | 12.2 | 6.8 | 47.3 | 5.4 | - |
| | 30代 | 99 | 40.4 | 29.3 | 20.2 | 19.2 | 17.2 | 16.2 | 28.3 | 9.1 | - |
| | 40代 | 97 | 25.8 | 30.9 | 28.9 | 18.6 | 21.6 | 18.6 | 22.7 | 20.6 | - |
| | 50代 | 89 | 22.5 | 31.5 | 18.0 | 13.5 | 12.4 | 9.0 | 16.9 | 25.8 | 1.1 |
| | 60代 | 68 | 22.1 | 27.9 | 20.6 | 22.1 | 17.6 | 11.8 | 23.5 | 14.7 | - |
| | 70代 | 52 | 19.2 | 5.8 | 26.9 | 7.7 | 13.5 | 11.5 | 19.2 | 30.8 | - |
| | 80歳以上 | 44 | 18.2 | 2.3 | 11.4 | 4.5 | 6.8 | 6.8 | 25.0 | 38.6 | 4.5 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(2) ボランティア活動への参加意向

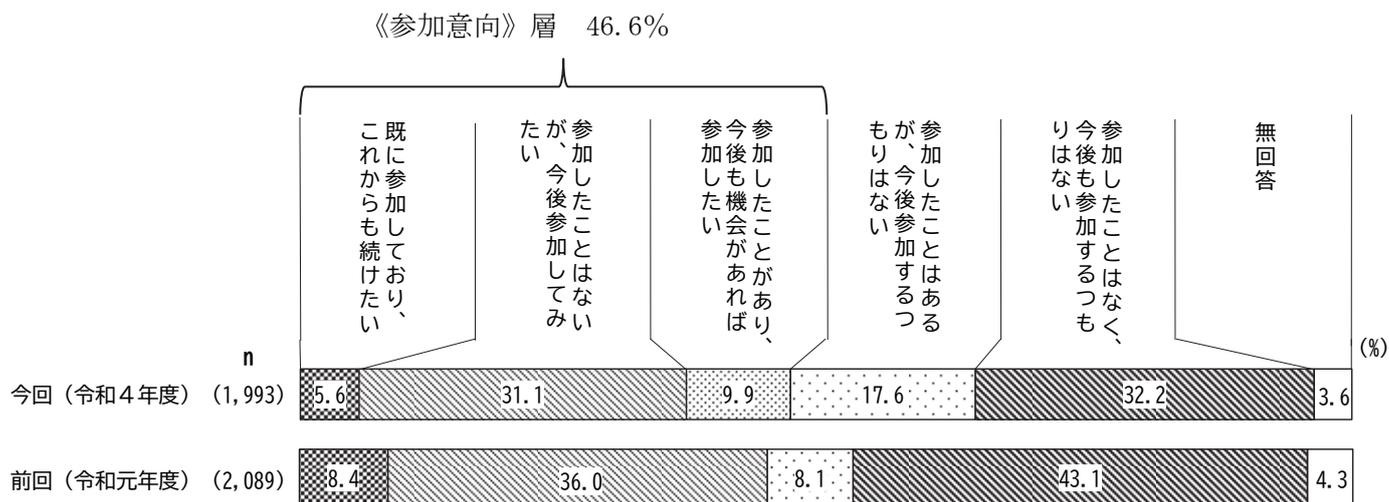
問24 あなたは地域を支えるボランティア活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

ボランティア活動への参加意向は、「既に参加しており、これからも続けたい」が5.6%、「参加したことはないが、今後参加してみたい」が31.1%、「参加したことがあり、今後も機会があれば参加したい」9.9%となっており、それぞれをあわせると《参加意向》層は46.6%となっている。

前回調査(令和元年度)と比較すると、「既に参加しており、これからも続けたい」は前回(8.4%)よりも2.8ポイント低くなっている。一方、「参加したことはあるが、今後参加するつもりはない」が前回(8.1%)よりも9.5ポイント高くなっている。

年代別でみると、《参加意向》層は40代から60代で4割台半ばと高くなっており、「参加したことはないが、今後参加してみたい」は30代・40代で4割を超えている。「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」は80歳以上で5割近く、70代で4割を超え高くなっている。

近所づきあいの程度別でみると、《参加意向》層は近所づきあいの程度が強くなるほど高くなる傾向があり、「困り事や悩み事を相談する程度」は5割近くとなっている。



前回(令和元年度)では、「参加したことがあり、今後も機会があれば参加したい」の選択肢はなし。

○年代別・クロス集計

| | | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | 無回答 | 《参加意向》 層 |
|-------------|--------|------------|------------------------------|---------------------------------|---|---|---|-----|-------------|
| | | | これに 参加し ても 続け ない | 既に 参加 した こと は ない | たが い、 今 後 参 加 し て み ない | 参 加 し た こ と が あ る | 参 加 し た こ と が あ る | | |
| 全 体 | | 1993 | 5.6 | 31.1 | 9.9 | 17.6 | 32.2 | 3.6 | 36.7 |
| 年 代 別 | 10 代 | 73 | 5.5 | 27.4 | 16.4 | 23.3 | 20.5 | 6.8 | 32.9 |
| | 20 代 | 119 | 1.7 | 37.8 | 6.7 | 31.1 | 21.8 | 0.8 | 39.5 |
| | 30 代 | 199 | 1.5 | 40.2 | 7.5 | 24.1 | 26.1 | 0.5 | 41.7 |
| | 40 代 | 303 | 5.0 | 40.9 | 10.9 | 20.5 | 21.8 | 1.0 | 45.9 |
| | 50 代 | 374 | 4.5 | 38.5 | 9.9 | 13.1 | 31.0 | 2.9 | 43.0 |
| | 60 代 | 325 | 7.4 | 36.9 | 8.9 | 13.2 | 32.6 | 0.9 | 44.3 |
| | 70 代 | 366 | 9.6 | 18.0 | 13.4 | 12.8 | 40.2 | 6.0 | 27.6 |
| | 80 歳以上 | 226 | 5.3 | 8.4 | 6.6 | 20.8 | 49.6 | 9.3 | 13.7 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

○近所付き合いの程度別・クロス集計

| | | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | 無回答 | 《参加意向》 層 |
|--|-------------------------------|------------|------------------------------|---------------------------------|---|---|---|-----|-------------|
| | | | これに 参加し ても 続け ない | 既に 参加 した こと は ない | たが い、 今 後 参 加 し て み ない | 参 加 し た こ と が あ る | 参 加 し た こ と が あ る | | |
| 全 体 | | 1993 | 5.6 | 31.1 | 9.9 | 17.6 | 32.2 | 3.6 | 36.7 |
| 近 所 付 き 合 い の 程 度 別 | 困り事や悩み事を相談する程度 | 64 | 14.1 | 34.4 | 7.8 | 10.9 | 26.6 | 6.3 | 48.5 |
| | 困り事や悩み事の相談はしない が、親しく会話する程度 | 293 | 14.0 | 24.6 | 14.7 | 17.4 | 24.2 | 5.1 | 38.6 |
| | たまに立ち話をする程度 | 422 | 6.4 | 33.9 | 11.6 | 15.6 | 28.9 | 3.6 | 40.3 |
| | 会えばあいさつをかわす程度 | 878 | 3.3 | 33.4 | 9.5 | 18.2 | 33.6 | 2.1 | 36.7 |
| | つきあいがほとんどない | 239 | 0.4 | 27.2 | 4.6 | 25.1 | 39.3 | 3.3 | 27.6 |
| | その他 | 14 | 14.3 | - | - | 14.3 | 64.3 | 7.1 | 14.3 |

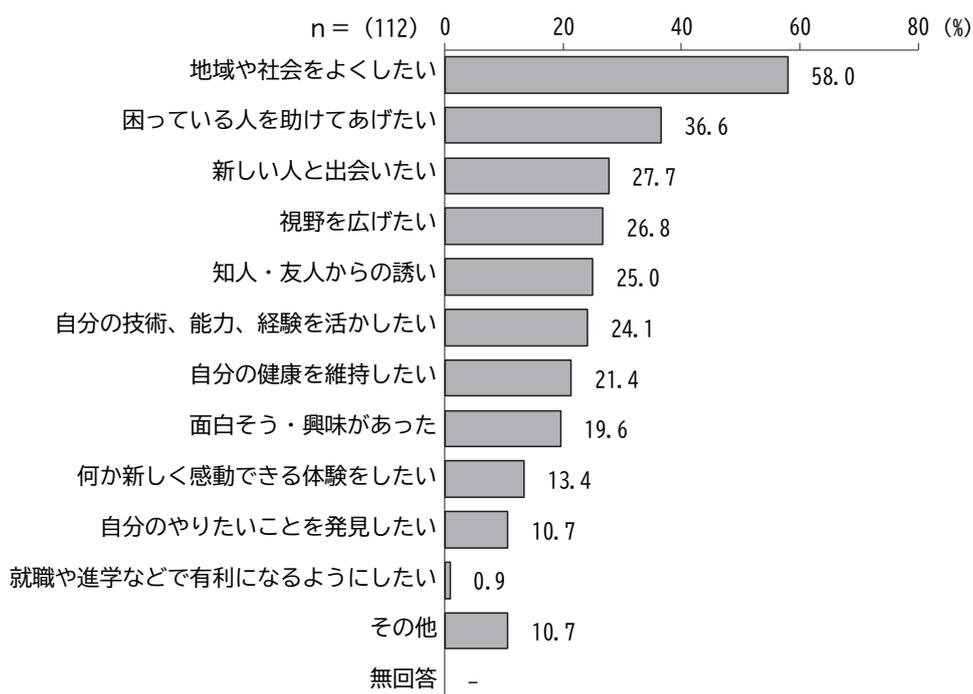
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(2-1) ボランティア活動に参加する際の動機

《問24-1は、問24で「1. 既に参加しており、これからも続けたい」と回答した方のみお答えください》

問24-1 ボランティア活動に参加する際の動機はどのようなことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

ボランティア活動に参加する際の動機は、「地域や社会をよくしたい」が58.0%で最も高く、次いで「困っている人を助けてあげたい」が36.6%、「新しい人と出会いたい」が27.7%と続く。



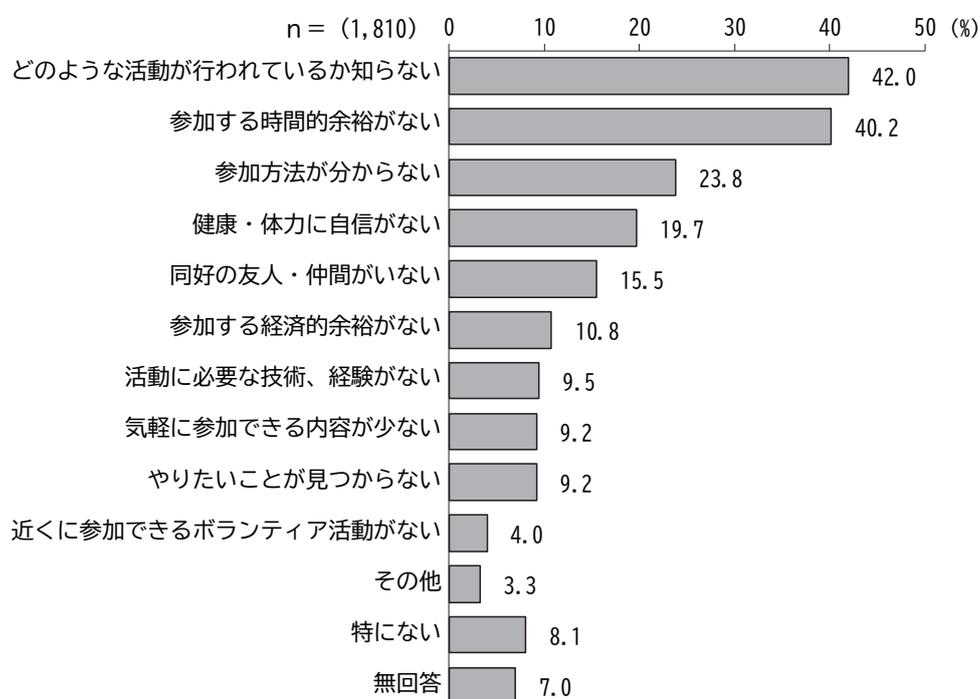
(2-2) ボランティア活動に参加する上で支障となることや問題点

《問24-2は、問24で「2.」～「5.」と回答した方のみお答えください》

問24-2 ボランティア活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

ボランティア活動に参加する上で支障となることや問題点は、「どのような活動が行われているか知らない」が42.0%で最も高く、次いで「参加する時間的余裕がない」が40.2%、「参加方法が分からない」が23.8%と続く。

年代別でみると、「参加する時間的余裕がない」は40代で6割を占め、「どのような活動が行われているか知らない」は10代で5割を超え高くなっている。また、「健康・体力に自信がない」は80歳以上で4割台半ば、70代で3割台半ばと、ほかの年齢層と比べてそれぞれ高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | 参加する 余裕がない |
|-------------|--------|------------|--------------------|------------------|-----------------------|-----------------|-----------------------------|---------------|
| | | | 知らない ような 活動が | どのよ うな活 動が | 参加す る余 裕が ない | 参加 方法 がない | 健康 ・体 力に 自信 がない | |
| 全 体 | | 1810 | 42.0 | 40.2 | 23.8 | 19.7 | 15.5 | 10.8 |
| 年 代 別 | 10 代 | 64 | 51.6 | 32.8 | 34.4 | 3.1 | 28.1 | 3.1 |
| | 20 代 | 116 | 39.7 | 50.0 | 25.0 | 6.9 | 25.0 | 8.6 |
| | 30 代 | 195 | 54.4 | 56.4 | 35.4 | 7.2 | 20.0 | 12.8 |
| | 40 代 | 285 | 50.5 | 60.0 | 30.5 | 9.1 | 21.4 | 17.2 |
| | 50 代 | 346 | 49.1 | 54.9 | 28.3 | 12.4 | 11.3 | 15.6 |
| | 60 代 | 298 | 48.3 | 38.6 | 22.8 | 18.8 | 16.1 | 9.4 |
| | 70 代 | 309 | 28.2 | 15.9 | 13.3 | 37.2 | 11.3 | 5.2 |
| | 80 歳以上 | 193 | 15.0 | 5.7 | 8.3 | 45.6 | 6.2 | 4.1 |

| | | 構成比 (%) | | | | | | |
|-------------|--------|--|---|--------------------------------------|--|-------------|------------------|-------------|
| | | 活動に 必要 な技 術、 経験 が ない | 内容 が 少 な い で 可 能 | 見 つ か ら い こ と が | 近 く に 参 加 で 可 能 な 活 動 が | そ の 他 | 特 に な い | 無 回 答 |
| 全 体 | | 9.5 | 9.2 | 9.2 | 4.0 | 3.3 | 8.1 | 7.0 |
| 年 代 別 | 10 代 | 4.7 | 6.3 | 15.6 | 3.1 | 1.6 | 21.9 | 1.6 |
| | 20 代 | 6.9 | 8.6 | 16.4 | 4.3 | 3.4 | 14.7 | 1.7 |
| | 30 代 | 8.7 | 10.8 | 10.8 | 3.6 | 2.6 | 7.7 | 1.0 |
| | 40 代 | 10.2 | 10.5 | 8.4 | 4.9 | 1.8 | 6.3 | 1.8 |
| | 50 代 | 9.2 | 9.8 | 8.4 | 2.3 | 2.3 | 4.3 | 4.6 |
| | 60 代 | 12.8 | 10.7 | 10.7 | 4.4 | 2.0 | 7.4 | 5.4 |
| | 70 代 | 10.7 | 8.4 | 7.8 | 5.8 | 4.9 | 9.1 | 13.9 |
| | 80 歳以上 | 5.7 | 4.1 | 4.1 | 2.1 | 8.3 | 9.3 | 21.8 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

7. 防災について

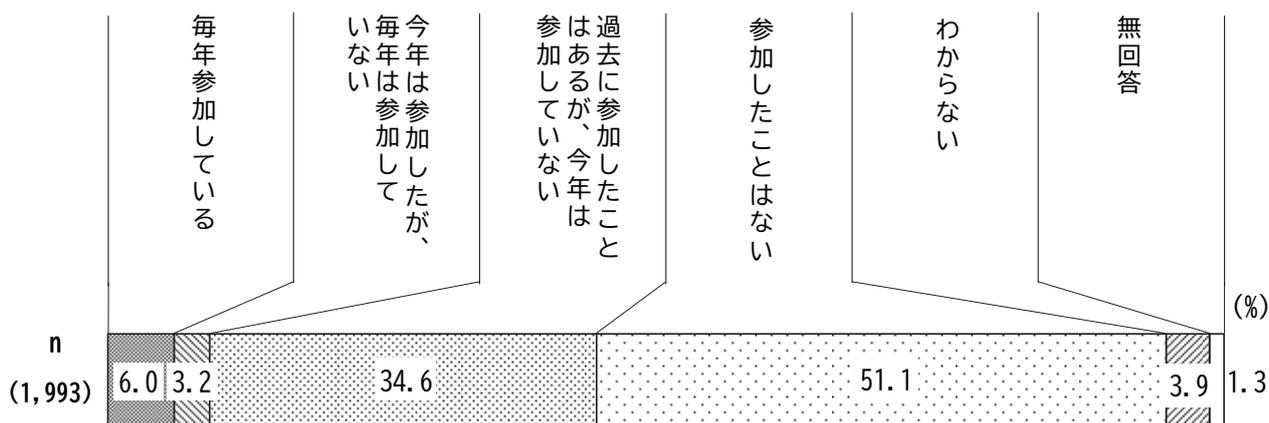
(1) 居住地域の防災訓練への参加経験

問25 あなたはお住まいの地域の防災訓練※に参加したことはありますか。(1つに○)

居住地域の防災訓練への参加経験は、「参加したことはない」が51.1%で最も高く、次いで「過去に参加したことはあるが、今年は参加していない」が34.6%、「毎年参加している」が6.0%と続く。

地区別で見ると、「毎年参加している」は御所見で1割台半ば、湘南大庭で1割を超えている。「過去に参加したことはあるが、今年は参加していない」は片瀬・明治で4割台半ばと高くなっている。「参加したことはない」はどの地区も高い割合を占めているが、特に湘南台で6割を超え高くなっている。

近所づきあいの程度別で見ると、「毎年参加している」は“困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度”で1割台半ば、“困り事や悩み事を相談する程度”で1割を超えており、全体と比較すると高い割合となっている。「参加したことはない」は“つきあいがほとんどない”で7割台半ば、“会えばあいさつをかわす程度”で6割近くと高くなっている。



第2章 調査結果の詳細

○地区別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | |
|-----|------------|----------|----------------|---------------------------|-----------|-------|-----|-----|
| | | 毎年参加している | い毎年今年は参加していたが、 | 加は過は過去に参加したことが、今年は参加していない | 参加したことはない | わからない | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 6.0 | 3.2 | 34.6 | 51.1 | 3.9 | 1.3 | |
| 地区別 | 片瀬 | 114 | 5.3 | 3.5 | 46.5 | 43.9 | 0.9 | - |
| | 鵜沼 | 246 | 9.3 | 3.3 | 27.6 | 56.1 | 3.3 | 0.4 |
| | 辻堂 | 204 | 4.9 | 2.9 | 35.3 | 53.9 | 2.5 | 0.5 |
| | 村岡 | 161 | 5.6 | 5.0 | 36.6 | 47.8 | 3.7 | 1.2 |
| | 藤沢 | 222 | 5.0 | 3.6 | 32.9 | 54.1 | 3.6 | 0.9 |
| | 明治 | 124 | 4.8 | 1.6 | 43.5 | 44.4 | 5.6 | - |
| | 善行 | 134 | 1.5 | 2.2 | 35.1 | 51.5 | 7.5 | 2.2 |
| | 湘南大庭 | 135 | 10.4 | 4.4 | 37.8 | 43.0 | 3.0 | 1.5 |
| | 六会 | 146 | 2.7 | 1.4 | 36.3 | 54.8 | 2.7 | 2.1 |
| | 湘南台 | 159 | 5.0 | 1.9 | 27.0 | 61.6 | 2.5 | 1.9 |
| | 遠藤 | 83 | 2.4 | 1.2 | 36.1 | 53.0 | 6.0 | 1.2 |
| | 長後 | 137 | 5.1 | 6.6 | 32.8 | 50.4 | 4.4 | 0.7 |
| | 御所見 | 100 | 16.0 | 2.0 | 32.0 | 41.0 | 7.0 | 2.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

○近所付き合いの程度別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | |
|------------|---------------------------|----------|----------------|---------------------------|-----------|-------|------|-----|
| | | 毎年参加している | い毎年今年は参加していたが、 | 加は過は過去に参加したことが、今年は参加していない | 参加したことはない | わからない | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 6.0 | 3.2 | 34.6 | 51.1 | 3.9 | 1.3 | |
| 近所付き合いの程度別 | 困り事や悩み事を相談する程度 | 64 | 10.9 | 9.4 | 48.4 | 26.6 | 4.7 | - |
| | 困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度 | 293 | 14.0 | 5.5 | 45.4 | 31.7 | 2.4 | 1.0 |
| | たまに立ち話をする程度 | 422 | 7.1 | 3.8 | 47.2 | 40.3 | 1.4 | 0.2 |
| | 会えばあいさつをかわす程度 | 878 | 3.9 | 2.7 | 30.1 | 57.9 | 4.7 | 0.8 |
| | つきあいがほとんどない | 239 | 1.3 | 0.4 | 15.1 | 75.3 | 6.7 | 1.3 |
| | その他 | 14 | 7.1 | - | 14.3 | 64.3 | 14.3 | - |

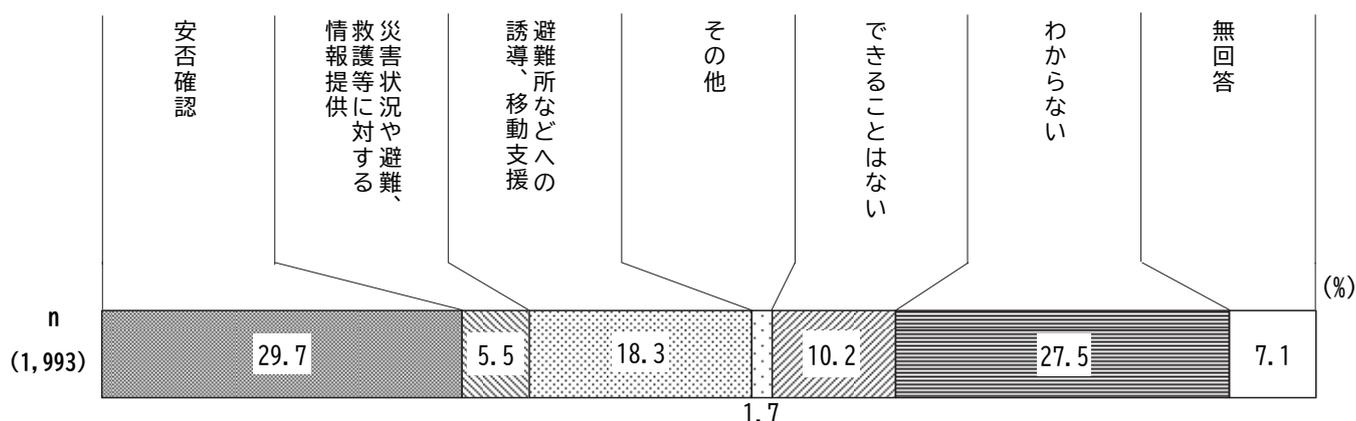
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(2) 発災時に避難行動支援者に特にできること

問26 発災時に、あなたは避難行動要支援者に対して、特に何ができるとお考えですか。
(1つに○)

発災時に避難行動要支援者に特にできることは、「安否確認」が29.7%で最も高く、次いで「避難所などへの誘導、移動支援」が18.3%、「できることはない」が10.2%と続く。

年代別で見ると、「安否確認」は60代・70代でともに3割台半ば、「避難所などへの誘導、移動支援」は20代で3割台半ばと、それぞれほかの年齢層と比べて高くなっている。また、80歳以上では「できることはない」が3割台半ばと特に高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | | |
|-----|---------|---------|---------------------|----------------|------|----------|-------|------|------|
| | | 安否確認 | 災害状況や避難、救助等に対する情報提供 | 避難所などへの誘導、移動支援 | その他 | できることはない | わからない | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 29.7 | 5.5 | 18.3 | 1.7 | 10.2 | 27.5 | 7.1 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 24.7 | 6.8 | 26.0 | 1.4 | 2.7 | 34.2 | 4.1 |
| | 20代 | 119 | 19.3 | 5.9 | 34.5 | 0.8 | 9.2 | 23.5 | 6.7 |
| | 30代 | 199 | 22.1 | 11.6 | 26.1 | 1.5 | 6.5 | 26.6 | 5.5 |
| | 40代 | 303 | 30.7 | 6.3 | 19.5 | 1.0 | 7.6 | 28.1 | 6.9 |
| | 50代 | 374 | 29.4 | 6.1 | 22.5 | 0.8 | 5.3 | 30.2 | 5.6 |
| | 60代 | 325 | 35.7 | 5.2 | 18.2 | 0.9 | 4.6 | 29.5 | 5.8 |
| | 70代 | 366 | 36.9 | 3.0 | 10.1 | 3.0 | 11.7 | 26.8 | 8.5 |
| | 80歳以上 | 226 | 23.0 | 2.2 | 5.3 | 4.0 | 33.2 | 21.2 | 11.1 |

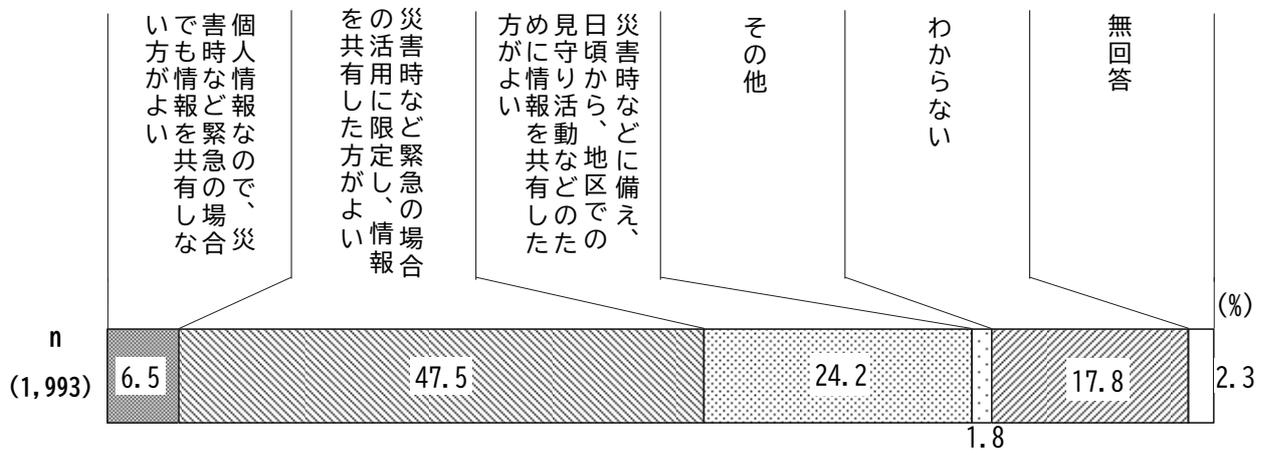
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(3) 住民情報を自治会町内会などで共有することについて

問27 災害時に備えるなどの理由で、地区にお住まいの方の情報を必要に応じて自治会町内会などで共有することについてどう感じますか。(1つに○)

住民情報を自治会町内会などで共有することについては、「災害時など緊急の場合の活用に限定し、情報を共有した方がよい」が47.5%で最も高く、次いで「災害時などに備え、日頃から、地区での見守り活動などのために情報を共有した方がよい」が24.2%、「個人情報なので、災害時など緊急の場合でも情報を共有しない方がよい」が6.5%と続く。

年代別でみると、「災害時など緊急の場合の活用に限定し、情報を共有した方がよい」は80歳以上を除くすべての年齢層で5割前後と高く、20代・30代で5割台半ばとなっている。「災害時などに備え、日頃から、地区での見守り活動などのために情報を共有した方がよい」は80歳以上で3割を超え、70代で3割近くと高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数 (件) | 構成比 (%) | | | | | | |
|-----|---------|----------------------------------|--|-------------------------------|------|-------|------|-----|
| | | 個人情報なので、災害時など緊急の場合でも情報を共有しない方がよい | 災害時などに備え、日頃から、地区での見守り活動などのために情報を共有した方がよい | 災害時など緊急の場合の活用に限定し、情報を共有した方がよい | その他 | わからない | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 6.5 | 47.5 | 24.2 | 1.8 | 17.8 | 2.3 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 4.1 | 50.7 | 16.4 | - | 27.4 | 1.4 |
| | 20代 | 119 | 6.7 | 53.8 | 17.6 | 1.7 | 19.3 | 0.8 |
| | 30代 | 199 | 8.0 | 54.8 | 19.1 | 1.5 | 15.6 | 1.0 |
| | 40代 | 303 | 9.9 | 50.5 | 22.8 | 3.3 | 12.9 | 0.7 |
| | 50代 | 374 | 6.4 | 48.7 | 23.0 | 1.9 | 18.4 | 1.6 |
| | 60代 | 325 | 6.2 | 50.8 | 24.9 | 1.8 | 15.7 | 0.6 |
| | 70代 | 366 | 5.5 | 45.4 | 28.4 | 1.6 | 16.4 | 2.7 |
| | 80歳以上 | 226 | 3.5 | 30.5 | 30.5 | 0.9 | 26.5 | 8.0 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

8. 支えあいの地域づくりについて

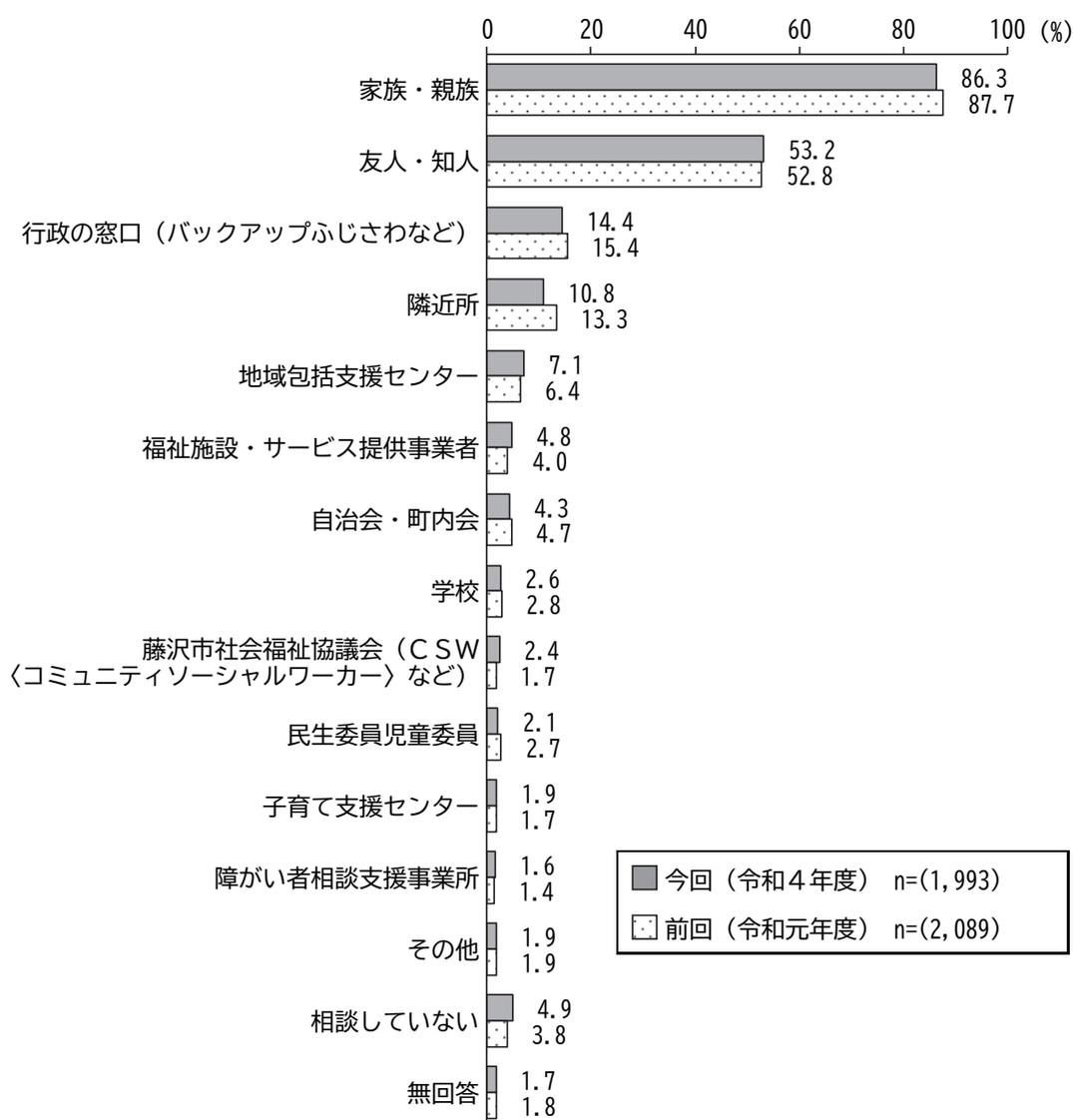
(1) 困ったときの相談先

問28 あなたは困った時、誰に（どこに）相談しますか。（あてはまる方すべてに○）

困ったときの相談先は、「家族・親族」が86.3%で最も高く、次いで「友人・知人」が53.2%、「行政の窓口（バックアップふじさわなど）」が14.4%と続く。

前回調査（令和元年度）と比較すると、「隣近所」は前回（13.3%）よりも2.5ポイント低くなっている。また、「相談していない」は前回（3.8%）よりも1.1ポイント高くなっている。

年代別でみると、「家族・親族」はすべての年代で8割以上と高くなっている。「友人・知人」は年齢が下がるほど高い傾向があり、10代で8割近くとなっている。一方、「隣近所」は年齢が上がるほど高い傾向があり、80歳以上では2割近くとなっている。



第2章 調査結果の詳細

○年代別・クロス集計

| | | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | |
|-----|-------|--------|--------|-------|--------------|------|------------|----------------|---------|
| | | | 家族・親族 | 友人・知人 | 行政の窓口(バツクなど) | 隣近所 | 地域包括支援センター | 福祉施設・サービス提供事業者 | 自治会・町内会 |
| 全体 | | 1993 | 86.3 | 53.2 | 14.4 | 10.8 | 7.1 | 4.8 | 4.3 |
| 年代別 | 10代 | 73 | 82.2 | 78.1 | 1.4 | 1.4 | - | - | - |
| | 20代 | 119 | 89.1 | 69.7 | 6.7 | - | - | 1.7 | 0.8 |
| | 30代 | 199 | 89.4 | 75.4 | 7.5 | 6.5 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |
| | 40代 | 303 | 89.1 | 59.7 | 13.5 | 9.6 | 1.3 | 2.3 | 2.0 |
| | 50代 | 374 | 85.8 | 57.5 | 14.4 | 8.3 | 8.3 | 3.2 | 1.9 |
| | 60代 | 325 | 83.7 | 48.0 | 15.4 | 9.2 | 5.8 | 5.8 | 2.2 |
| | 70代 | 366 | 84.7 | 43.4 | 23.5 | 17.5 | 14.2 | 9.8 | 8.7 |
| | 80歳以上 | 226 | 88.5 | 25.7 | 13.7 | 19.9 | 14.2 | 7.1 | 13.3 |

| | | 学校 | 構成比(%) | | | | | | |
|-----|-------|------|-----------------------------------|----------|-----------|-------------|-----|---------|-----|
| | | | S藤沢市社会福祉協議会(CWヘコムユニティソーシャルワーカーなど) | 民生委員児童委員 | 子育て支援センター | 障がい者相談支援事業所 | その他 | 相談していない | 無回答 |
| 全体 | | 2.6 | 2.4 | 2.1 | 1.9 | 1.6 | 1.9 | 4.9 | 1.7 |
| 年代別 | 10代 | 16.4 | - | 1.4 | - | - | - | 2.7 | 2.7 |
| | 20代 | 4.2 | 0.8 | - | 0.8 | 0.8 | 4.2 | 1.7 | 1.7 |
| | 30代 | 3.5 | 1.0 | - | 9.5 | 0.5 | 2.5 | 5.0 | 0.5 |
| | 40代 | 6.3 | 2.3 | 1.0 | 5.0 | 2.3 | 3.6 | 5.6 | 0.3 |
| | 50代 | 2.1 | 1.9 | 0.5 | 0.5 | 1.3 | 1.3 | 7.8 | 0.8 |
| | 60代 | - | 1.5 | 0.9 | 0.3 | 1.2 | 1.5 | 5.2 | 1.5 |
| | 70代 | - | 5.2 | 4.4 | - | 2.5 | 1.4 | 4.6 | 2.5 |
| | 80歳以上 | - | 3.1 | 7.5 | - | 0.9 | 0.4 | 1.8 | 3.5 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(2) 地域に支えられていると感じること

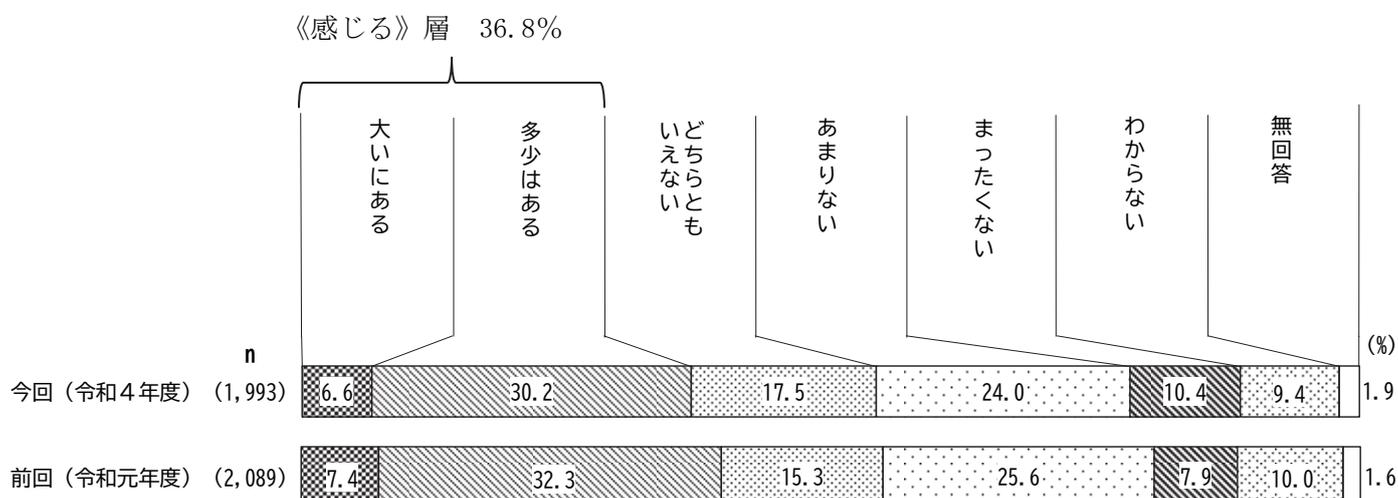
問29 あなたは普段、地域に支えられていると感じることはありますか。(1つに○)

地域に支えられていると感じることは、「大いにある」が6.6%、「多少はある」が30.2%となっており、両者をあわせると、《感じる》層は36.8%となっている。

前回調査(令和元年度)と比較すると、《感じる》層は前回(39.7%)よりも2.9ポイント低くなっている。

年代別でみると、《感じる》層は80歳以上で5割台半ば、70代で4割台半ばと高くなっている。「あまりない」は20代で4割近く、30代から60代でそれぞれ2割台半ばとなっている。

近所づきあいの程度別でみると、《感じる》層は近所づきあいの程度が強くなるほど高くなる傾向があり、“困り事や悩み事を相談する程度”では7割を超え高くなっている。



第2章 調査結果の詳細

○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | 《感じる》層 | |
|-----|--------|--------|-------|-----------|-------|--------|-------|------|--------|------|
| | | 大いにある | 多少はある | どちらともいえない | あまりない | まったくない | わからない | 無回答 | | |
| 全体 | 1993 | 6.6 | 30.2 | 17.5 | 24.0 | 10.4 | 9.4 | 1.9 | 36.8 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 8.2 | 27.4 | 15.1 | 21.9 | 8.2 | 16.4 | 2.7 | 35.6 |
| | 20代 | 119 | 2.5 | 21.0 | 16.0 | 37.8 | 13.4 | 7.6 | 1.7 | 23.5 |
| | 30代 | 199 | 3.5 | 23.1 | 20.1 | 26.6 | 16.6 | 9.5 | 0.5 | 26.6 |
| | 40代 | 303 | 5.6 | 27.7 | 21.1 | 26.4 | 11.6 | 7.6 | - | 33.3 |
| | 50代 | 374 | 5.1 | 29.1 | 19.3 | 24.1 | 9.9 | 11.5 | 1.1 | 34.2 |
| | 60代 | 325 | 5.2 | 29.2 | 18.2 | 25.8 | 10.2 | 8.9 | 2.5 | 34.4 |
| | 70代 | 366 | 7.1 | 36.9 | 16.7 | 21.3 | 8.2 | 7.1 | 2.7 | 44.0 |
| | 80歳以上 | 226 | 15.5 | 38.1 | 10.2 | 13.7 | 8.0 | 11.5 | 3.1 | 53.6 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

○近所付き合いの程度別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | 《感じる》層 | |
|------------|---------------------------|--------|-------|-----------|-------|--------|-------|------|--------|------|
| | | 大いにある | 多少はある | どちらともいえない | あまりない | まったくない | わからない | 無回答 | | |
| 全体 | 1993 | 6.6 | 30.2 | 17.5 | 24.0 | 10.4 | 9.4 | 1.9 | 36.8 | |
| 近所付き合いの程度別 | 困り事や悩み事を相談する程度 | 64 | 20.3 | 51.6 | 9.4 | 7.8 | 3.1 | 7.8 | - | 71.9 |
| | 困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度 | 293 | 14.7 | 47.1 | 12.6 | 13.7 | 5.1 | 6.1 | 0.7 | 61.8 |
| | たまに立ち話をする程度 | 422 | 7.3 | 37.0 | 22.3 | 20.4 | 4.7 | 5.9 | 2.4 | 44.3 |
| | 会えばあいさつをかわす程度 | 878 | 3.5 | 24.3 | 19.4 | 29.6 | 11.3 | 10.3 | 1.7 | 27.8 |
| | つきあいがほとんどない | 239 | 2.1 | 13.4 | 12.6 | 30.1 | 25.5 | 14.6 | 1.7 | 15.5 |
| | その他 | 14 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | - | 14.3 | 28.6 | - | 42.9 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(3) 居住地域の支えあいに必要な支援

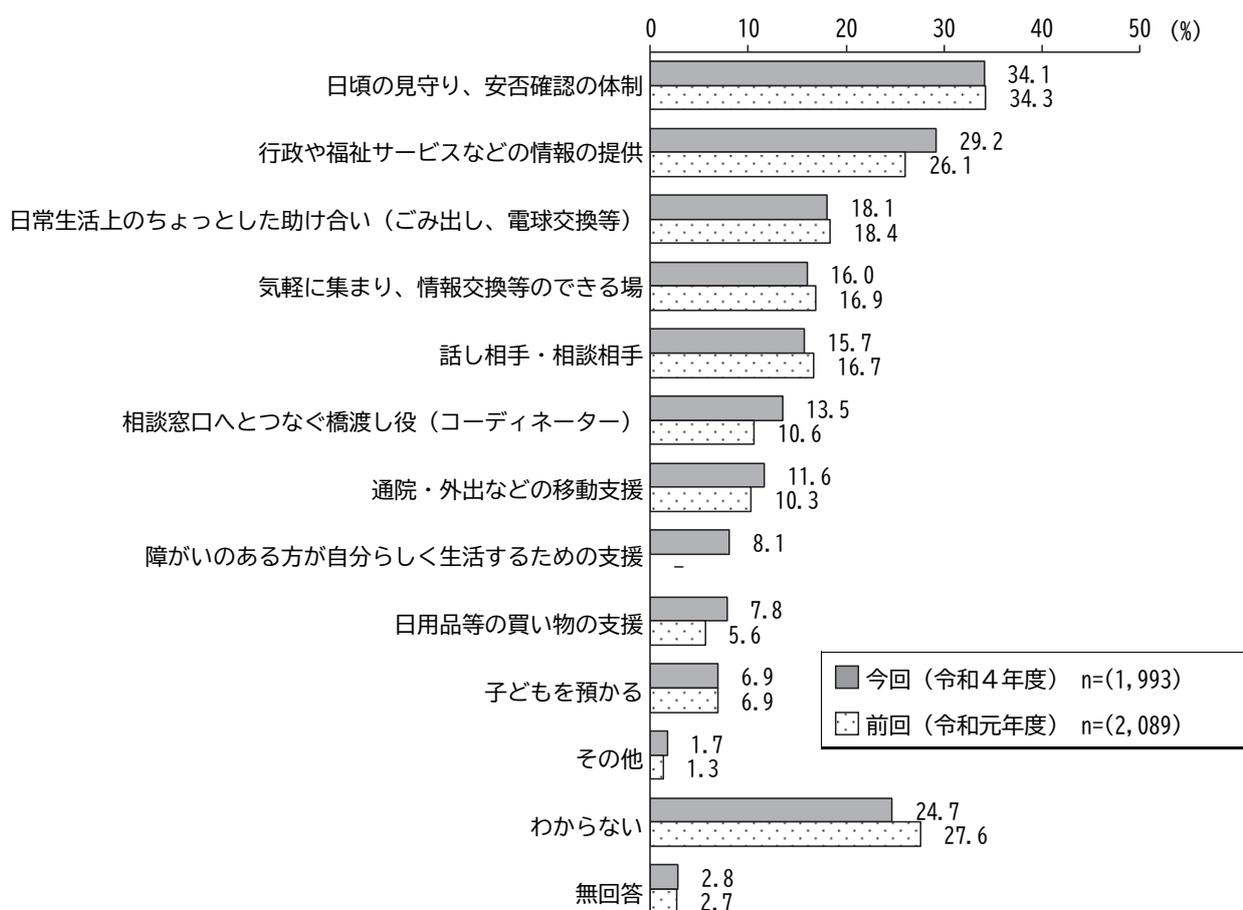
問30 あなたのお住まいの地区の支えあいとして、特にどのような支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで。わからない方は12に1つだけ〇)

居住地域の支えあいに必要な支援は、「日頃の見守り、安否確認の体制」が34.1%で最も高く、次いで「行政や福祉サービスなどの情報の提供」が29.2%、「日常生活上のちょっとした助け合い（ゴミ出し、電球交換等）」が18.1%と続く。

前回調査(令和元年度)と比較すると、「行政や福祉サービスなどの情報の提供」は前回(26.1%)よりも3.1ポイント高くなっている。

年代別でみると、「日頃の見守り、安否確認の体制」は30代から70代で3割台と高く、40代・60代では4割近くとなっている。「行政や福祉サービスなどの情報の提供」は70代・80歳以上で3割台半ばとなっている。「話し相手・相談相手」は10代と80歳以上で2割を超え、ほかの年齢層と比べて高くなっている。

孤立感の状況別にみると、「気軽に集まり、情報交換等のできる場」は全体(16.0%)よりも10.8ポイント、「話し相手・相談相手」は全体(15.7%)よりも8.0ポイント高くなっている。



第2章 調査結果の詳細

○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | | | |
|-----|--------|--------------------|----------------------------------|--|---------------------------|---------------|-------------------------------------|--------------------------|--|---------------------|-------------|------|
| | | 日頃の見守り、 安否確認の体制 | 行政や 福祉サー ビスなど の情報 提供 | 日常生活上の ちよつとし た助け合い (ごみ出し、 電球交換等) | 気軽に集まり、 情報交換等 のできる場 | 話し相手・ 相談相手 | 相談窓口へ とつなぐ 橋渡し役 (コーディネーター) | 通院・外出 などの 移動 支援 | 障がいのある 方が 自分らしく 生活する ための支援 | 日用品等の 買い物 の支援 | 子どもを 預かる | |
| 全体 | 1993 | 34.1 | 29.2 | 18.1 | 16.0 | 15.7 | 13.5 | 11.6 | 8.1 | 7.8 | 6.9 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 26.0 | 20.5 | 19.2 | 11.0 | 21.9 | 5.5 | 8.2 | 6.8 | 11.0 | 13.7 |
| | 20代 | 119 | 24.4 | 26.1 | 13.4 | 11.8 | 15.1 | 9.2 | 16.8 | 10.1 | 10.9 | 16.0 |
| | 30代 | 199 | 31.7 | 24.6 | 13.1 | 18.1 | 17.1 | 12.1 | 10.6 | 6.5 | 4.5 | 26.6 |
| | 40代 | 303 | 38.3 | 23.8 | 14.5 | 20.5 | 13.9 | 15.2 | 10.9 | 9.9 | 5.6 | 11.9 |
| | 50代 | 374 | 35.3 | 31.0 | 20.9 | 13.6 | 15.2 | 17.4 | 13.4 | 10.4 | 9.4 | 2.9 |
| | 60代 | 325 | 37.8 | 28.0 | 21.8 | 17.2 | 13.8 | 14.2 | 10.2 | 7.4 | 8.9 | 2.5 |
| | 70代 | 366 | 36.3 | 35.8 | 18.9 | 14.5 | 13.7 | 15.0 | 11.5 | 7.1 | 7.9 | 0.3 |
| | 80歳以上 | 226 | 27.0 | 33.2 | 19.0 | 16.8 | 21.7 | 8.0 | 11.5 | 4.9 | 6.2 | - |

| | その他 | わからない | 無回答 | |
|-----|-------|-------|------|-----|
| 全体 | 1.7 | 24.7 | 2.8 | |
| 年代別 | 10代 | 2.7 | 31.5 | 2.7 |
| | 20代 | 2.5 | 24.4 | 2.5 |
| | 30代 | 2.0 | 24.1 | 0.5 |
| | 40代 | 3.3 | 26.1 | 1.3 |
| | 50代 | 0.3 | 26.5 | 1.6 |
| | 60代 | 1.2 | 26.2 | 2.8 |
| | 70代 | 1.6 | 22.7 | 3.6 |
| | 80歳以上 | 1.8 | 20.4 | 6.2 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

○孤立感・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | | |
|------------|--------|--------------------|--------------------|---------------------------|--------------------------------------|-----------------------|-----------|--------------------------------|--------------|--------------------------------|-------------|
| | | 日頃の見守り、 安否確認の体制 | 福祉サービスなどの 情報の提供 | 行政や 福祉サービスなどの 情報の提供 | 日常生活上のちよつとした 助け合い(ごみ出し、電球 交換等) | 気軽に集まり、 情報交換等のできる場 | 話し相手・相談相手 | 相談窓口へつなぐ 橋渡し役 (コーディネーター) | 通院・外出などの移動支援 | 障がいのある方が 自分らしく生活するための 支援 | 日用品等の買い物の支援 |
| 全体 | 1993 | 34.1 | 29.2 | 18.1 | 16.0 | 15.7 | 13.5 | 11.6 | 8.1 | 7.8 | 6.9 |
| 孤立していると感じる | 228 | 35.5 | 28.5 | 16.2 | 26.8 | 23.7 | 18.9 | 12.3 | 9.2 | 7.9 | 7.5 |

| | 構成比(%) | | |
|------------|--------|-------|-----|
| | その他 | わからない | 無回答 |
| 全体 | 1.7 | 24.7 | 2.8 |
| 孤立していると感じる | 1.3 | 18.9 | 3.9 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

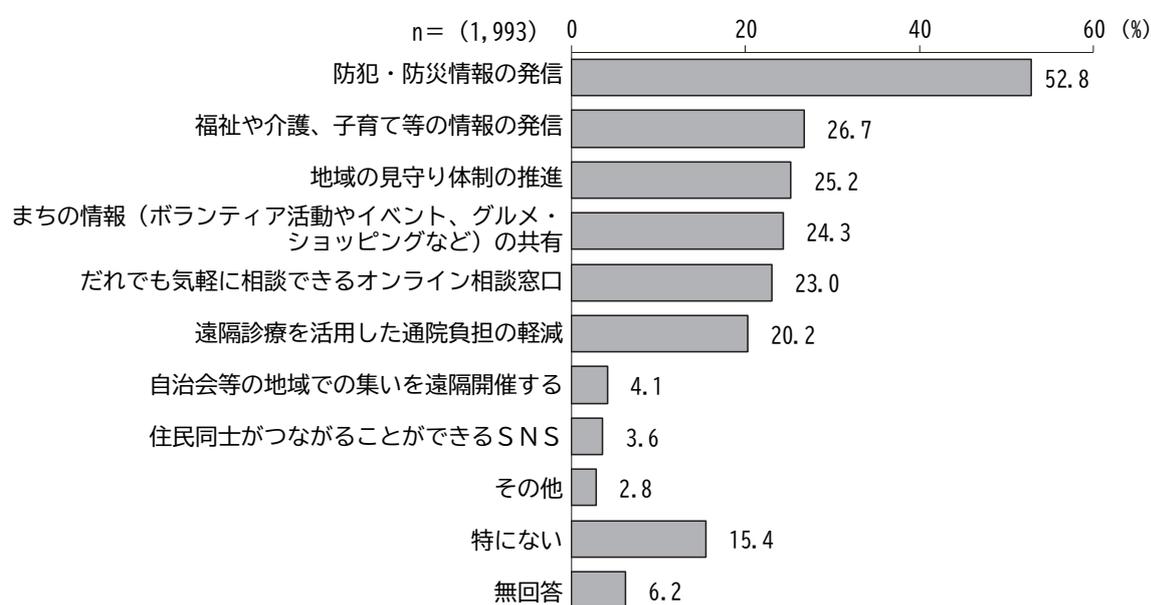
※「孤立していると感じる」：4. (4)「居住地域での孤立感」の《感じる》層

(4) ICTの活用について

問31 ICTを活用した取組のなかで地域づくりに取り入れた方がよいと思うものはありますか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

地域づくりに取り入れた方がよいと思うICTを活用した取組は、「防犯・防災情報の発信」が52.8%で最も高く、次いで「福祉や介護、子育て等の情報の発信」が26.7%、「地域の見守り体制の推進」が25.2%となっている。

年代別で見ると、「防犯・防災情報の発信」ではどの年齢層でも割合が高く、特に50代・60代では6割を超えている。「福祉や介護、子育て等の情報の発信」では30代が4割近く、「遠隔診療を活用した通院負担の軽減」では20代が3割を超えている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | |
|-----|--------|------------|-----------|----------|-------------|------------------------|-----------------|--------------|-----------|-----------|
| | | 防犯・防犯情報の発信 | 子育て等の情報発信 | 福祉や介護、のて | 地域の見守り体制の推進 | デジタル活動(ブログ、SNS、動画共有など) | まちの活動(イベント、交流会) | できるオンライン相談窓口 | 遠隔診療の活用した | 自治会等の遠隔開催 |
| 全体 | 1993 | 52.8 | 26.7 | 25.2 | 24.3 | 23.0 | 20.2 | 4.1 | 3.6 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 50.7 | 20.5 | 23.3 | 20.5 | 13.7 | 15.1 | 5.5 | 6.8 |
| | 20代 | 119 | 47.1 | 37.8 | 20.2 | 29.4 | 22.7 | 30.3 | 2.5 | 4.2 |
| | 30代 | 199 | 53.8 | 39.2 | 25.6 | 29.6 | 24.1 | 21.1 | 4.0 | 5.5 |
| | 40代 | 303 | 58.4 | 33.0 | 24.1 | 29.4 | 28.1 | 24.1 | 5.3 | 4.6 |
| | 50代 | 374 | 62.3 | 30.2 | 29.4 | 27.0 | 32.6 | 23.0 | 6.1 | 2.1 |
| | 60代 | 325 | 60.3 | 25.5 | 27.7 | 27.1 | 21.5 | 21.2 | 3.7 | 3.4 |
| | 70代 | 366 | 49.5 | 19.4 | 23.2 | 19.4 | 19.1 | 15.6 | 2.7 | 2.5 |
| | 80歳以上 | 226 | 27.4 | 12.4 | 21.7 | 11.5 | 11.5 | 11.9 | 2.7 | 3.5 |

| | 構成比(%) | | | |
|-----|--------|------|------|------|
| | その他 | 特にない | 無回答 | |
| 全体 | 2.8 | 15.4 | 6.2 | |
| 年代別 | 10代 | 1.4 | 24.7 | 4.1 |
| | 20代 | 1.7 | 13.4 | 1.7 |
| | 30代 | 2.0 | 10.1 | 5.0 |
| | 40代 | 2.3 | 11.6 | 3.0 |
| | 50代 | 1.9 | 8.6 | 4.5 |
| | 60代 | 2.8 | 11.4 | 4.0 |
| | 70代 | 4.9 | 21.0 | 7.9 |
| | 80歳以上 | 3.1 | 31.9 | 15.9 |

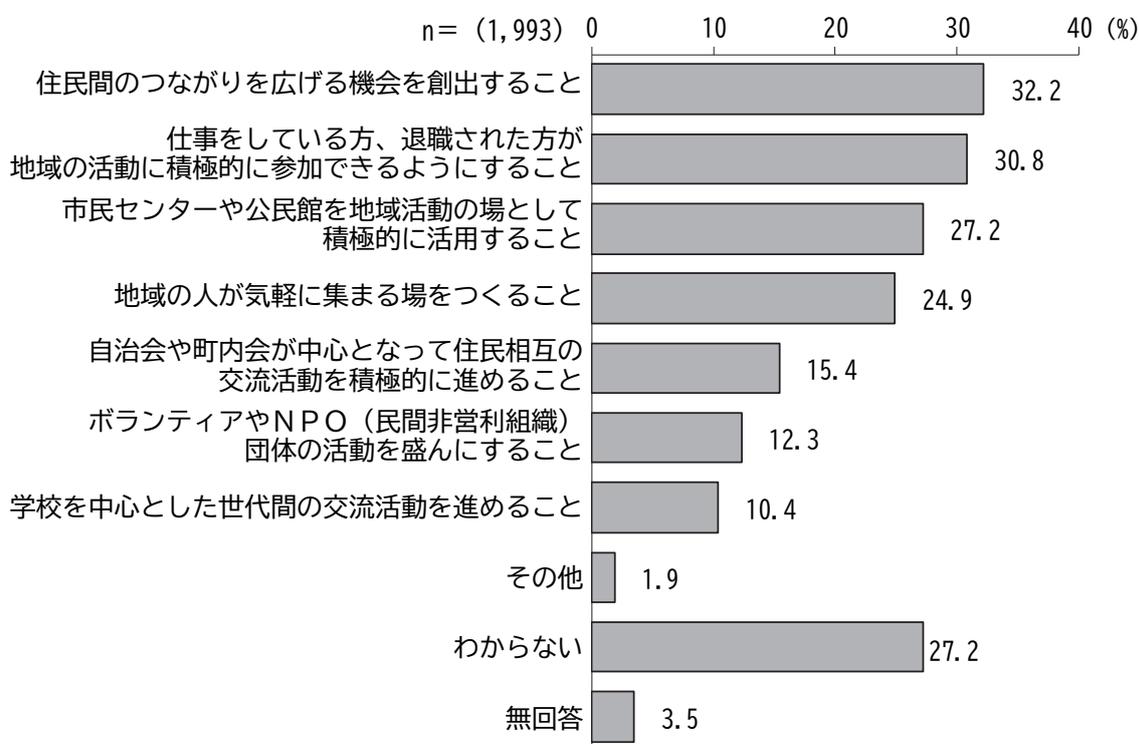
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(5) 住民の自主的な参加・協力関係を築くために地域が主体となって取り組むべきこと

問32 住民の自主的な参加・協力関係を築くために、地域が主体となって取り組むべきことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

住民の自主的な参加・協力関係を築くために地域が主体となって取り組むべきことは、「住民間のつながりを広げる機会を創出すること」が32.2%で最も高く、次いで「仕事をしている方、退職された方が地域の活動に積極的に参加できるようにすること」が30.8%、「市民センターや公民館を地域活動の場として積極的に活用すること」が27.2%と続く。

年代別でみると、「仕事をしている方、退職された方が地域の活動に積極的に参加できるようにすること」は40代で4割を超え、60代で3割台半ばと高くなっている。「住民間のつながりを広げる機会を創出すること」は70代で4割近く、30代と60代と80歳以上で3割台半ばと高くなっている。一方、「わからない」は10代・20代で3割を超え高くなっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | |
|-----|--------|-----------------------|-------------------|----------------|-----------------------|---------------|-----------------------------------|---------------------------|------------------------|
| | | 住民間のつながりを広げる機会を創出すること | 的に参加できるような活動にすること | 仕事をしたい地域の方、退職者 | 市民センターや公民館を積極的に活用すること | 地域の人気軽に参加すること | 自治会や町内会が中心となつて住民相互の交流活動を積極的に進めること | 民間(ボランティアやNPO)の活動を盛んにすること | 学校を中心とした世代間の交流活動を進めること |
| 全体 | 1993 | 32.2 | 30.8 | 27.2 | 24.9 | 15.4 | 12.3 | 10.4 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 21.9 | 27.4 | 21.9 | 17.8 | 8.2 | 8.2 | 28.8 |
| | 20代 | 119 | 27.7 | 26.9 | 21.0 | 19.3 | 7.6 | 12.6 | 19.3 |
| | 30代 | 199 | 35.2 | 30.7 | 27.1 | 29.1 | 10.1 | 9.0 | 18.1 |
| | 40代 | 303 | 27.7 | 40.3 | 26.4 | 26.1 | 9.9 | 15.8 | 15.8 |
| | 50代 | 374 | 29.7 | 31.3 | 28.9 | 25.7 | 12.8 | 15.8 | 9.9 |
| | 60代 | 325 | 33.2 | 36.9 | 28.9 | 24.0 | 12.9 | 12.0 | 4.6 |
| | 70代 | 366 | 38.0 | 25.1 | 26.8 | 23.0 | 23.5 | 12.8 | 6.6 |
| | 80歳以上 | 226 | 34.5 | 21.7 | 28.8 | 27.4 | 27.9 | 6.2 | 1.3 |

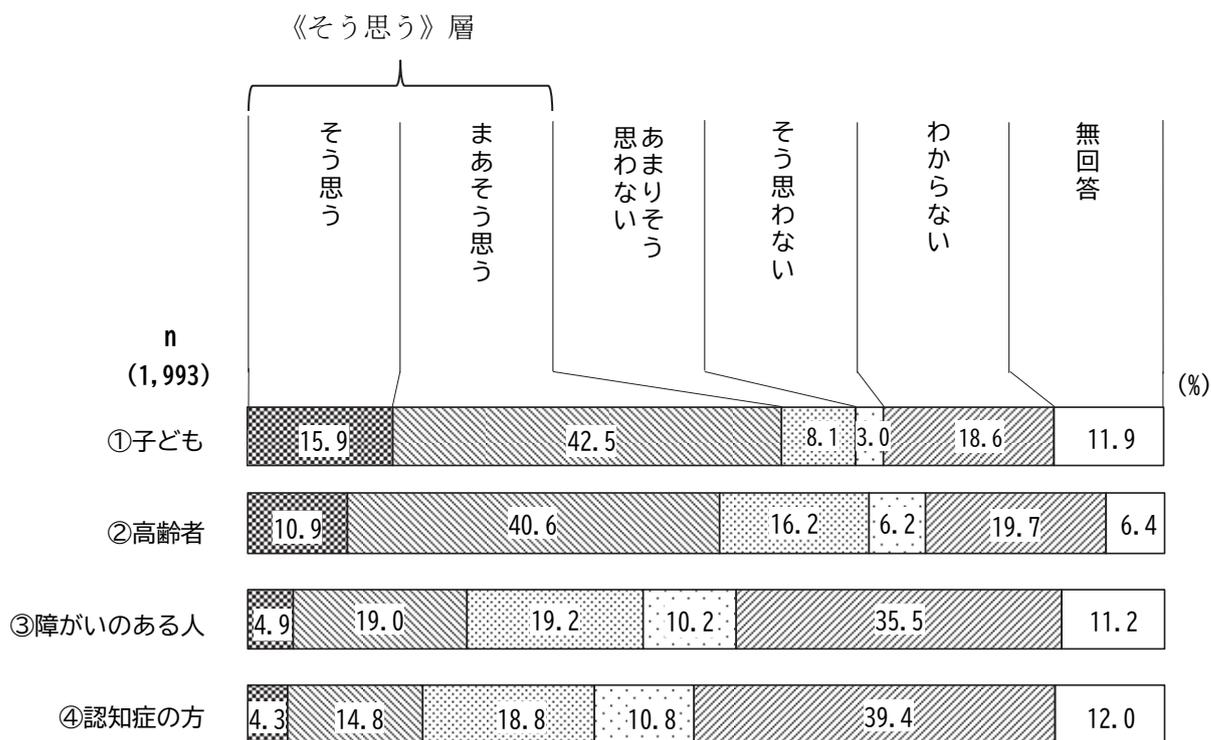
| | 構成比(%) | | | |
|-----|--------|-------|------|------|
| | その他 | わからない | 無回答 | |
| 全体 | 1.9 | 27.2 | 3.5 | |
| 年代別 | 10代 | 1.4 | 31.5 | 2.7 |
| | 20代 | 4.2 | 30.3 | 0.8 |
| | 30代 | 3.0 | 28.6 | 0.5 |
| | 40代 | 3.3 | 26.1 | 1.7 |
| | 50代 | 0.5 | 29.4 | 2.1 |
| | 60代 | 1.8 | 25.5 | 2.5 |
| | 70代 | 0.5 | 26.8 | 4.6 |
| | 80歳以上 | 2.7 | 23.9 | 11.1 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(6) 自分らしく暮らせるような環境

問33 子ども、高齢者、障がいのある人、認知症の方が、住み慣れた地域で、周囲や地域の理解と協力の下、自分らしく暮らせるような環境だと思いますか。
 (①~④の項目ごとに1つだけ○)

それぞれの人にとって、自分らしく暮らせるような環境だと思えるかについては、《そう思う》層は“①子ども”で58.4%、“②高齢者”では51.5%となっているが、“③障がいのある人”では23.9%、“④認知症の方”では19.1%となっている。また、「わからない」は“④認知症の方”で39.4%、“③障がいのある人”で35.5%と高くなっている。



(7) 自分らしく暮らせるような地域の実現に必要なこと

問33-1 誰もが自分らしく暮らせるような地域の実現に必要なことは何だと思いますか。
(自由記述)

自由記入は906人の回答があった。「地域コミュニティ・助け合い」に関する意見が274件と最も多く、次いで「行政・公共サービス・インフラ設備」(221件)、「思いやり・相互理解・教育」(150件)と続く。

記載分野別にいくつか意見を抽出し、以下に示す。

| | 記載分野 | 件数 |
|---|------------------|-----|
| 1 | 地域コミュニティ・助け合い | 274 |
| 2 | 行政・公共サービス・インフラ設備 | 221 |
| 3 | 思いやり・相互理解・教育 | 150 |
| 4 | 経済的ゆとり | 30 |
| 5 | 治安の良さ | 22 |
| 6 | 健康 | 4 |

※記載内容で重複している意見があるため、件数の合計とは一致しない。

【地域コミュニティ・助け合い】

- 孤独感を感じさせないような、地域のつながり、活動などを通して人と接する機会、気にかけて合うことが必要なのではと感じています。
- この土地を大切にしようと思えるような支えあいや活動を多くすること。(ボランティアの見守り隊など) ワークショップや幅広い年齢で参加できるイベントがあると活性化すると思います。
- 日頃から住民同士声をかけゆるやかな見守りがされている。集える行事や場があり、交流がある。多世代で交流することでひきこもりをふせぎ、安心して暮らせる。町に魅力があり、文化やスポーツを楽しみ健康を維持できる工夫。
- それぞれの立場の方々によりそったきめの細かい行政のあり方を考えることと、それぞれの方々が情報発信していける環境を作ること。
- 助けを求めている人に居場所を作ってあげること。そして、それを支えたいと思っている人と繋ぐコミュニケーションツールがあればと思います。
- 町内会・自治会が主体となり、交流イベントを開催して、相互にふれあう事が大事。近年では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からいろいろなイベントが中止となっている。主催者側は、準備等が大変な為、中止が続き苦労しない事に慣れ、新型コロナウイルス感染拡大防止を理由に、イベント自体を無くす事は、あってはならない。以前までは納涼祭や地区レクなどを実施し、コミュニケーションが図れていたと思う。
- 地域で行っている事を子供から高齢者までわかりやすく発信して、関心を持ってもらう事が必要だと思います。
- 悩みがあればすぐに相談ができる体制を取り、高齢者には電話の窓口、若者にはSNS等の活用などそれぞれに合わせたアプローチをすることが必要だと思います。

第2章 調査結果の詳細

【行政・公共サービス・インフラ設備】

- 坂が多い地域ではインフラ整備（小型コミュニティーバス）。老人福祉センターが現在市内3ヶ所（やすらぎ荘、湘南なぎさ荘、こぶし荘）だけで、人口（高齢者）が増加している。村岡～柄沢にもう1ヶ所あった方がよい。
- 歩道に段差がなく車椅子で移動しやすい。歩行者用の踏切りがゆるやかなスロープで、高齢者の負担がないなど、高齢者やベビーカーにやさしい街作り。
- 病気や障がいを抱えている人が気軽に外出・通院できる制度（無料または割安のタクシー等）の充実。外見からはわからない病を抱えている人は沢山いると思うので、そのような人達にも思いやりのある地域になってほしいです。
- 藤沢に越して来て福祉の面で一番感謝している。ゴミ出しも一軒ずつでとても良い。ゴミ当番の苦労が無い。
- 安心して歩ける太い歩道。遮断機をなくして安全に線路を越えられる道をつくる。

【思いやり・相互理解・教育】

- お互いに無関心になるのではなく、ひとりひとりをよく知り合うこと。そして、お互いの考え方や生き方を尊重すること。
- 思いやりをもって、相手の立場になって考えられること。相手を尊重する気持ち。共生できる環境を整えられるよう、折り合いをつけていくこと。
- 小学校・中学校で、障がいのある方や認知症の方を、知るための教育はあると良いかと思います。
- 過干渉はするべきではないが、「手を貸せる人」が「手を貸して欲しい人（高齢者や障がいのある人など）」に無理のない範囲で手助けをすること。
- 色々な世代、環境、家庭の事情等があるということを理解し、受け入れる心。
- 人や環境、世代や考え方の違いなど、異なることが当たり前だと皆が認識すること。
- 様々な立場の人を知ること、理解することが最初の一步だと思う。一人一人の困り感を受け取ることから始まると思う

【経済的ゆとり】

- 子育て世帯や年金の受給世帯への経済援助。
- 金銭的な支援、いざという時のサポートがあると良い。
- 100%の雇用。（低賃金の職でなく、安定した生活が出来る）

【治安の良さ】

- 安心して安全に暮らすことができる犯罪やトラブルのない地域社会への実現。
- 危険人物に対して、定期的に地域や警察の巡回。
- 防犯や交通安全などの安全面の確保。

【健康】

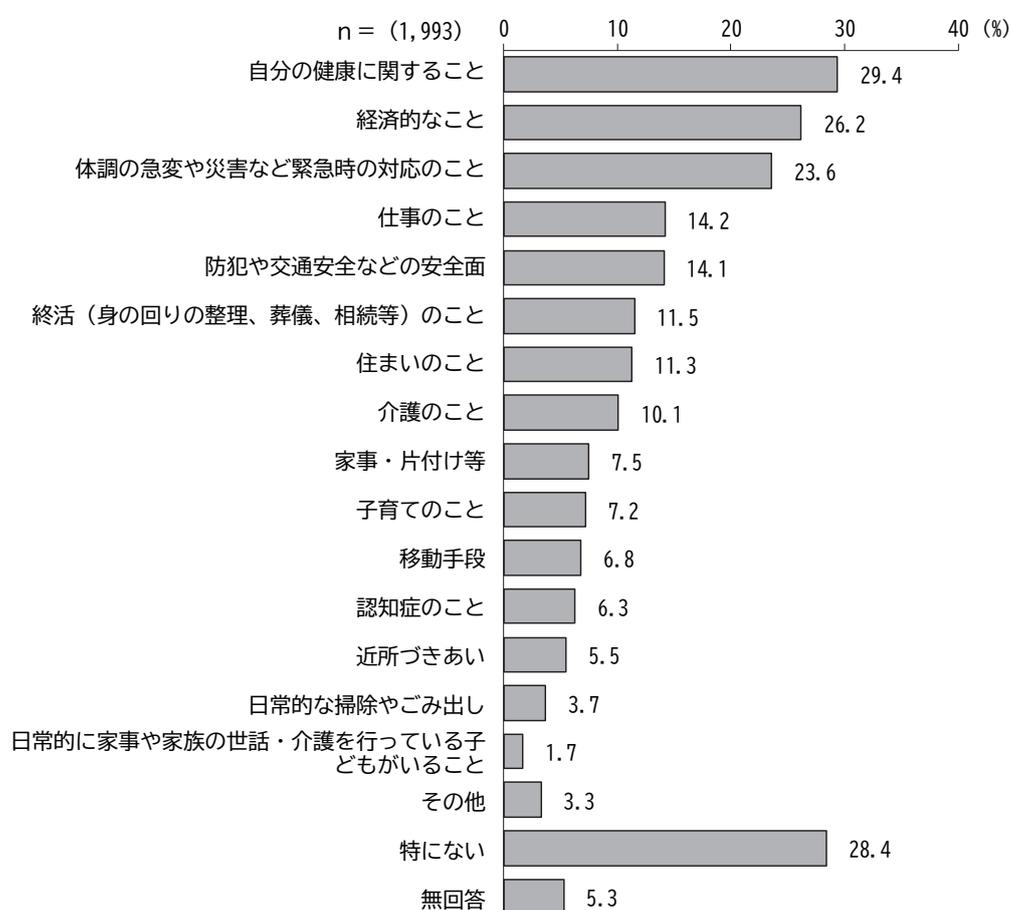
- 自分の健康を維持すること。医療機関の充実。
- 健康中心に、はやめの予防。自分の判断ではなく、はやめの治療。運動不足にならないよう、筋肉をつけていく。

(8) 日々の生活で困っていること、悩み

問34 日々の生活で困っていること、悩みは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

日々の生活で困っていることの悩みについては、「自分の健康に関すること」が29.4%で最も高く、次いで「経済的なこと」が26.2%、「体調の急変や災害など緊急時の対応のこと」が23.6%と続く。また、「特にない」も28.4%で高くなっている。

年代別でみると、「自分の健康に関すること」は70代・80歳以上でともに4割近くとなっている。「経済的なこと」は40代で4割近く、30代で3割台半ばと高くなっている。「子育てのこと」は30代で3割近くと、ほかの年齢層と比べて高くなっている。一方、「特にない」は10代で6割を超え、20代でも4割を超えている。



第2章 調査結果の詳細

○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | | |
|-----|--------|-----------------|--------|-------------------------|-------|-------------------|-------------------------------|--------|-------|---------|------|
| | | 自分の健康に 関すること | 経済的なこと | 体調の急変や災害など 緊急時の対応のこと | 仕事のこと | 防犯や交通安全などの 安全面 | 終活(身の回りの 整理、葬儀、相続等) のこと | 住まいのこと | 介護のこと | 家事・片付け等 | |
| 全体 | 1993 | 29.4 | 26.2 | 23.6 | 14.2 | 14.1 | 11.5 | 11.3 | 10.1 | 7.5 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 11.0 | 15.1 | 4.1 | 4.1 | 13.7 | - | 5.5 | 4.1 | 9.6 |
| | 20代 | 119 | 13.4 | 33.6 | 12.6 | 21.8 | 11.8 | - | 9.2 | 3.4 | 5.0 |
| | 30代 | 199 | 18.1 | 36.7 | 19.1 | 21.6 | 18.6 | 2.5 | 13.6 | 3.5 | 13.6 |
| | 40代 | 303 | 26.1 | 38.9 | 22.1 | 26.4 | 19.8 | 6.3 | 17.8 | 6.9 | 10.6 |
| | 50代 | 374 | 29.9 | 28.9 | 23.8 | 20.9 | 15.5 | 10.4 | 11.5 | 16.0 | 7.8 |
| | 60代 | 325 | 32.3 | 23.1 | 24.6 | 12.0 | 13.5 | 17.5 | 12.9 | 12.3 | 3.7 |
| | 70代 | 366 | 38.0 | 18.0 | 30.3 | 3.3 | 11.2 | 16.1 | 8.2 | 9.3 | 4.1 |
| | 80歳以上 | 226 | 37.6 | 12.8 | 28.8 | 0.4 | 7.5 | 21.2 | 6.2 | 13.7 | 8.4 |

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | |
|-----|--------|--------|------|--------|--------|-----------------|--|-----|------|------|
| | | 子育てのこと | 移動手段 | 認知症のこと | 近所づきあい | 日常的な掃除や ごみ出し | 日常的に家事や家族の 世話をしていること 子どもが介護を行うこと | その他 | 特にない | 無回答 |
| 全体 | | 7.2 | 6.8 | 6.3 | 5.5 | 3.7 | 1.7 | 3.3 | 28.4 | 5.3 |
| 年代別 | 10代 | - | 11.0 | 2.7 | 5.5 | 1.4 | - | 2.7 | 61.6 | 4.1 |
| | 20代 | 8.4 | 10.1 | 0.8 | 5.9 | 5.9 | 0.8 | 4.2 | 42.0 | 2.5 |
| | 30代 | 29.6 | 7.0 | 1.0 | 6.0 | 6.0 | 2.5 | 3.0 | 21.6 | 3.5 |
| | 40代 | 18.5 | 6.6 | 2.3 | 7.6 | 5.3 | 1.7 | 4.3 | 23.4 | 2.0 |
| | 50代 | 4.8 | 5.3 | 6.4 | 4.8 | 3.5 | 3.2 | 3.2 | 28.9 | 3.2 |
| | 60代 | 0.3 | 3.7 | 6.8 | 4.0 | 2.8 | 1.2 | 3.1 | 30.5 | 6.8 |
| | 70代 | - | 6.8 | 9.8 | 4.9 | 1.6 | 1.4 | 3.3 | 25.1 | 6.8 |
| | 80歳以上 | - | 10.6 | 13.3 | 6.2 | 3.5 | 0.9 | 2.2 | 26.1 | 10.6 |

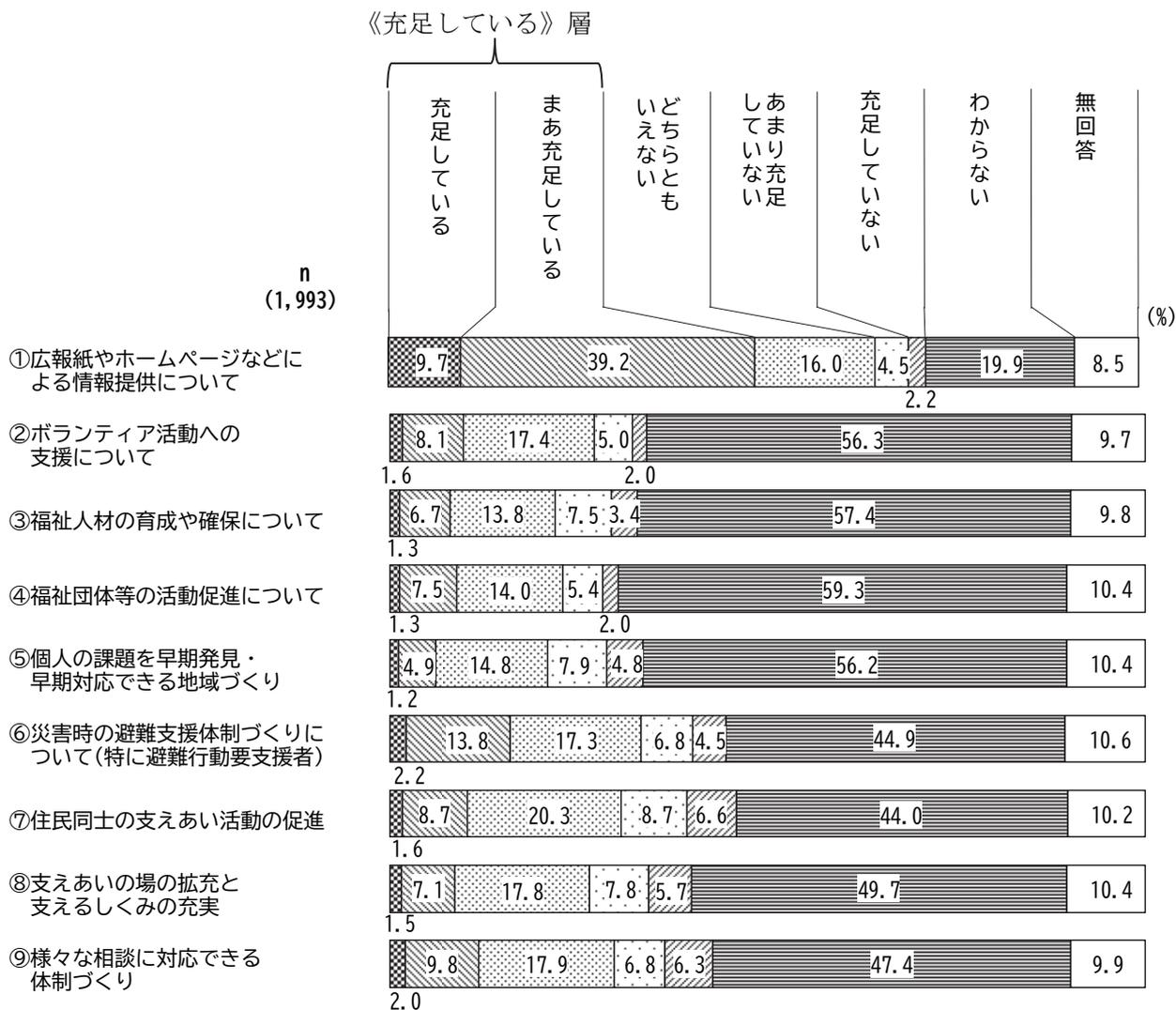
※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

(9) 地域福祉推進のため市で行っている取組について

問35 地域福祉の推進に向け、本市で行っている取組について、どのように感じていますか。
 (①～⑨の項目ごとに1つだけ○。その理由があればご記載ください)

地域福祉推進のため市で行っている取組については、《充足している》層は“①広報誌やホームページなどによる情報提供について”が48.9%でほかの取組と比較して高くなっている。一方、「わからない」は“④福祉団体等の活動促進について”が59.3%、“③福祉人材の育成や確保について”が57.4%、“②ボランティア活動への支援について”が56.3%で高くなっている。

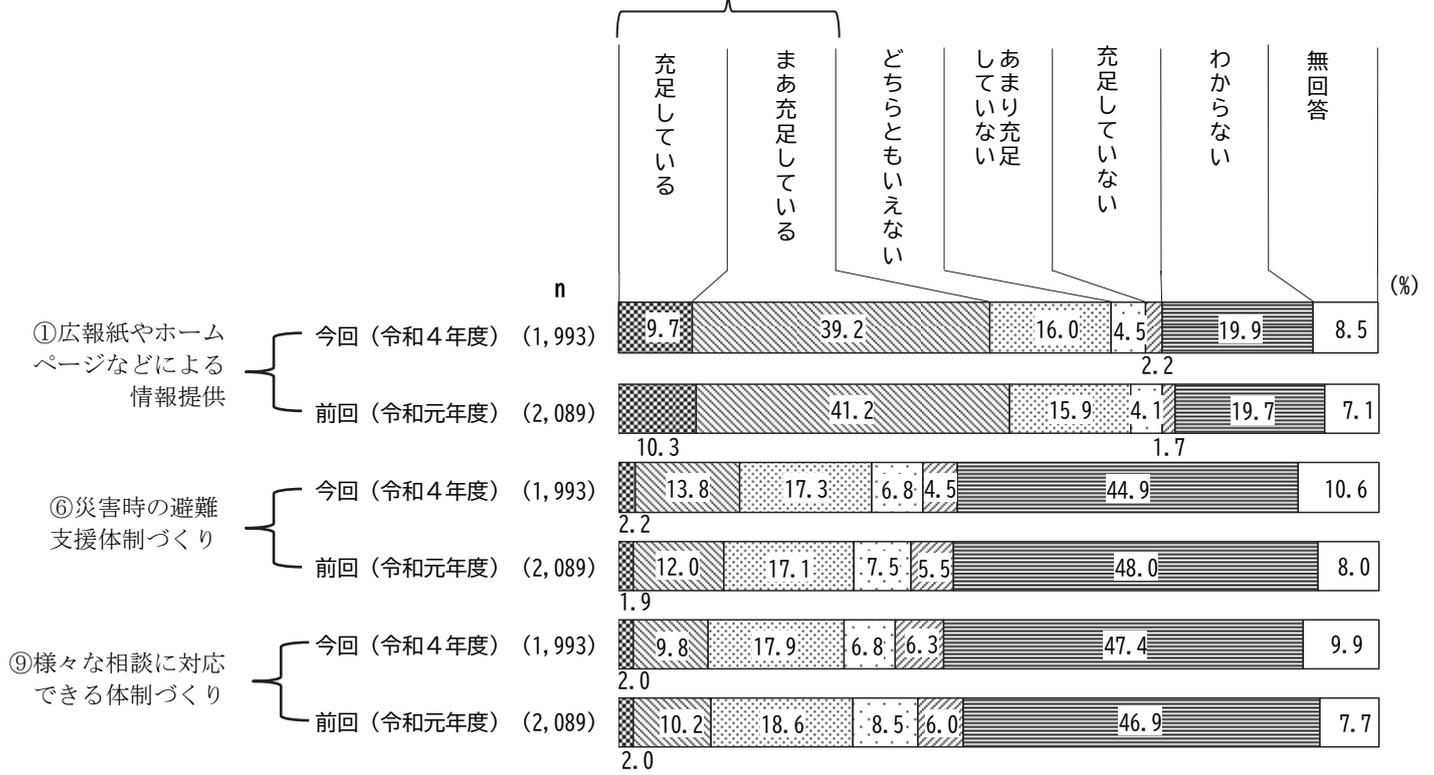
また、地域福祉計画において成果目標としている項目について、前回調査(令和元年度)と比較すると、“①広報誌やホームページなどによる情報提供について”で《充足している》層は前回(51.5%)よりも2.6ポイント、“⑨様々な相談に対応できる体制づくり”でも《充足している》層は前回(12.2%)よりも0.4ポイント、それぞれ低くなっている。一方、“⑥災害時の避難支援体制づくりについて”では《充足している》層が前回(13.9%)よりも2.1ポイント高くなっている。



第2章 調査結果の詳細

○前回（令和元年度）調査比較

《充足している》層



理由の記載内容を以下に示す。

■ 広報紙やホームページなどによる情報提供について

| | |
|--|---|
| <p>「充足している」 または 「まあ充足している」理由</p> | <p>《掲載内容》 ○カルチャー、スポーツ、公民館の案内が、よくわかる。 ○端的にまとめてあり、見やすいから。 ○広報ふじさわにはさまざまな地域の事が掲載されていて役立つ。</p> <p>《伝達手段》 ○広報は月2回届けてもらえるため、必ず目を通すのでよくわかる。 ○市の広報は見やすい。LINEの情報も助かる。 ○市のHPなど必要な情報を検索しやすい。</p> <p>《情報内容の体裁》 ○広報ふじさわにはさまざまな地域の事が掲載されていて役立つ。 ○得たい情報をホームページ上で見る事が出来る。 ○HPの情報はQ&A方式でわかりやすいと思う。</p> |
| <p>「あまり充足していない」または 「充足していない」理由</p> | <p>《掲載内容》 ○マンネリ化している部分が多くなって来ている。 ○取組について目に入らない、気づかない。 ○興味ある内容ではない。</p> <p>《伝達手段》 ○広報紙は町内会に入っていないとわからない。市役所まで広報紙を取りにいけないといけない。 ○欲しい情報にたどり着くのに時間がかかる。 ○どうしても紙が必要な方以外は紙配布をやめ、コストカットすべき。</p> <p>《情報内容の体裁》 ○わかりやすい内容にしてほしい。見出し等。 ○ホームページの構成がわかりにくい。 ○ホームページが雑然としていて情報を探しにくい。</p> |

■ ボランティア活動への支援について

| | |
|--|--|
| <p>「充足している」 または 「まあ充足している」理由</p> | <p>○ボランティアの張り紙は目にする事が多いと感じるから。 ○市民活動推進センター、社協などボランティアを支える機関がある。 ○活動されている人の生き生きした活動の姿や成果を見て。</p> |
| <p>「あまり充足していない」または 「充足していない」理由</p> | <p>○ボランティア活動についての情報発信が少ない。 ○ボランティア活動を市がどのような支援をしているのかわからない。 ○条例的な取り組みしか出来ていない。北部地区と南部地区の取り組みに差を大きく感じる。</p> |

第2章 調査結果の詳細

■福祉人材の育成や確保について

| | |
|--|--|
| <p>「充足している」 または 「まあ充足している」理由</p> | <p>○広報紙を見て充実していると感じる。 ○過去にヘルパー研修を受けたので、その時そう感じた。</p> |
| <p>「あまり充足していない」または 「充足していない」理由</p> | <p>《人員不足》 ○保育士の人手不足。 ○介護事業所に勤務しているが、依頼は多いが介護員が足りずお断りすることが多いから。</p> <p>《人材の確保》 ○福祉の雇用が安定していない。人材不足と収入の低さ。 ○障がい者をキズつけない常識ある人材の確保。</p> <p>《待遇等の改善》 ○福祉に携わる人達の待遇改善をしないと離職者が増える。 ○福祉職の給与が上がれば人材は集まる。安く労働力だけ集めるから確保できない。</p> |

■福祉団体等の活動促進について

| | |
|--|--|
| <p>「充足している」 または 「まあ充足している」理由</p> | <p>○広報紙を見て充足していると感じる。 ○よくデイケアサービスの車などを見かける為。 ○社会福祉協議会へ相談に行った事があり内容は分かる為。</p> |
| <p>「あまり充足していない」または 「充足していない」理由</p> | <p>○福祉の雇用が安定せず人材不足と収入の低さを感じる。 ○具体的なことが正直よくわからない</p> |

■個人の課題を早期発見・早期対応できる地域づくり

| | |
|--|--|
| <p>「充足している」 または 「まあ充足している」理由</p> | <p>○広報紙を見て充足していると感じる。 ○市民センターの対応が充実している。</p> |
| <p>「あまり充足していない」または 「充足していない」理由</p> | <p>○具体的なことが耳に入っていない為正直よくわからない。 ○個人単位だとなかなか行き届いていない。 ○課題をどこに出せばわからない。</p> |

■災害時の避難支援体制づくりについて（特に要援護者支援）

| | |
|---------------------------------|--|
| 「充足している」 または 「まあ充足している」理由 | <ul style="list-style-type: none"> ○よく市内の放送を聞くので、地域で対策している安心感があります。 ○避難マップなどは充実していると思う。 ○避難訓練をきちんと行なっているから。 ○広報紙を見て充足していると感じる。 |
| 「あまり充足していない」または 「充足していない」理由 | <ul style="list-style-type: none"> ○人口に対して避難所が少ないと思う。 ○具体的なことが耳に入らず正直よくわからない。 ○避難行動要支援者がどこにいるのかわからないので支援しようが無い。 |

■住民同士の支えあい活動の促進

| | |
|---------------------------------|---|
| 「充足している」 または 「まあ充足している」理由 | <ul style="list-style-type: none"> ○自治会活動。 ○レクリエーション大会などで住民が集まる機会がある。 ○広報紙を見て充足していると感じる。 |
| 「あまり充足していない」または 「充足していない」理由 | <ul style="list-style-type: none"> ○情報がないのでわからない。 ○住民同士の交流をあまり感じないため ○小さい子供さんがいる家などは、顔みしりになり活動出来るが1人住いの方は場がないから。 |

■支えあいの場の拡充と支えるしくみの充実

| | |
|---------------------------------|---|
| 「充足している」 または 「まあ充足している」理由 | <ul style="list-style-type: none"> ○マンション内での友人達と協力的に行動できると感じている。 ○近くに障がい者雇用と作った商品を一般に販売している場があるため。 ○公民館で色々な催し物があるから。 |
| 「あまり充足していない」または 「充足していない」理由 | <ul style="list-style-type: none"> ○そのような場所があるとは聞いたことが何度かあるが、実際に参加したいとは思えなかったり、内容や場所が限定されていて参加しにくい。 ○支えあいの場としての拠点がわからない。 |

■様々な相談に対応できる体制づくり

| | |
|---------------------------------|---|
| 「充足している」 または 「まあ充足している」理由 | <ul style="list-style-type: none"> ○情報誌等で色々な相談場所や方法がわかったから。 ○電話窓口など、充実しています。 |
| 「あまり充足していない」または 「充足していない」理由 | <ul style="list-style-type: none"> ○時間が限定されているため、相談できなかった。 ○何処の誰に相談すれば良いのかわからない。 ○行政に相談してもたらい回し。 ○どのような問題なら対応してくれるのかが分からない。 |

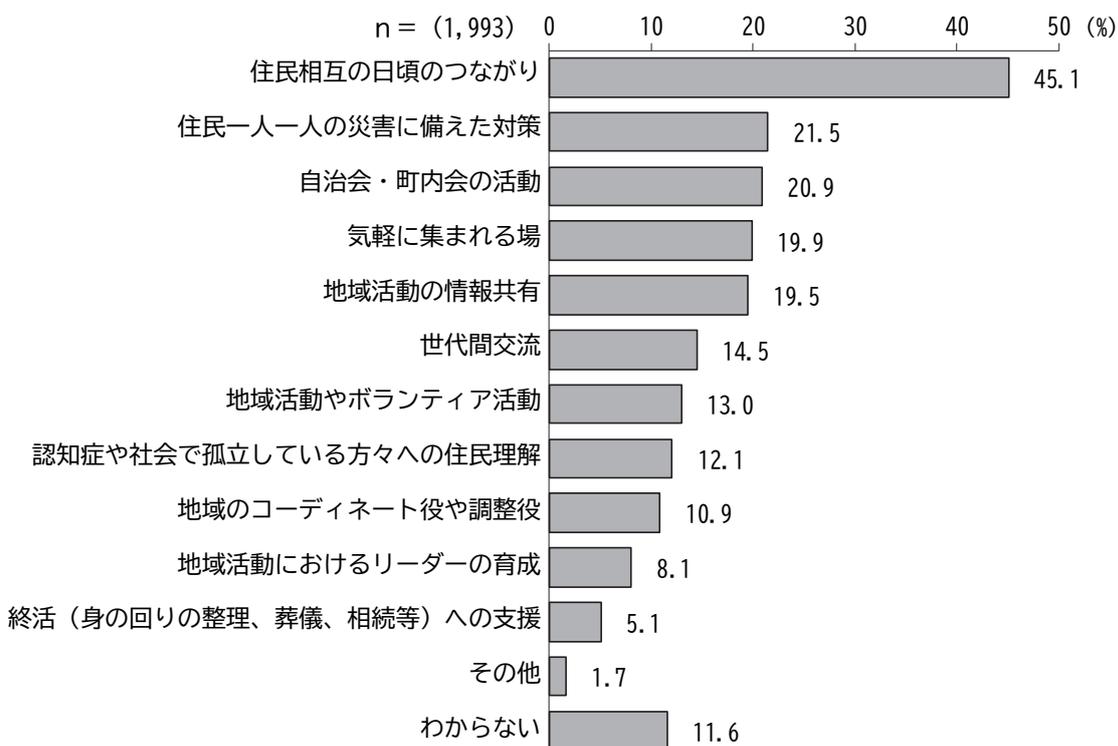
(10) 地域づくりに必要なこと

問36 地域住民どうしが支えあう地域づくりに必要なことは何だと思えますか。
 (特にあてはまるもの3つまでに○)

地域づくりに必要なことは、「住民相互の日頃のつながり」が45.1%で最も高く、次いで、「住民一人一人の災害に備えた対策」が21.5%、「自治会・町内会の活動」が20.9%と続く。

年代別でみると、「住民相互の日頃のつながり」はどの年齢層でも割合が高く、70代が最も高く5割近く、最も低い20代でも4割近くとなっている。「世代間交流」では年齢が低くなるほど割合が高く、10代は3割を超えている。「気軽に集まれる場」では30代で3割近くと、ほかの年齢層と比べて高くなっている。

近所づきあいの程度別でみると、「住民相互の日頃のつながり」は近所とのつきあいの程度が高いほど高い傾向があり、“困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度”で6割台半ばとなっている。「住民一人一人の災害に備えた対策」では、“困り事や悩み事を相談する程度”以外のつきあいの程度すべてで2割台となっている。



○年代別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | | | | |
|-----|--------|-----------|-----------------|------------|----------|-----------|-------|---------------|-------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|-----|
| | | 住民相互のつながり | 住民一人一人の災害に備えた対策 | 自治会・町内会の活動 | 気軽に集まれる場 | 地域活動の情報共有 | 世代間交流 | 地域活動やボランティア活動 | 認知症や社会での孤立を解消している方々への孤立 | 地域のコーディネーターや調整役 | 地域活動におけるリーダーの育成 | 終活(身の回りの整理・葬儀、相続等)への支援 | |
| 全体 | 1993 | 45.1 | 21.5 | 20.9 | 19.9 | 19.5 | 14.5 | 13.0 | 12.1 | 10.9 | 8.1 | 5.1 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 41.1 | 17.8 | 15.1 | 24.7 | 19.2 | 30.1 | 5.5 | 15.1 | 4.1 | 1.4 | 2.7 |
| | 20代 | 119 | 38.7 | 24.4 | 11.8 | 20.2 | 22.7 | 22.7 | 10.9 | 17.6 | 14.3 | 7.6 | 1.7 |
| | 30代 | 199 | 42.7 | 19.6 | 14.6 | 29.1 | 22.1 | 20.1 | 15.6 | 7.0 | 12.1 | 9.5 | 4.0 |
| | 40代 | 303 | 43.9 | 22.8 | 21.1 | 17.8 | 20.8 | 17.8 | 19.8 | 10.9 | 13.5 | 6.6 | 3.0 |
| | 50代 | 374 | 44.7 | 22.2 | 17.1 | 17.1 | 20.1 | 13.9 | 14.2 | 12.3 | 16.3 | 8.3 | 4.8 |
| | 60代 | 325 | 46.5 | 22.8 | 19.4 | 18.8 | 20.0 | 10.8 | 13.5 | 11.4 | 8.9 | 7.4 | 6.2 |
| | 70代 | 366 | 49.7 | 23.8 | 27.3 | 17.5 | 18.6 | 9.6 | 10.4 | 12.0 | 8.5 | 6.8 | 6.8 |
| | 80歳以上 | 226 | 45.6 | 15.0 | 31.4 | 23.0 | 14.6 | 9.7 | 7.1 | 14.6 | 5.3 | 14.2 | 8.0 |

| | 調査数(件) | | | | |
|-----|--------|-----|-------|------|------|
| | | その他 | わからない | 無回答 | |
| 全体 | 1993 | 1.7 | 11.6 | 9.1 | |
| 年代別 | 10代 | 73 | 1.4 | 17.8 | 4.1 |
| | 20代 | 119 | 1.7 | 11.8 | 5.0 |
| | 30代 | 199 | 1.5 | 15.1 | 6.0 |
| | 40代 | 303 | 4.0 | 11.6 | 6.6 |
| | 50代 | 374 | 1.3 | 12.6 | 7.8 |
| | 60代 | 325 | 1.5 | 11.4 | 10.2 |
| | 70代 | 366 | 1.1 | 8.5 | 11.5 |
| | 80歳以上 | 226 | 0.4 | 10.6 | 14.6 |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

第2章 調査結果の詳細

○近所付き合いの程度別・クロス集計

| | 調査数(件) | 構成比(%) | | | | | | | | | | | |
|------------|---------------------------|--------------|-----------------|------------|----------|-----------|-------|------------|------|---------------------|-----------------|-----------------|------------------------|
| | | 住民相互の日頃のつながり | 住民一人一人の災害に備えた対策 | 自治会・町内会の活動 | 気軽に集まれる場 | 地域活動の情報共有 | 世代間交流 | 地域活動イベント活動 | 民衆理解 | 認知症や社会で孤立している方々への孤立 | 地域のコーディネーターや調整役 | 地域活動におけるリーダーの育成 | 終活(身の回りの整理・葬儀・相続等)への支援 |
| 全体 | 1993 | 45.1 | 21.5 | 20.9 | 19.9 | 19.5 | 14.5 | 13.0 | 12.1 | 10.9 | 8.1 | 5.1 | |
| 近所付き合いの程度別 | 困り事や悩み事を相談する程度 | 64 | 53.1 | 15.6 | 29.7 | 14.1 | 21.9 | 12.5 | 17.2 | 7.8 | 14.1 | 10.9 | 3.1 |
| | 困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度 | 293 | 62.8 | 22.5 | 33.1 | 22.2 | 17.1 | 16.7 | 10.9 | 9.6 | 10.6 | 10.2 | 5.5 |
| | たまに立ち話をする程度 | 422 | 54.3 | 20.9 | 26.3 | 21.3 | 19.0 | 14.9 | 15.9 | 11.4 | 9.7 | 7.1 | 4.5 |
| | 会えばあいさつをかわす程度 | 878 | 39.6 | 22.3 | 18.0 | 18.5 | 20.4 | 13.7 | 13.6 | 13.0 | 11.8 | 7.5 | 4.6 |
| | つきあいがほとんどない | 239 | 28.0 | 21.3 | 8.8 | 19.2 | 23.0 | 13.4 | 8.8 | 13.4 | 12.1 | 7.9 | 8.8 |
| | その他 | 14 | 14.3 | 50.0 | 7.1 | 28.6 | 7.1 | 14.3 | - | 21.4 | 7.1 | 21.4 | 14.3 |

| | 構成比(%) | | | |
|------------|---------------------------|-------|------|------|
| | その他 | わからない | 無回答 | |
| 全体 | 1.7 | 11.6 | 9.1 | |
| 近所付き合いの程度別 | 困り事や悩み事を相談する程度 | 3.1 | 4.7 | 17.2 |
| | 困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度 | 0.7 | 3.8 | 7.8 |
| | たまに立ち話をする程度 | 1.4 | 6.4 | 8.3 |
| | 会えばあいさつをかわす程度 | 1.5 | 14.8 | 8.5 |
| | つきあいがほとんどない | 4.2 | 23.0 | 5.9 |
| | その他 | - | 14.3 | - |

※網掛けは横方向(→)にみて、構成比の最も高い数値(ただし調査数30未満は除く)

9. 自由記入

(1) 地域福祉の推進に向けたご意見

問37 みんなで「助けあい」「支えあう」まちづくりを進めるために、何かアイディア（もしくはご意見）があれば教えてください。あなたができること、まちで取り組むべきことなど、何でも結構です。

自由記入は611人の回答があった。「地域福祉・ボランティア」に関する意見が226件と最も多く、次いで「高齢者福祉・介護保険」（78件）、「子ども・子育て」（25件）と続く。

記載分野別にいくつか意見を抽出し、以下に示す。

| | 記載分野 | 件数 |
|---|-------------|-----|
| 1 | 地域福祉・ボランティア | 226 |
| 2 | 高齢者福祉・介護保険 | 78 |
| 3 | 子ども・子育て | 25 |
| 4 | 災害・防災 | 18 |
| 5 | 障がい者・障がい福祉 | 9 |
| 6 | 健康 | 8 |

※記載内容で重複している意見があるため、件数の合計とは一致しない。

【地域福祉・ボランティア】

- 何かボランティア活動をしたいと思っておりますが、何をしたらいいのかわからない状況です。（主人は、月1回住居周辺の夜回りをしています）私に出来る事は、家事一般なので、日頃の買物や外出等で困っている人がいたら、援助したいです。そこで市民センター等に、困っている人がその内容を掲示するコーナーを設け、助けたいと思う人が名乗りをあげ、職員の方がその橋渡しをする、というシステムがあれば嬉しいです。
- どのようなボランティア活動をしていて、どのように参加できるかわかりやすく情報共有。小・中学校を通して親子でボランティア活動できるような仕組み、子どもの時より助けあい・支えあうを実感できるようにしていく。
- ボランティアの仕組みなどをもっと広報して、担い手を増やす努力が必要なのは。
- 「助けあいたい人」や「支えあいたい人」がどこに居て、どんな「助け」や「支え」を望んでいるのかわからない。そうした情報を入手できる環境があって、かつ、自分の近所にそうしたことを望んでいる方がいるのならば、時間が許せる範囲内で「助け」や「支え」をすることができる可能性がある。
- コロナ禍で仕方ないと思いますが祭りやイベントが増えれば顔見知りが増え、いざという時家族以外に頼れる人が見つかると思います。引っこきてきて町の歴史や人とのつながりがありません。働いている世代が参加しやすいイベントや集まりの場があればと思います。将来ボランティア活動をしたいと思っておりますがどのように入っていったらよいかわかりません。自分でも努力してみます。
- 大庭地区では高齢化が顕著に見られます。高齢者が気軽につながりを持ち、地域ボランティア（または低賃金のアルバイト等）で社会参画できる仕組みがあると、元気な高齢者は働く場ができ、支

第2章 調査結果の詳細

援が必要な方々や地域の助けにもなるかと考えます。

- 世代間の交流がもっと必要だと思います。高齢者になった時に感じる不便なことや若い人がいなく不便さ、それぞれの意見を出し合い、互いに体感、体験していくことで「他人への思いやりの心」が身についていくと思います。身内や家族でなくては理解できない社会のままでは、ずっとコミュニティは狭いまです。身近なコミュニティ自体を広げていくことが、地域としてとりくむべき課題だと思います。藤沢市は公共の取組みは多い方ですが、それを周知する力が弱いと思います。観光などへの支援は強いのですから、もう少し市民への情報発信を多くしていくと助かります。
- ファミリーサポートの助け合いはあるのでしょうか？広報はよく見ますが、このサポートの情報を見たことがありません。あるとすれば情報の発信が足りません。今はサポートする側で参加できる状態です。（過去に他県で利用しました）対象は子どもだけでなく、高齢者もあっても良いと思います。ちょっとした手伝い、買い物、話し合い手etc独居の方の支援にもなると思います。
- 助きたい人と助けて欲しい人を、マッチングするシステムづくり。ファミリーサポートのような仕組みがもっと手軽に利用できたら助かると思います。
- 先述したように「当事者意識を持つこと」が地域共生社会の実現には不可欠だと思います。どの人にも何かしらできること、役立てることはあると思います。ボランティアを日頃の活動内容に限定するのではなく、できること（強み）の情報交換だけでも十分にボランティアになると思います。またボランティア＝無償とかではなく、有償とかであっても強みの交換で誰かが救われる（助かる）なら、行政はそういう試みに対価を付けて欲しいと思います。
- 藤沢市のボランティアアプリを立ち上げる。単発ボランティアに参加しやすくしてほしい。いつ、どこで何のボランティアがあるのか知らないので、知る機会に丁度よい。継続ボランティアも良いが、働く世代には単発のほうが心理的負担も少ない。ボランティアの中に、幼児も参加できるものがあるとなおよい。子どもにボランティアがどういったものなのか教えられるので道徳教育にも丁度よい。
- それぞれ持っている力、特技、資格、経験を、地域社会の中で生かせる枠があれば、活動したいと思っている人はそれなりに存在すると思います。料理が得意な方は子ども食堂で調理をしながら、子どもたちと食を通して関わりながら子どもたちが抱えている問題をひろい上げる。教員だった方は学習支援、職人さん大工さんは木工教室でものづくりをリーダーとして伝えるなど、藤沢の文化、伝統、もの作り…スピリットをもっと大切にしたい地域作り、コミュニティとなってほしいと思います。“藤沢に住んでよかった！”…と思えるような元気なコミュニティを今後共、期待しています。

【高齢者福祉・介護保険】

- 高齢者福祉関係で要介護者のオムツ等の有料化やタクシー券の廃止、バスの割引券や、入浴券等々が中止や値上げが続いて失望している。
- 高齢者いきいき交流助成券がなくなり非常に残念でした。その代わり皆が利用できる市内バス無料乗車券など欲しいです。病院、買物など、行きたいです。どうか高齢者のために何とかならないでしょうか。よろしくお願い致します。
- ニュースで目立っている施設での虐待、気になっています。子ども・高齢者・障がい者、声を上げにくい人たちです。コロナ禍で面会も出来ず、外からの目も届きにくい現状。職員の意識が良い方向に高まる方法はないでしょうか。
- 認知症の人も、障がいのある人もない人も、どんな人も共に支え合える地域を作るためには、具体

的な言葉やマークを、街のポスターにして、皆の目のつきやすい所に貼ったり、学校や職場にも貼ったと思います。困ったことがあった時、よいアイデアが浮かんだ時、相談できる窓口の電話番号や、メールアドレスなども、ポスターに明記してあると良いと思います。例えば、あれれ？認知症の人がもし困っているのかな？と思ったら、周りの誰か（ひとりではなく）と一緒に、一言声をかけてあげて下さい。そして、藤沢市福祉部Tel〇〇〇〇〇〇〇〇までご連絡をお願いします。←という感じで。

- 本人が高齢であるため、家族が聞きとり等を行い記入しました。家族からですが、支えあいのまちづくりには“支え”をマッチングする窓口が必要不可欠と思います。大きな支援ではなく、ちょっとしたお手伝いから始められるしくみがあると良いと思います。支える側も支えられる側も、まずはハードルの低いところからでないと、始められないと思います。
- 「高齢者いきいき交流助成券」を、マッサージだけではなく、今までどおり、何でも使える券にしてほしい。各自、行きたい所はちがうので、共通で使える券にすれば良いと思います。
- 認知症、障がい者、高齢者、私ができることは一言声をかけて、自分が助けられることがあればしてあげたい気持ちはあるが、それが本当に当人のためになっているか感うことが多く、介護など地域で勉強会があれば参加してみたい気持ちはあります。

【子ども・子育て】

- 子育て世代のため、子育てに関して気になります。支援センターは利用していますが、予約制のため利用しづらいです。子どもの検診も各自小児科で行うので、同じ学年、月齢のお子さんとお会いする機会も少ないです。コロナで制限はあると思いますが、これからは親の判断で良いように思います。子どもの遊び場の充実や各種教室、集まり、イベントの充実があると嬉しいです。今は他の市に出むいたりすることもあります。
- 子ども会が町内会にありませんでした。ない場合は近隣の町内会へ参加が可能などお声がけしてもらえれば交流が出たことでしょうか。引越してきて幼稚園に入っていないと大人との交流、情報がとれない現状がある（働いていると周りのこと学校のこと情報がない、気軽に話せる人もいない）
- 子育てしやすい町のために保育園の充実。
- 子ども食堂や子どもの学習支援など、身近な事柄で、できる時にできる人が気軽にボランティアに関われる仕組みがあれば良いと思う。

【災害・防災】

- あまり普段の交流は必要だと思わないのですが、災害時の助けあいや支えあいは必要だと思います。災害発生時の近隣の互いの声掛け（安否確認）などをマニュアル化しておくが良いと思います。
- 住民が共通に不安感を抱いていることは、地震等災害時のことだと思う。我々は災害が身近に起こらないとなかなか自分ごととして捉えられないが、この地域はこんな対応を行なっていくと言うことを折に触れて発信し、住民の意識を高めていくことが大事だと考える。実際は災害時の対応策があってもなかなか周知まで至っていないと思う。私自身の反省を含め、市民一人一人の意識が高められるよう、ぜひ今後も啓発活動に力を入れてほしい。
- 災害時の安否確認の方法が近所同士でできるような備えがあると良いかもしれない。

【障がい者・障がい福祉】

- 統合失調症で、障がい者手帳を持っています。今年の6月末に藤沢市に引越して来ました。藤沢市には、医りょうしょうがあり、障がいのある私の病院代（保険診療）は、無料です。この福祉制度をこれからも続けて下さい。
- 障がいのある母と暮らしています。家族以外の協力を得るために、行政のサービス等の情報を調べようかという段階です。日頃、自分や家族のことで精一杯で、地域のことを気に掛ける余裕がないといった所が正直な回答になります。家族や親族以外に頼るといったことになれていないので、行政へ相談することのハードルが高く感じます。助け合う以前に地域の中で迷惑をかけないように暮らすことを考えています。

【健康】

- 最近、体力作り、体力維持の為にスポーツジムに行きはじめました。今はプールでウォーキングと温泉で気分転換！！顔みしりの方々も多くでき、前向きな行動に心掛ける事！！身近な方々が孤立化してないか心くばりを大切に、まずはご近所さんにごあいさつ、声かけをしています。小さな事から、コツコツと安全な生活で過します。
- 現在78歳の私は、60歳になったときから、市の健康づくりトレーニングに通い始めました。20年近く続けていられるのは、週に1回でも、皆さんと挨拶して、笑って、さっぱりした人間関係が素敵だからです。運動嫌いの私が続けられて、健康を維持できているのは、指導者のかたに感謝しかありません。健康を維持でき生活が楽しめています。藤沢市のとてもいい政策だと思います。ありがとうございます。今年度から補助券が使えなくなったのは残念ですが、多くの人に、この素晴らしい施設を利用してもらいたいです。ありがとうございます。

第3章 調査票

地域福祉に関するアンケート調査

藤沢市では、すべての市民の方が、地域の中で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、社会福祉法に基づき2021年度から2026年度までの6年間の計画期間で「藤沢市地域福祉計画2026」を策定しました。

この度、この計画の中間見直しにあたり、事業の効果を検証するとともに、地域福祉の現状及びお住まいの地区や地域での日頃の暮らしの変化、また、これに伴う新たな課題等、皆さまがどのように感じていらっしゃるかをお聴かせいただき、一緒に考えていくためにアンケート調査を実施することといたしました。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2022年(令和4年)11月

藤沢市長
鈴木 恒夫

■ 地域福祉とは？

普段の生活の中で感じる、ちょっとした不安や不便を地域の中で解決し、「住み慣れた地域で誰もが安心して生活が送れるよう、地域全体で自分たちの住むまちを暮らしやすくする取組」のことを言います。例えば、隣近所の人と声をかけあうことや、子どもの安全を地域で見守ることなども、地域福祉の活動といえます。こうした活動と福祉サービス事業者、行政等が相互に協力し、地域生活課題の解決をめざし、取組をすすめています。

■ 地域福祉計画がめざすもの

一人ひとりが主役 共に支えあい
安心して暮らせるまち ふじさわ

そのためには？

地域のことや、日頃感じる生活の課題などを一番よく知っている
地域の皆さんの参加と協力が不可欠となります。

みなさんの声を計画改定に活かしていくため、
アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

インターネットからも回答が可能です

QRコード



下記のURL、左側のQRコードを読み取り、お手持ちのスマートフォンやパソコンからご回答いただけます。

ID:

URL: <https://www14.webcas.net/form/pub/y6498/fujisawa>

※端末の機種や設定により、QRコードが利用できない場合があります。

《アンケート調査ご記入にあたってのお願い》

1. このアンケート調査は、市民の皆さまの地域福祉の意識を把握し、本市の福祉施策を検討する際の基礎資料とする目的で実施しております。アンケート調査結果につきましては、「藤沢市地域福祉計画2026」の中間見直しのほか、以下の福祉関連計画の改定の際などに活用させていただきます。
 - ふじさわ障がい者計画・ふじさわ障がい福祉計画・ふじさわ障がい児福祉計画
 - 藤沢市高齢者保健福祉計画・藤沢市介護保険事業計画
 - 藤沢市子ども・子育て支援事業計画
 - 藤沢市地域福祉活動計画（藤沢市社会福祉協議会において作成）
2. 調査の対象者は、2022年（令和4年）11月1日現在、市内に住民登録がある満15歳以上の市民4,000名を無作為に抽出しています。
3. 質問の中の『あなた』とは、封筒の宛名のご本人を指しますので、質問にはその方自らお答えください。なおご本人がお答えになれない場合にはご家族や日頃よく相談する方などご本人の状況をご存じの方が聞き取り、代わりにご記入いただいても構いません。
4. お答えは、2022年（令和4年）11月1日現在の状況でご記入ください。
5. 1ページから最後のページまで質問の順にお答えください。設問はあてはまる番号を○で囲む形式をとっていますが、選択肢や設問によっては（ ）の中に具体的にご記入をいただくものもあります。
6. ご記入済みの調査票は、同封の返信用封筒にて、2022年（令和4年）12月20日（火）までに返送をお願いいたします。
7. 調査についてご不明な点がありましたら次の問い合わせ先へお気軽にお問い合わせください。
8. お答えいただいた内容は統計的に処理を行うため、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に使用したり、個人の内容を公表することは一切ありません。

問い合わせ先

藤沢市 福祉部 地域共生社会推進室

直 通 0466-50-3544

FAX 0466-50-8415

問4-1 普段の生活で身近に介護や支援が必要な方はいますか。

(あてはまる方すべてに○、いない場合は13に1つだけ○)

| | | |
|--------------|-----------|--|
| 1. あなた (ご本人) | | |
| 2. 配偶者 | 3. 子ども | |
| 4. 父親 | 5. 母親 | |
| 6. 兄弟姉妹 | 7. 祖父 | |
| 8. 祖母 | 9. 孫 | |
| 10. 親戚 | 11. 知人・友人 | |
| 12. その他 () | | |
| 13. いない | | |

《問4-2は、問4-1で「2. 配偶者」～「12. その他」と回答した方のみお答えください》

問4-2 ○をつけた中であなたが実際に介護をしている方はいますか。

| | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問5 あなたと一緒に住んでいるご家族の人数
(あなたを含めた人数。一人暮らしの場合は1人)

| |
|-------|
| () 人 |
|-------|

問6 あなたのお住まいの地区 (市民センター・公民館の区域) (1つに○)

※お住まいの地区の名称については、調査票が入っていた封筒の宛名ラベルの右肩に印字しています。その名称と同じ名称の番号1つに○をつけてください。

| | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 片瀬 | 2. 鵜沼 | 3. 辻堂 | 4. 村岡 |
| 5. 藤沢 | 6. 明治 | 7. 善行 | 8. 湘南大庭 |
| 9. 六会 | 10. 湘南台 | 11. 遠藤 | 12. 長後 |
| 13. 御所見 | | | |

※南部の地区から順番になっています。

問7 あなたのお住まいの地区での居住年数 (1つに○)

| | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年未満 |
| 3. 5～10年未満 | 4. 10～20年未満 |
| 5. 20年以上 | |

問8 あなたは、現在の暮らしの経済的状況についてどう感じていますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ゆとりがある | 2. ややゆとりがある |
| 3. やや苦しい | 4. 苦しい |
| 5. わからない | |

問9 あなたは、普段、買物や散歩、通勤通学を含め、週にどのくらいの頻度で外出※
されていますか。(1つに○)

※ここでは、概ね30分以上の外出とします。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1～2回程度 |
| 3. ほとんど外出しない | 4. 身体的に外出ができない状況 |

問 13 あなたのお住まいの地区の市民センター・公民館の機能充実のために、どのようなことを要望しますか。(あてはまるものすべてに○)

| |
|--|
| 1. 暮らしの困りごとを気軽に相談できること 2. 住民の自主的な活動の指導や援助を行うこと 3. 趣味や教養などを高める公民館事業や生涯学習講座を行うこと 4. 住民と地域の人材やボランティアとの橋渡しを行うこと 5. 子どもたちの集まる場や子育て支援の場となること 6. 高齢者の集まる場となること 7. 地域住民の交流の場となること 8. 地域の情報を幅広く集約する場となること 9. 地域の文化、伝統を守り、伝える場となること 10. 災害時に地域の情報を幅広く集約する場となること 11. わからない 12. その他 () |
|--|

問 14 あなたは、次の場所を知っていますか。(それぞれ○は1つずつ)

| | |
|----------------------------------|--|
| ①ふじさわボランティアセンター (藤沢市社会福祉協議会内) | 1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない |
| ②地区ボランティアセンター | 1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない |
| ③地域の縁側 | 1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない |
| ④地域市民の家 | 1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない |
| ⑤藤沢市市民活動推進センター 市民活動プラザむつあい | 1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない 3. 知らない |

【地域やご近所との関わりについておたずねします。】

問 17 あなたは、日頃、ご近所の方とどのようなつきあい方をしていますか。(1つに○)

1. 困り事や悩み事を相談する程度
2. 困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度
3. たまに立ち話をする程度
4. 会えばあいさつをかわす程度
5. つきあいがほとんどない
6. その他 ()

→ 《問 17-1 は、問 17 で「5. つきあいがほとんどない」と回答した方のみお答えください》

問 17-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 時間的余裕がない
2. 人に干渉されたくない、そっとしておいてほしい
3. 生活の時間帯が合わない
4. 世代間のギャップがある
5. 近所トラブルがある
6. 近所づきあいにメリットを感じない
7. きっかけがない
8. その他 ()

問 18 あなたにとって望ましい近所つきあいは、どの程度ですか。(1つに○)

1. 困り事や悩み事を相談する程度
2. 困り事や悩み事の相談はしないが、親しく会話する程度
3. たまに立ち話をする程度
4. 会えばあいさつをかわす程度
5. つきあいがほとんどない
6. その他 ()

問 19 あなたのお住まいの地区での暮らしについてどう思われますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 暮らしやすい | 2. どちらかといえば暮らしやすい |
| 3. どちらかといえば暮らしにくい | 4. 暮らしにくい |
| 5. わからない | |

問20 あなたのお住まいの地区で孤立感を感じることはありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 感じる | 2. やや感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり感じない |
| 5. 感じない | 6. わからない |

問21 お住まいの地域で気になっていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 近所付き合いが少ない |
| 2. 地区行事の参加者が少ない |
| 3. 高齢者の集まる場がない |
| 4. 障がい者の集まる場がない |
| 5. 子どもが集まる場がない |
| 6. 地域活動や自治会等の役員の担い手がいらない |
| 7. 近所に買い物する場所がない |
| 8. 医療機関が遠い |
| 9. 日常的に家事や家族の世話・介護を行っている子どもがいる |
| 10. 孤立している世帯がある |
| 11. ひきこもりの状態にある方がいる |
| 12. ごみなどが屋内・屋外に積まれている家がある |
| 13. 生活に苦しんでいる世帯がある |
| 14. その他 |
| () |

問22 新型コロナウイルスにより生活にどのような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------|
| 1. 外出の機会が減った |
| 2. 友人とのコミュニケーションが減った |
| 3. 運動する機会が減った |
| 4. 地域や学校などでの会合が減った |
| 5. 近所とのコミュニケーションが減った |
| 6. 収入が減り生活が苦しくなった |
| 7. 家族とのコミュニケーションが増えた |
| 8. オンラインで会話する機会が増えた |
| 9. 趣味に費やす時間が増えた |
| 10. 育児や介護の負担が増えた |
| 11. 特にない |
| 12. その他 |
| () |

【地域活動、ボランティア活動についておたずねします。】

問 23 あなたは現在、自治会・町内会に加入していますか。(1つに○)

| | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない | → 問 23-2 へ |
|-----------|------------|------------|

→ 《問 23-1 は、問 23 で「1. 加入している」と回答した方のみお答えください》

問 23-1 自治会・町内会に加入して特によかったことは何ですか。(1つに○)

| | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 住民との交流が持てる | 2. 頼れる人がいて安心感がある |
| 3. 災害時に住民同士で連携しやすい | 4. 地域のイベントに参加しやすい |
| 5. 情報を収集しやすい | 6. 特にない |
| 7. その他 () | |

《問 23-2 は、問 23 で「2. 加入していない」と回答した方のみお答えください》

問 23-2 加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

| | |
|------------|----------------|
| 1. 時間がない | 2. きっかけがない |
| 3. 役員等が大変 | 4. 人との距離感を保ちたい |
| 5. 加入費がかかる | 6. 時間が合わない |
| 7. 特にない | 8. その他 () |

問24 あなたは地域を支えるボランティア活動に参加したいと思いますか。

(1つに○)

| | |
|---|----------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 既に参加しており、これからも続けたい 2. 参加したことはないが、今後参加してみたい 3. 参加したことがあり、今後も機会があれば参加したい 4. 参加したことはあるが、今後参加するつもりはない 5. 参加したことはなく、今後も参加するつもりはない | → 問24-2へ |
|---|----------|

→ 《問24-1は、問24で「1. 既に参加しており、これからも続けたい」と回答した方のみお答えください》

問24-1 ボランティア活動に参加する際の動機はどのようなことがありましたか。

(あてはまるものすべてに○)

| |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域や社会をよくしたい 2. 困っている人を助けてあげたい 3. 自分のやりたいことを発見したい 4. 就職や進学などで有利になるようにしたい 5. 自分の技術、能力、経験を活かしたい 6. 新しい人と出会いたい 7. 何か新しく感動できる体験をしたい 8. 視野を広げたい 9. 自分の健康を維持したい 10. 知人・友人からの誘い 11. 面白そう・興味があった 12. その他 () |
|---|

《問24-2は、問24で「2.」～「5.」と回答した方のみお答えください》

問24-2 ボランティア活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

| |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. どのような活動が行われているか 知らない 2. 参加方法が分からない 3. 参加する経済的余裕がない 4. 参加する時間的余裕がない 5. 近くに参加できるボランティア 活動がない 6. 気軽に参加できる内容が少ない 7. 同好の友人・仲間がいない 8. やりたいことが見つからない 9. 健康・体力に自信がない 10. 活動に必要な技術、経験がない 11. その他 () 12. 特にない |
|--|

【防災についておたずねします。】

問 25 あなたはお住まいの地域の防災訓練※に参加したことはありますか。
(1つに○)

1. 毎年参加している
2. 今年は参加したが、毎年は参加していない
3. 過去に参加したことはあるが、今年は参加していない
4. 参加したことはない
5. わからない

※ 地域の防災訓練には、地区総合訓練、自治会・町内会の防災訓練、避難施設開設訓練、防災リーダー講習会があります。

問 26 発災時に、あなたは避難行動要支援者※に対して、特に何ができるとお考えですか。
(1つに○)

1. 安否確認
2. 災害状況や避難、救護等に対する情報提供
3. 避難所などへの誘導、移動支援
4. その他 ()
5. できることはない
6. わからない

※ 避難行動要支援者とは、高齢者や障がいのある人など、災害が発生した場合にひとりで避難することが困難であり、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために、特に支援を要する人をいいます。

問 27 災害時に備えるなどの理由で、地区にお住まいの方の情報を必要に応じて自治会・町内会などで共有することについてどう感じますか。(1つに○)

1. 個人情報なので、災害時など緊急の場合でも情報を共有しない方がよい
2. 災害時など緊急の場合の活用に限定し、情報を共有した方がよい
3. 災害時などに備え、日頃から、地区での見守り活動などのために情報を共有した方がよい
4. その他 ()
5. わからない

問 35 地域福祉の推進に向け、本市で行っている取組について、どのように感じて
いますか。(①～⑨の項目ごとに1つだけ○。その理由があればご記載ください)

| 取組項目 | 充足している | まあ充足している | どちらともいえない | あまり充足していない | 充足していない | わからない | その理由 |
|-------------------------------------|--------|----------|-----------|------------|---------|-------|------|
| ① 広報紙やホームページなどによる情報提供について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ② ボランティア活動への支援について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ③ 福祉人材の育成や確保について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ④ 福祉団体等の活動促進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ⑤ 個人の課題を早期発見・早期対応できる地域づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ⑥ 災害時の避難支援体制づくりについて (特に避難行動要支援者) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ⑦ 住民同士の支えあい活動の促進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ⑧ 支えあいの場の拡充と支えるしくみの充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| ⑨ 様々な相談に対応できる体制づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |

【自由記入欄】

問 37 みんなで「助けあい」「支えあう」まちづくりを進めるために、何かアイデア（もしくはご意見）があれば教えてください。あなたができること、まちで取り組むべきことなど、何でも結構です。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

これで質問は終わりです。ご協力いただきありがとうございました。

アンケートにご協力いただき、
ありがとうございました。
誠に恐縮ですが、返信用封筒
(切手不要)に入れ、
12月20日(火)までに
ご返送ください。



「キュンとするまち。藤沢」
公式マスコットキャラクター
ふじキュン♡

※インターネットで回答された方は、このアンケート用紙を返送しないでください。

用語集

地区ボランティアセンター

高齢者や障がいのある人などに対する日常生活支援や交流事業といった地域住民による相互扶助機能を高め、ボランティアの紹介等を行う身近な活動の場として、地区社会福祉協議会等の地域団体により、開設・運営がされています。

- ・片瀬地区ボランティアセンター 「ひだまり片瀬」
- ・鶴沼地区ボランティアセンター 「ささえ」
- ・辻堂地区ボランティアセンター 「すこやか」
- ・村岡地区福祉ボランティアセンター 「ぬくもり」
- ・藤沢西部地区福祉ネットワーク 「きずな」
- ・明治地区ボランティアセンター 「むすびて」
- ・パートナーシップ善行
- ・湘南大庭地区福祉ボランティア活動センター 「ライフタウン・ジョワ」
- ・ボランティアセンターむつあい
- ・湘南台地区ボランティアセンター 「ちょこっと湘南台」
- ・遠藤地区ボランティアセンター 「シェークハンズ遠藤」
- ・長後地区ボランティアセンター 「なごみ」

地域の縁側

住民同士のつながりや支えあいを大切にしながら、人の和を広げ、誰もがいきいきと健やかに暮らせるまちづくりを目的に、多様な地域住民が気軽に立ち寄れる居場所を「地域の縁側」として位置づけています。実施場所は37カ所です。

- ・地域の縁側事業「基本型」

〔 高齢者、障がい児者、青少年、子ども等の誰もが気軽に立ち寄れる居場所です。気軽に相談ができ、支援が必要な場合には、適切な機関におつなぎいたします。 〕

- ・地域の縁側事業「特定型」

〔 高齢者の居場所、子育てサロン、障がい児者交流サロンなど、特定の利用対象者の誰もが自由に集え、交流できる居場所です。基本型の要件には合致しないものの、趣旨が同じで交流できる居場所の機能を有するものを地域の縁側事業「特定型」としています。 〕

- ・地域の縁側事業「基幹型」

〔 高齢者等の相談支援、介護予防や孤立予防、生きがいづくり、多世代交流等の促進を図ることを目的とした、誰もが気軽に立ち寄れる居場所です。高齢者の生活支援等サービスの体制整備を推進するために、様々な事業主体による多様な取組のコーディネート業務を担う「生活支援コーディネーター」が配置されています。 〕

地域市民の家

各地域の運営委員と利用者が協力して管理・運営しているコミュニティ施設です。地域の活動や、親睦を深める場として、地域に41カ所あります。

成年後見制度

判断能力が不十分なため、契約等の法律行為における意思決定が難しい成年者（認知症の方や知的障がいのある人等）を支援する制度で、必要に応じて代理権や同意権等を行使する後見人等が、当事者の権利を守るために各種手続きや財産管理等を行います。

市民後見人

同じ地域に住む市民による成年後見人のことです。事前に自治体などが行う養成研修を修了し、家庭裁判所の選任を受けて活動します。本人に親族がない場合などでの活動が想定されています。

避難行動要支援者

高齢者や障がいのある人など、災害が発生した場合にひとりで避難することが困難であり、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために、特に支援を要する人をいいます。

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）

「困難を抱える人」への個別支援と「誰もが住み続けられる地域」にするための地域支援の2つの役割を持つ、地域の中で活動する福祉の専門職です。これまで、相談先、つなげ先がなかった困りごとについて一緒に考え、関係機関・団体や行政と連携して総合的な相談支援を行います。また、地域活動への支援や地域での顔の見える関係づくりを通じ、地域の課題把握に努めています。

バックアップふじさわ

生活困窮者自立支援法に基づく相談支援機関として、経済的な問題をはじめとする生活上の様々な困りごとに対する包括的・継続的な支援を実施します。なお、藤沢市社会福祉協議会にも同様の窓口開設しています。

インターネット回答のご案内

地域福祉に関するアンケート調査ではインターネット回答をご利用いただけます。

調査期間

11/25 金 → 12/20 火

1 調査票表紙の
QRコードを読み込む



※こちらからもアクセスできます

2 IDを入力する



調査票の表紙に記載されている
IDを入力

3 回答する



回答が済みましたら最後に、
「登録」ボタンを押してください

※本調査では、アンケート調査票を発送した日を調査開始日としております。

藤沢市の地域福祉

一人ひとりが主役 共に支えあい
安心して暮らせるまち ふじさわ



この資料は、皆様に地域福祉のことについて知っていただくための資料です。ぜひご覧ください。
※この資料を読まなくても、アンケート調査票はご回答いただけます。

地域福祉とは

誰にとっても安心して暮らせる地域をめざし、地域住民と、関係するすべての団体や機関がお互いに連携・協力して、地域生活課題の解決に向けて取り組む考え方です。

地域福祉を推進するうえで重要な「4助」

自分で考え行動する

(自らの選択・自己負担)

自助

互助

ご近所などで互いに支えあう
(相互の自発的な支えあい)

社会保険のしくみを活用する

(保険料などの負担)

共助

公助

行政などによるサービスを受ける
(税金による公的負担)

アンケート調査から

※2016年・2019年実施
「地域福祉に関するアンケート調査」から

過去の調査を比較すると、地域福祉に関する住民意識の変化が見られます。

地域で支えられていると感じること

地域に支えられることが「大いにある」「多少はある」と感じる割合の合計

平成28年度調査

43.7%

令和元年度調査

39.7%

様々な相談に対応できる地域づくり

「充実している」「まあ充実している」と感じる割合の合計

平成28年度調査

16.5%

令和元年度調査

12.2%

社会構造の変化に対応した地域づくり

少子高齢化など、これまでの社会構造が変化の中で、複雑化する地域の困りごとを解決するために、これまでの「支え手」「受け手」の垣根を超え、あらゆる主体が、世代や分野の垣根を越えて、支えあう地域づくりが求められます。

【これまでの社会構造】



【めざす姿】



地域福祉に関連した取組

地域住民と企業・福祉事業者・行政などが連携し、地域で様々な活動が行われています。



【つながろう 鵜沼！】
鵜沼地区小ケア会議・協議体
 住民・行政・企業等が、地域の見守りをテーマに情報交換を行っています。



【地域の縁側・かるがも】
いきいき体操会
 地域の縁側は、住民同士のつながりや支えあいを大切にしながら、誰もが気軽に立ち寄れる居場所です。

地域福祉に関連した施策・計画

藤沢市地域福祉計画2026

地域福祉を推進するために市が策定する、社会福祉法に基づいた法定計画です。

市民アンケートや地域団体等へのヒアリング等も踏まえた検討、策定がされており、地域福祉推進の理念・方向性が示されています。



藤沢市ホームページからダウンロードできます

第4次藤沢市地域福祉活動計画

すべての人々が世代や背景をこえてつながり、住民を始めとした地域の様々な主体が自分たちの住むまちの課題解決に、自ら連携しながら取り組んでいくための民間のアクションプラン（行動計画）です。

藤沢市地域福祉計画と共通のビジョン、基本目標を掲げ、さらに具体的な取組について、市民・専門機関・企業・行政等と連携して取り組んでいくものです。



藤沢市社協ホームページからダウンロードできます

地域福祉推進ビジョン

一人ひとりが主役 共に支えあい
安心して暮らせるまち ふじさわ



ふじきゅん♡

基本目標1

「地域に関心を持ち、行動できる人材づくり」

市民一人ひとりが自分の住む地域や人に関心を持ち、地域で共に生き、地域福祉に関する活動に主体的に参加できる人材づくりを進めます。

基本目標2

「お互いが見守り、支えあい、つながる地域づくり」

身近な地域における多世代交流の機会を増やし、地域で活動する福祉団体等の推進を図るとともに、地域課題の早期発見・早期対応、災害時に備えるといった観点から、お互いが見守り、支えあい、つながるような地域づくりを進めます。

基本目標3

「誰もが安心して暮らせるしくみづくり」

本人が希望する生活を送ることができるよう、様々な困りごとを受け止め、必要な支援につながる仕組みづくりを進めます。

地域福祉に関するアンケート調査
結果報告書

2023年（令和5年）3月

発行：藤沢市福祉部地域共生社会推進室
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL：0466-50-3544 FAX：0466-50-8415
E-mail：fj-kyousei@city.fujisawa.lg.jp